

設 計 書

日吉町南市営住宅外壁外改修工事(1期)

場 所 鹿沼市日吉町
工 期 令和9年2月14日 まで

設 計 概 要

1号棟 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積 872.48㎡

1号棟自転車置場 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 12.67㎡

2号棟 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積 1143.42㎡

2号棟自転車置場 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 16.57㎡

LSA住宅 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積 130.29㎡

ポンプ室 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 8.10㎡

外壁改修工事、防水改修工事 一式

検算者

担当者

鹿 沼 市 役 所

(甲-1)

設 計 書

設計金額

内訳

工事価格

消費税相当額

変更前回実施

変 更 今 回

設
計
額

工 事 価 格

消 費 税

請 負 工 事 費

請
負
額

請 負 価 格

消 費 税

請 負 代 金

請 負 率

設
計
額

工 事 価 格

消 費 税

請 負 工 事 費

請
負
額

請 負 価 格

消 費 税

請 負 代 金

増減額

変更理由

鹿 沼 市 役 所

(甲-2)

工事費内訳

2

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

共通仮設費(積上) 明細

3

[illegible]

工事種別内訳

名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
建築工事		1			式				
建築工事に伴う電気設備工事		1			式				
	計								

建築工事 種目別内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
I. 1号棟		1	式		
II. 1号棟 自転車置場		1	式		
III. 2号棟		1	式		
IV. 2号棟 自転車置場		1	式		
V. LSA住宅		1	式		
VI. ホﾟﾝﾌﾟ 室		1	式		
VII. 外構		1	式		
VIII. 発生材処理		1	式		
計					

建築工事に伴う電気設備工事 種目別内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
Ⅰ. 1号棟		1	式		
Ⅱ. 2号棟		1	式		
Ⅲ. LSA住宅		1	式		
Ⅳ. 自転車置場・外灯・ホ ^ン フ ^ク 室		1	式		
計					

建築工事 科目別内訳

7

I. 1 号棟				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事	1	式		
2. 防水改修工事	1	式		
3. 外壁改修工事	1	式		
4. 塗装改修工事	1	式		
5. 環境配慮改修工事	1	式		
6. 雑工事	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

9

Ⅲ. 2号棟					
名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
2. 防水改修工事		1	式		
3. 外壁改修工事		1	式		
4. 塗装改修工事		1	式		
5. 環境配慮改修工事		1	式		
6. 雑工事		1	式		
計					

IV. 2号棟 自転車置場

[illegible]

V. LSA住宅					
名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
2. 防水改修工事		1	式		
3. 外壁改修工事		1	式		
4. 塗装改修工事		1	式		
5. 雑工事		1	式		
計					

[illegible]

I. 1 号棟

[illegible]

Ⅱ. 2号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
1. 電気設備工事			1		式				
計									

III. LSA住宅

[illegible]

IV. 自転車置場・外灯・ポンプ室

[illegible]

I. 1 号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 防水改修工事	2. 1撤去工事	1	式		
2. 防水改修工事	2. 2改修工事	1	式		
計					
3. 外壁改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
3. 外壁改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					
4. 塗装改修工事	4. 1撤去工事	1	式		
4. 塗装改修工事	4. 2改修工事	1	式		
計					
5. 環境配慮改修工事	5. 1撤去工事	1	式		
5. 環境配慮改修工事	5. 2改修工事	1	式		
計					
6. 雑工事	6. 1撤去工事	1	式		

I. 1 号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
6. 雑工事	6. 2改修工事	1	式		
計					

Ⅱ. 1号棟 自転車置場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 外壁改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
2. 外壁改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					
3. 塗装改修工事	4. 1撤去工事	1	式		
3. 塗装改修工事	4. 2改修工事	1	式		
計					

Ⅲ. 2号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 防水改修工事	2. 1撤去工事	1	式		
2. 防水改修工事	2. 2改修工事	1	式		
計					
3. 外壁改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
3. 外壁改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					
4. 塗装改修工事	4. 1撤去工事	1	式		
4. 塗装改修工事	4. 2改修工事	1	式		
計					
5. 環境配慮改修工事	5. 1撤去工事	1	式		
5. 環境配慮改修工事	5. 2改修工事	1	式		
計					
6. 雑工事	6. 1撤去工事	1	式		

Ⅲ. 2号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
6. 雑工事	6. 2改修工事	1	式		
計					

IV. 2号棟 自転車置場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 外壁改修工事	2. 1撤去工事	1	式		
2. 外壁改修工事	2. 2改修工事	1	式		
計					
3. 塗装改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
3. 塗装改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					

V. LSA住宅					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 防水改修工事	2. 1撤去工事	1	式		
2. 防水改修工事	2. 2改修工事	1	式		
計					
3. 外壁改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
3. 外壁改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					
4. 塗装改修工事	4. 1撤去工事	1	式		
4. 塗装改修工事	4. 2改修工事	1	式		
計					
5. 雑工事	5. 1撤去工事	1	式		
5. 雑工事	5. 2改修工事	1	式		
計					

VI. ポンプ室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 直接仮設工事		1	式		
計					
2. 防水改修工事	2. 1撤去工事	1	式		
2. 防水改修工事	2. 2改修工事	1	式		
計					
3. 外壁改修工事	3. 1撤去工事	1	式		
3. 外壁改修工事	3. 2改修工事	1	式		
計					
4. 塗装改修工事	4. 2改修工事	1	式		
計					

VII. 外構					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 外構工事	1. 1撤去工事	1	式		
1. 外構工事	1. 2改修工事	1	式		
計					

Ⅷ. 発生材処理					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 発生材処理	積込・運搬	1	式		
1. 発生材処理	処分	1	式		
計					

I. 1 号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 電気設備工事	新設工事	1	式		
1. 電気設備工事	撤去工事	1	式		
計					

Ⅱ. 2号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 電気設備工事	新設工事	1	式		
1. 電気設備工事	撤去工事	1	式		
計					

Ⅲ. LSA住宅					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1. 電気設備工事	新設工事	1	式		
1. 電気設備工事	撤去工事	1	式		
計					

IV. 自転車置場・外灯・ポンプ室					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
1. 電気設備工事	新設工事	1	式		
1. 電気設備工事	撤去工事	1	式		
計					

I. 1 号棟 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生	屋上防水改修 225㎡程度	1	式			
養生	外壁改修 205㎡程度	1	式			
養生	階段部分 56.5㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	屋上防水改修 225㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	外壁改修 205㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	階段部分 56.5㎡程度	1	式			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費含む 1,216㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費含む 125m程度	1	式			
通路天井養生	単管一本足場 合板天井 掛払い手間 供用 120日賃料 基本料 修理費 運搬費含む 10m未 満 5.7㎡程度	1	式			
ベランダ仕上足場	脚立足場 供用 45日賃料 掛払い手間 基本料 修理費 運搬費含む 階高4.0m以下 45.8㎡ 程度 転用数3	1	式			
階段仕上足場	階段仕上足場 掛払い手間 賃料 120日 運搬費 維持管理費含む 56.5㎡程度	1	式			
養生シート張り	メッシュシート張り 掛払い手間 110日賃料 基本料 修 理費 運搬費含む 986㎡程度	1	式			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 掛払い手間 110日賃料 基本料 修理費 運搬費含む 302m程度	1	式			

I. 1 号棟 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計						

I. 1 号棟		2. 防水改修工事		2.1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【屋上】						
シート防水撤去	平場 剥がれ部・浮き部 集積共	12.1	m ²			
シート防水撤去	立上り すべて 集積共	74.2	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	195	m ²			
ドレイン撤去	たて引き用 集積共	9	か所			
パテ・ヘッド笠木 一時取外し	アルミ コーナー共	103	m			
屋根マンホール 一時取外し	ステンレス 600角 枠・蓋	1	か所			
軒先唐草 一時取外し	フッ素樹脂鋼板	63.9	m			
雨押え 一時取外し	フッ素樹脂鋼板	4	m			
水切撤去	アルミ 集積共	23.4	m			
コーナーアンケル撤去	アルミ 集積共	0.4	m			
シーリング撤去	シート防水一般部 10×10	173	m			
シーリング撤去	屋根マンホール部 10×15	3.9	m			
シーリング撤去	水切部 10×10	23.4	m			
シーリング撤去	コーナーアンケル部 10×10	1.4	m			

I. 1 号棟		2. 防水改修工事		2. 1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計						
【ベランダ】						
塗膜防水撤去	平場・立上り 剥がれ部 集積共	9.6	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	95.6	m ²			
シーリング撤去	塗膜防水端部 10×10	156	m			
シーリング撤去	手摺り笠木端部・連結部 10×10	19.6	m			
シーリング撤去	床埋込式避難ハコ 周囲 15×10	5.4	m			
小計						
計						

I. 1 号棟		2. 防水改修工事		2. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【屋上】						
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-M2	機械的固定方法 平場 非歩行用 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 絶縁シート 遮熱(高反射) 高耐久	121	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-F2	接着工法 立上り部 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 遮熱(高反射) 高耐久	74.2	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	86.2	m ²			
入隅出隅鋼板	塩ビ被覆鋼板	191	m			
脱気筒	ステンレス S-M2	3	か所			
改修用ドレイン シート防水用 たて引き用	100φ用 塩ビ製 アルミストレーナー共 樹脂モルタル充填共	9	か所			
パラペット笠木 再取付	アルミ コーナー共	103	m			
屋根マンホール 再取付	ステンレス 600角 枠・蓋 アンカーボルト周囲 変成シリコン系(MS-2) 15×10	1	か所			
軒先唐草 再取付	フッ素樹脂鋼板	63.9	m			
雨押え 再取付	フッ素樹脂鋼板	4	m			
水切	アルミ 押え金物共	23.4	m			
コーナーアンクル	アルミ L-30×30程度	0.4	m			
シーリング	シート防水一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	173	m			
シーリング	屋根マンホール部 変成シリコン系(MS-2) 10×15	3.9	m			

I. 1 号棟		2. 防水改修工事		2. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	水切部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	23.4	m			
シーリング	コーナーアンクル部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	1.4	m			
小計						
【ベランダ】						
塗膜防水 X-2	平場・立上り 厚3.0 重ね塗り 歩行用ウレタン系塗膜防水 (環境対応型・遮熱工法)	95.6	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 撤去部 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	9.6	m ²			
シーリング	塗膜防水端部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	156	m			
シーリング	手摺り笠木端部・連結部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	19.6	m			
シーリング	床埋込式避難ハシコ 周囲 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	5.4	m			
小計						
計						

I. 1 号棟		3. 外壁改修工事		3. 1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング 計測 図面記入 (既存吹付タイル部分すべて対象)	1,264	m ²			
水洗い	外壁・巾木・軒天・天井・手摺り笠 木・階段中央壁(既存吹付タイル部分) 高圧ポンプ 15MPa程度	1,264	m ²			
堅樋切断	SGP管 100φ 集積共 (地盤面下部既存管残し部分)	9	か所			
堅樋撤去	SGP管 100φ 取付金物共 集積共	73.7	m			
シーリング撤去	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	196	m			
シーリング撤去	玄関扉・PS扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10 集積共	537	m			
シーリング撤去	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	48.8	m			
計						

I. 1 号棟		3. 外壁改修工事		3. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	1,209	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0 mm以下)	Uカット・可とう性ポキシ材充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	26.2	m			
スライソケット	堅樋 100φ用 塩ビ	17	か所			
シーリング	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10	196	m			
シーリング	玄関扉・PS扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10	537	m			
シーリング	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10	48.8	m			
堅樋	カラーVP 100φ 継手取付金物共	71.1	m			
計						

[illegible]

I. 1 号棟		4. 塗装改修工事		4. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	勾配屋根 フッ素樹脂鋼板段葺き 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	295	m ²			
下地調整 改修仕様	ベランダ フロアトレイン・中継トレイン 鉄鋼面 100φ たて引き用 RB種(塗替え面)	16	か所			
下地調整 改修仕様	階段中央壁 コンクリート面 RB種(塗替え面)	55	m ²			
下地調整 改修仕様	PS扉 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	22.6	m ²			
下地調整 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	11	m ²			
下地調整 改修仕様	共用分電盤 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	0.3	m ²			
下地調整 改修仕様	ベランダ 通気管(SGP管) 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	8.2	m ²			
ふっ素樹脂系屋根 用遮熱塗料塗替え	高遮熱性・低汚染性・防かび性	295	m ²			
変性エポキシ樹脂塗 料塗り	ベランダ フロアトレイン・中継トレイン ハンター系 (厚塗り性・高防食性・耐水性)	16	か所			
E P - G 塗り 改修仕様	階段中央壁 コンクリート面 工程B種(一般)	55	m ²			
D P 塗り 改修仕様	PS扉(外部面のみ・枠共) 鉄鋼建具面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	22.6	m ²			
D P 塗り 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	11	m ²			
D P 塗り 改修仕様	共用分電盤 (外部面のみ) 鉄鋼建具面 1級 B種					

鹿沼市役所 (乙)

I. 1 号棟		5. 環境配慮改修工事		5. 1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベランダ 隔板撤去	厚5.0 石綿セメント板 (既存アルミ枠利用)	6	か所			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

I. 1 号棟		6. 雑工事		6. 1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
館名番号表示撤去	ステンレス製 箱文字	2	か所			
丸形フット撤去	台所換気扇 アルミ 150 φ	13	か所			
丸形フット撤去	換気扇(便所・UB) アルミ 100 φ	26	か所			
通気弁撤去	ベランダ通気管	4	か所			
PS扉取外し	ロックハンドル・丁番撤去	1	か所			
計						

I. 1 号棟		6. 雑工事		6. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
館名番号表示	ステンレス製ヘアライン 切り文字 H=600 アンカーボルト(M10)留め 浮かしタイプ	2	か所			
深型フード	台所換気扇 アルミ 150φ 粉体焼付塗装 ホワイト水切 縦ギヤリ 網目5メッシュ	13	か所			
深型フード	換気扇(便所・UB) アルミ 100φ 粉体焼付塗装 ホワイト水切 縦ギヤリ 網目5メッシュ	26	か所			
トイレ通気弁	屋外設置用 75A 既存配管切断及び新規VP管接続 材工共	4	か所			
PS扉再取付	ロックハンドル・ステンレス丁番2か所 新設	1	か所			
計						

II. 1 号棟 自転車置場 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生	外壁改修 65.6㎡程度 ※内部含む	1	式			
整理清掃後片付け	外壁改修 65.6㎡程度 ※内部含む	1	式			
仕上足場	脚立足場 供用 30日賃料 掛払い手間 基本料 修理費 運搬費 含む 階高4.0m以下 12.7㎡程度	1	式			
計						

Ⅱ. 1号棟 自転車置場		2. 外壁改修工事		3. 1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング 計測 図面記入 (既存吹付タイル部分すべて対象)	37.8	m ²			
水洗い	外壁・巾木 (既存吹付タイル部分) その他 高圧ホース 15MPa程度	37.8	m ²			
堅樋切断	SGP管 100φ 集積共 (地盤面下部既存管残し部分)	2	か所			
堅樋撤去	塩ビ管 65φ 取付金物共 集積共	4.1	m			
軒樋撤去	塩ビ W=120 取付金物共 集積共	14	m			
計						

Ⅱ. 1号棟 自転車置場		2. 外壁改修工事		3. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	37.8	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0mm以下)	Uカット・可とう性ポリシマ材充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	1.1	m			
浮き部補修 (狭幅部)	注入口付アンカービニリング部分ポリシマ樹脂 注入工法 5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用) 石綿含有仕上塗材	0.6	m			
欠損部補修	脆弱部撤去 ポリマーセメントモルタル充填 厚25 20×20程度 防錆処理 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	8	か所			
欠損部補修	脆弱部撤去 ポリマーセメントモルタル充填 厚25 100×100程度 防錆処理 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	1	か所			
堅樋	カラーVP 65φ 継手取付金物共	4.1	m			
軒樋	塩ビ W=120 取付金物共	14	m			
スライトソケット	堅樋 100φ用 塩ビ	2	か所			
計						

Ⅱ. 1 号棟 自転車置場		3. 塗装改修工事		4. 1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水洗い	屋根 ルーフデッキカラー鉄板 高圧ホ ンフ 15MPa程度	36.1	m ²			
ルーフデッキ 裏打ち張り撤去	ホ リフォーム	32.1	m ²			
計						

Ⅱ. 1号棟 自転車置場		3. 塗装改修工事		4. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	屋根 ルーフデッキカラー鉄板 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	36.1	m ²			
下地調整 改修仕様	梁・屋根下地 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	7.7	m ²			
ふっ素樹脂トッ 屋根用塗料	高耐候性・高耐久性	36.1	m ²			
D P塗り 改修仕様	梁・屋根下地 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	7.7	m ²			
計						

Ⅲ. 2号棟 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生	屋上防水改修 312㎡程度	1	式			
養生	外壁改修 197㎡程度	1	式			
養生	階段部分 68.5㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	屋上防水改修 312㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	外壁改修 197㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	階段部分 68.5㎡程度	1	式			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費含む 1,605㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費 含む 123m程度	1	式			
通路天井養生	単管一本足場 合板天井 掛払い手間 供用 120日賃料 基本料 修理費 運搬費 含む 10m未満 7.6㎡程度	1	式			
ペランダ仕上足場	脚立足場 供用 45日賃料 掛払い手間 基本料 修理費 運搬費含む階高4.0m以下 45.8㎡程 度 転用数4	1	式			
階段仕上足場	階段仕上足場 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費 含む 68.5㎡程度	1	式			
養生シート張り	メッシュシート張り 110日賃料 修理費含む 運搬費 1,330㎡程度	1	式			

Ⅲ. 2号棟 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 掛払い手間 110日 賃料 基本料 修理費 運搬費含む 391m程度	1	式			
計						

Ⅲ. 2号棟		2. 防水改修工事		2.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【屋上】						
シート防水撤去	平場 剥がれ部・浮き部 集積共	11.6	m ²			
シート防水撤去	立上り すべて 集積共	69.3	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	185	m ²			
ドレイン撤去	たて引き用 集積共	8	か所			
パテヘッド笠木 一時取外し	アルミ コーナー共	93.5	m			
屋根マンホール 一時取外し	ステンレス 600角 枠・蓋	1	か所			
軒先唐草 一時取外し	フッ素樹脂鋼板	63.9	m			
雨押え 一時取外し	フッ素樹脂鋼板	4	m			
水切撤去	アルミ 集積共	19.6	m			
コーナーアンケル撤去	アルミ 集積共	0.4	m			
シーリング撤去	シート防水一般部 10×10	160	m			
シーリング撤去	屋根マンホール部 10×15	3.9	m			
シーリング撤去	水切部 10×10	19.6	m			
シーリング撤去	コーナーアンケル部 10×10	1.4	m			

Ⅲ. 2号棟		2. 防水改修工事		2.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計						
【ベランダ】						
塗膜防水撤去	平場・立上り 剥がれ部 集積共	19.1	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	191	m ²			
シーリング撤去	塗膜防水端部 10×10	312	m			
シーリング撤去	手摺り笠木端部・連結部 10×10	39.2	m			
シーリング撤去	床埋込式避難ハコ 周囲 15×10	8.2	m			
小計						
計						

Ⅲ. 2号棟		2. 防水改修工事		2.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【屋上】						
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-M2	機械的固定方法 平場 非歩行用 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 絶縁シート 遮熱(高反射) 高耐久	116	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-F2	接着工法 立上り部 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 遮熱(高反射) 高耐久	69.3	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	80.9	m ²			
入隅出隅鋼板	塩ビ被覆鋼板	177	m			
脱気筒	ステンレス S-M2	2	か所			
改修用ドレイン シート防水用 たて引き用	100φ用 塩ビ製 アルミストレーナー共 樹脂モルタル充填共	8	か所			
パラペット笠木 再取付	アルミ コーナー共	93.5	m			
屋根マンホール 再取付	ステンレス 600角 枠・蓋 アンカーボルト周囲 変成シリコン系(MS-2) 15×10	1	か所			
軒先唐草 再取付	フッ素樹脂鋼板	63.9	m			
雨押え 再取付	フッ素樹脂鋼板	4	m			
水切	アルミ 押え金物共	19.6	m			
コーナーアンクル	アルミ L-30×30程度	0.4	m			
シーリング	シート防水一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	160	m			
シーリング	屋根マンホール部 変成シリコン系(MS-2) 10×15	3.9	m			

Ⅲ. 2号棟		2. 防水改修工事		2.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	水切部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	19.6	m			
シーリング	コーナーアンダール部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	1.4	m			
小計						
【ペラシタ】						
塗膜防水 X-2	平場・立上り 厚3.0 重ね塗り 歩行用ウレタン系塗膜防水 (環境対応型・遮熱工法)	191	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 撤去部 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	19.1	m ²			
シーリング	塗膜防水端部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	312	m			
シーリング	手摺り笠木端部・連結部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	39.2	m			
シーリング	床埋込式避難ハシコ 周囲 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	8.2	m			
小計						
計						

Ⅲ. 2号棟		3. 外壁改修工事		3.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング 計測 図面記入 (既存吹付タイル部分すべて対象)	1,646	m ²			
水洗い	外壁・巾木・軒天・天井・手摺り笠 木・階段中央壁(既存吹付タイル部分) 高压ポンプ 15MPa程度	1,646	m ²			
堅樋切断	SGP管 100φ 集積共 (地盤面下部既存管残し部分)	8	か所			
堅樋撤去	SGP管 100φ 取付金物共 集積共	97.6	m			
シーリング撤去	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	224	m			
シーリング撤去	玄関扉・PS扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10 集積共	711	m			
シーリング撤去	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	71	m			
計						

Ⅲ. 2号棟		3. 外壁改修工事		3.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	1,596	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0mm以下)	Uカット・可とう性ポリシマ材充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	61.2	m			
浮き部補修	注入口付アンカービニング部分ポリシマ樹脂 注入工法 16本/m ² 程度 (水循環式無振動ドリル使用) 石綿含有仕上塗材	5	m ²			
浮き部補修 (狭幅部)	注入口付アンカービニング部分ポリシマ樹脂 注入工法 5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用) 石綿含有仕上塗材	0.3	m			
スライソケット	堅樋 100φ用 塩ビ	24	か所			
シーリング	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10	224	m			
シーリング	玄関扉・PS扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10	711	m			
シーリング	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10	71	m			
堅樋	カラーVP 100φ 継手取付金物共	94	m			
計						

Ⅲ. 2号棟		4. 塗装改修工事		4.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水洗い	勾配屋根 フッ素樹脂鋼板段葺き 高圧ホース 15MPa程度	295	m ²			
計						

Ⅲ. 2号棟		4. 塗装改修工事		4.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	勾配屋根 フッ素樹脂鋼板葺き 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	295	m ²			
下地調整 改修仕様	ベランダ フロアトレイン・中継トレイン 鉄鋼面 100φ たて引き用 RB種(塗替え面)	32	か所			
下地調整 改修仕様	階段中央壁 コンクリート面 RB種(塗替え面)	50.3	m ²			
下地調整 改修仕様	PS扉 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	27.5	m ²			
下地調整 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	15.9	m ²			
下地調整 改修仕様	共用分電盤 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	0.3	m ²			
下地調整 改修仕様	ベランダ 通気管(SGP管) 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	11.6	m ²			
ふっ素樹脂系屋根 用遮熱塗料塗替え	高遮熱性・低汚染性・防かび性	295	m ²			
変性エポキシ樹脂塗 料塗り	ベランダ フロアトレイン・中継トレイン ハンター系 (厚塗り性・高防食性・耐水性)	32	か所			
E P - G 塗り 改修仕様	階段中央壁 コンクリート面 工程B種(一般)	50.3	m ²			
D P 塗り 改修仕様	PS扉(外部面のみ・枠共) 鉄鋼建具面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	27.5	m ²			
D P 塗り 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	15.9	m ²			
D P 塗り 改修仕様	共用分電盤 (外部面のみ) 鉄鋼建具面 1級 B種					

鹿 沼 市 役 所 (乙)

Ⅲ. 2号棟		5. 環境配慮改修工事		5.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベランダ 隔板撤去	厚5.0 石綿セメント板 (既存アルミ枠利用)	12	か所			
計						

Ⅲ. 2号棟		5. 環境配慮改修工事		5.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベランダ 隔板新設	厚5.0 ケイカル板 両面EP塗装品 枠・周囲押しピン既存利用	12	か所			
避難案内ステッカー	400×150程度 黄色下地 赤黒文字	24	か所			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

鹿 沼 市 役 所 (乙)

1. 直接仮設工事

[illegible]

IV. 2号棟 自転車置場		2. 外壁改修工事		2.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング 計測 図面記入 (既存吹付タイル部分すべて対象)	43.1	m ²			
水洗い	外壁・巾木 (既存吹付タイル部分) その他 高圧ホース 15MPa程度	43.1	m ²			
堅樋切断	SGP管 100φ 集積共 (地盤面下部既存管残し部分)	2	か所			
堅樋撤去	塩ビ管 65φ 取付金物共 集積共	4.1	m			
軒樋撤去	塩ビ W=120 取付金物共 集積共	18	m			
計						

IV. 2号棟 自転車置場		2. 外壁改修工事		2.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	43.1	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0mm以下)	Uカット・可とう性ポリシタ充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	1.4	m			
浮き部補修 (狭幅部)	注入口付アンカーピンニング部分ポリシタ樹脂 注入工法 5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用) 石綿含有仕上塗材	0.6	m			
欠損部補修	脆弱部撤去 ポリマーセメントモルタル充填 厚25 20×20程度 防錆処理 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	3	か所			
堅樋	カラーVP 65φ 継手取付金物共	4.1	m			
軒樋	塩ビ W=120 取付金物共	18	m			
スライソケット	堅樋 100φ用 塩ビ	2	か所			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

IV. 2号棟 自転車置場		3. 塗装改修工事		3.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	屋根 ルーフデッキカ-鉄板 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	46.1	m ²			
下地調整 改修仕様	梁・屋根下地 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	8.9	m ²			
ふっ素樹脂ト- 屋根用塗料	高耐候性・高耐久性	46.1	m ²			
D P塗り 改修仕様	梁・屋根下地 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	8.9	m ²			
計						

V.LSA住宅 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生	屋上防水改修 74.4㎡程度	1	式			
養生	外壁改修 103㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	屋上防水改修 74.4㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	外壁改修 272㎡程度	1	式			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費 含む 272㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費 含む 70.1m程度	1	式			
一側足場	高さ10m未満 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費含む 26.0㎡程度	1	式			
安全手すり	一側足場用 掛払い手間 賃料 120日 基本料 修理費 運搬費含む 8.4m程度	1	式			
通路天井養生	単管一本足場 合板天井 掛払い手間 供用 120日賃料 基本料 修理費含む 10m未満 2.5㎡ 程度	1	式			
養生シート張り	メッシュシート張り 掛払い手間 110日賃料 基本料 修 理費 運搬費 含む 298㎡程度	1	式			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 掛払い手間 110日賃料 基本料 修理費 運搬費含む 83.3m程度	1	式			
計						

V. LSA住宅						
2. 防水改修工事				2.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【ベランダ】						
シート防水撤去	平場 剥がれ部・浮き部 集積共	4.9	m ²			
シート防水撤去	立上り すべて 集積共	36.2	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	85	m ²			
ドレイン撤去	たて引き用 集積共	5	か所			
パテラケット笠木 一時取外し	アルミ コーナー共	27	m			
水切撤去	アルミ 集積共	14	m			
シーリング撤去	シート防水一般部 10×10	40.1	m			
シーリング撤去	水切部 10×10	14	m			
小計						
【玄関庇】						
塗膜防水撤去	平場・立上り 剥がれ部 集積共	0.3	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	2.7	m ²			
シーリング撤去	塗膜防水端部 10×10	5.3	m			
パテラケット笠木 一時取外し	アルミ コーナー共	2.9	m			

鹿沼市役所 (乙)

V.LSA住宅		2. 防水改修工事		2.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【ベランダ】						
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-M2	機械的固定方法 平場 非歩行用 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 絶縁シート 遮熱(高反射) 高耐久	48.8	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-F2	接着工法 立上り部 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 遮熱(高反射) 高耐久	36.2	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	41.1	m ²			
入隅出隅鋼板	塩ビ被覆鋼板	84.2	m			
脱気筒	ステンレス S-M2	1	か所			
改修用トイレインシート防水用 ため引き用	75φ用 塩ビ製 アルミストレーナー共 樹脂モルタル充填共	5	か所			
パテパット笠木再取付	アルミ コーナー共	27	m			
水切	アルミ 押え金物共	14	m			
シーリング	シート防水一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	40.1	m			
シーリング	水切部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	14	m			
小計						
【玄関庇】						
塗膜防水 X-2	平場・立上り 厚3.0 重ね塗り 歩行用ウレタン系塗膜防水 (環境対応型・遮熱工法)	2.7	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 撤去部 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	0.3	m ²			

鹿 沼 市 役 所 (乙)

V. LSA住宅		3. 外壁改修工事		3.1撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁面の事前調査	目視・打診による確認 マーキング 計測 図面記入 (既存吹付タイル部分すべて対象)	261	m ²			
水洗い	外壁・巾木・軒天 (既存吹付タイル部分) 高圧ポンプ 15MPa程度	261	m ²			
堅樋撤去	SGP管 75φ 取付金物共 集積共	16.6	m			
堅樋撤去	塩ビ管 75φ 取付金物共 集積共	18.1	m			
軒樋撤去	塩ビ W=150 取付金物共 集積共	40.9	m			
シーリング撤去	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	50.2	m			
シーリング撤去	玄関扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10 集積共	115	m			
シーリング撤去	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10 集積共	8.9	m			
計						

V. LSA住宅		3. 外壁改修工事		3.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	261	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0 mm以下)	Uカット・可とう性ポリシン材充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	3.9	m			
堅樋	陸屋根 カラーVP 75φ 継手取付金物共	16.6	m			
堅樋	勾配屋根 カラーVP 75φ 継手取付金物共 (既製システム軒樋塗装品)	18.1	m			
軒樋	勾配屋根 塩ビ W=150 取付金物共 (既製システム軒樋塗装品)	40.9	m			
スライトソケット	堅樋 100φ用 塩ビ	9	か所			
シーリング	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10	50.2	m			
シーリング	玄関扉・窓廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10	115	m			
シーリング	窓上庇廻り 変成シリコン系(MS-2) 15×10	8.9	m			
計						

鹿沼市役所 (乙)

V. LSA住宅		4. 塗装改修工事		4. 2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	勾配屋根 フッ素樹脂鋼板段葺き 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	101	m ²			
下地調整 改修仕様	玄関庇 フロアードレイン 鉄鋼面 75φ たて引き用 RB種(塗替え面)	1	か所			
下地調整 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	2	m ²			
下地調整 改修仕様	軒天 ボード面 RB種(塗替え面)	7	m ²			
ふっ素樹脂系屋根 用遮熱塗料塗替え	高遮熱性・低汚染性・防かび性	101	m ²			
変性エポキシ樹脂塗 料塗り	玄関庇 フロアードレイン パンタール系 (厚塗り性・高防食性・耐水性)	1	か所			
D P塗り 改修仕様	窓上庇 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	2	m ²			
E P-G塗り 改修仕様	軒天 ボード面 工程B種(見上)	7	m ²			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

鹿 沼 市 役 所 (乙)

VI.ポンプ室 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生	屋上防水改修 13.7㎡程度	1	式			
養生	外壁改修 40.3㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	屋上防水改修 13.7㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け	外壁改修 40.3㎡程度	1	式			
一側足場	高さ10m未満 掛払い手間 賃料 45日 基本料 修理費 運搬費含む 57.3㎡程度	1	式			
安全手すり	一側足場用 掛払い手間 賃料 45日 基本料 修理費 運搬費含む 19.0m程度	1	式			
計						

VI. ポンプ室		2. 防水改修工事		2.1 撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シート防水撤去	平場 剥がれ部・浮き部 集積共	1.2	m ²			
シート防水撤去	立上り すべて 集積共	2.1	m ²			
水洗い	平場・立上り 高圧ポンプ 15MPa程度 ケレン・清掃共	14	m ²			
パテヘッド笠木 一時取外し	アルミ コーナー共	10.8	m			
水切撤去	アルミ 集積共	3.3	m			
コーナーアングル撤去	アルミ 集積共	0.4	m			
シーリング 撤去	シート防水一般部 10×10	13.8	m			
シーリング 撤去	水切部 10×10	3.3	m			
シーリング 撤去	コーナーアングル部 10×10	0.8	m			
計						

VI. ポンプ室		2. 防水改修工事		2.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-M2	機械的固定方法 平場 非歩行用 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 絶縁シート 遮熱(高反射) 高耐久	14	m ²			
合成高分子系ルーフィングシート防水 S-F2	接着工法 立上り部 厚2.0 塩化ビニル樹脂系 遮熱(高反射) 高耐久	2.1	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	3.3	m ²			
入隅出隅鋼板	塩ビ被覆鋼板	13.8	m			
脱気筒	ステンレス S-M2	1	か所			
パテラケット笠木再取付	アルミ コーナー共	10.8	m			
シーリング	シート防水一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	13.8	m			
塗膜防水 X-2	平場・立上り 厚3.0 重ね塗り 歩行用ウレタン系塗膜防水 (環境対応型・遮熱工法)	0.9	m ²			
ポリマーセメント塗り	平場・立上り 撤去部 厚1.0 カチオン系 下地調整材 仮防水機能・強付着性・耐溶剤性	0.5	m ²			
シーリング	塗膜防水端部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	7.1	m			
水切	アルミ 下部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	3.3	m			
フラットバー	アルミ	0.3	m			
コーナーアングル	アルミ L-30×30程度	0.4	m			
シーリング	水切部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	3.3	m			
シーリング	コーナーアングル部・フラットバー部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	1.5	m			

鹿 沼 市 役 所 (乙)

鹿 沼 市 役 所 (乙)

VI.ポンプ室						
3. 外壁改修工事						
3.2改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
可とう形改修塗材 CE	ふっ素樹脂 ゆず肌 低炭素対応型 超耐候性 超低汚染性 透湿性 ポリマーセメント系基材 法定福利費	39.7	m ²			
ひび割れ部補修 (幅0.2mm以上1.0 mm以下)	Uカット・可とう性ポリシン材充填 サンダー仕上げ工法 10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	2.9	m			
欠損部補修	脆弱部撤去 ポリマーセメントモルタル充填 厚25 100×100程度 防錆処理 (HEPAフィルター付き集塵機使用) 石綿含有仕上塗材	4	か所			
シーリング	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地 変成シリコン系(MS-2) 15×10	10.5	m			
シーリング	出入口・窓・換気扇廻り 変成シリコン系(MS-2) 10×10	13.9	m			
計						

VI. ポンプ室		4. 塗装改修工事		4.2改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 改修仕様	出入口扉 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	3.7	m ²			
下地調整 改修仕様	引込開閉器盤 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	0.2	m ²			
D P 塗り 改修仕様	出入口扉(外部面のみ・枠共) 鉄鋼建具面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	3.7	m ²			
D P 塗り 改修仕様	引込開閉器盤 (外部面のみ) 鉄鋼建具面 1級 B 種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	0.2	m ²			
計						

VII. 外構						
1. 外構工事						
1.1撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽 伐採・伐根	低木 236本程度	1	式			
計						

VII. 外構						
1. 外構工事			1. 2改修工事			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽基盤整備	D種 有効土層 H=30cm 植込み用土(黒土)共	68.4	m ²			
下地調整 改修仕様	外灯ポール 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	8.9	m ²			
下地調整 改修仕様	引込開閉器盤 鉄鋼面 RB種(塗替え面)	2.9	m ²			
D P塗り 改修仕様	外灯ポール 鉄鋼面 1級 B種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	8.9	m ²			
D P塗り 改修仕様	引込開閉器盤 (外部面のみ) 鉄鋼建具面 1級 B 種 ふっ素樹脂塗料 錆止め塗料 E種共	2.9	m ²			
計						

VIII. 発生材処理						
1. 発生材処理				積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	その他 人力	2.5	m3			
発生材積込み	木材 機械	20.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック DID区間有り 8.0km以下	1.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 スチール、ステンレス、アルミ DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.45m3 木材類 DID区間有り 9.0km以下	20.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスベスト含有ボード(レベル3) DID区間有り	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 混合廃棄物 DID区間有り 14.5km以下	0.7	m3			
計						

VIII. 発生材処理						
1. 発生材処理				処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残材処分	廃プラスチック	1.5	m3			
残材処分	木材（木くず）	20.1	m3			
残材処分	アスベスト含有ボード（レベル3）	0.2	m3			
残材処分	解体系混合廃棄物	0.7	m3			
有価物	スチール	0.9	t			
計						

I. 1 号棟		1. 電気設備工事		新設工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具A (非常灯兼用)	LED20型 直付型 電池内蔵型	6	個			
照明器具B	LEDフック (20形)	12	個			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

Ⅱ. 2号棟		1. 電気設備工事		新設工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具A (非常灯兼用)	LED20型 直付型 電池内蔵型	8	個			
照明器具B	LEDフック (20形)	16	個			
計						

Ⅱ. 2号棟		1. 電気設備工事		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具 撤去	FL20W-1 逆富士型（非常灯兼用） （再使用しない）	8	個			
照明器具 撤去	FL18W-1 フラケット （再使用しない）	16	個			
水道集中検針盤 撤去	離線及び絶縁処理共	1	面			
フランクプレート	金属製 4個用	1	個			
計						

Ⅲ. LSA住宅		1. 電気設備工事		新設工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具B	LEDﾌﾟﾗｹｯﾄ (20形)	4	個			
計						

Ⅲ. LSA住宅		1. 電気設備工事		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具 撤去	FL18W-1 フラケット (再使用しない)	4	個			
計						

建築工事に伴う電気設備工事 細目別内訳

101

IV. 自転車置場・外灯・ポンプ室		1. 電気設備工事		新設工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 架空 1径間 (11m) 1号棟	1	径間			
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 架空 1径間 (17m) 2号棟	1	径間			
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	16	m			
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ボール内	8	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管(内外溶融亜鉛メッキ) 22mm	16	m			
厚鋼電線管(G)用 附属品	(22) エントランスキャップ	2	個			
屋外入線カバー	防雨入線カバー	2	個			
照明器具C	LEDベースライト (20形) 反射笠付 WP	4	個			
外灯 (ボール灯) 灯 具D	LEDボール灯 ランプ・電源ユニット共	4	個			
照明器具E	LEDベースライト (40型) WP	1	個			
高所作業車(機器 賃料)	トラック架装リフト 作業床8～10m 標準デッキ	1	台・日			
計						

IV. 自転車置場・外灯・ポンプ室		1. 電気設備工事		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EM-EEFケーブル 撤去	2.0mm- 2C 架空 (再使用しない)	2	径間			
EM-EEFケーブル	2.0mm- 2C 管内	16	m			
EM-EEFケーブル 撤去	2.0mm- 2C ポール内 (再使用しない)	8	m			
硬質ビニル管 (VE) 撤去	(16) 露出 (再使用しない)	16	m			
エントランスキャップ 撤去	VE16mm (再使用しない)	2	個			
照明器具 撤去	FL20W-1 反射笠付 WP (再使用しない)	4	個			
外灯 (ポール灯) 灯具のみ撤去	ポール灯 水銀灯200W (再使用しない)	4	個			
照明器具 撤去	FL40W-1 WP (再使用しない)	1	個			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

103

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス		1	式			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	88.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 供用 120日賃料 修理費含む	88.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料 修理費含む	88.6	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		88.6	m			
計						
ヘビークレーン		1	式			
仮設機械運転 (トラック)	普通用 2t積	1	運転日			
ヘビークレーン	供用期間60日賃貸 基本料+日額 吊上げ荷重200kg	2	基			
計						
交通誘導員		1	式			
交通誘導員	資格無し	8	人日			
計						

建 築 工 事 仕 様 書

令和8年5月 1 日適用

I 共通仕様

1. 工事積算について

本工事の積算は、栃木県県土整備部発行の建築工事積算基準 令和8年4月1日改定(改修建築工事)による。

共通費算出の為の工期は5. 5カ月とする。

新設材の加工等により発生するスクラップの控除価格は、一般工事として共通費等を算出する。

撤去および解体により発生する有価物の控除価格は、共通仮設費、現場管理費および一般管理費の対象外として共通費等を算出する。

2. 工事仕様について

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書(質問回答書含む)に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」により施工するものとする。

最新情報及び改訂版等の管理は適宜行い、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

3. 下請業者の選定

受注者は、一次下請業者を選定する際、当該建設業者の社会保険等加入状況を確認のうえ、社会保険等に参加している建設業者を選定しなければならない。なお、二次下請以下の建設業者についても、原則、社会保険等に参加している建設業者を選定すること。

4. 成果品の電子納品について

受注者は、「鹿沼市電子納品運用ガイドライン」を遵守のうえ、成果品を電子納品すること。

5. 工事看板の設置基準について

工事看板の設置基準は、以下の URL を参照すること。

○鹿沼市 HP: <https://www.city.kanuma.tochigi.jp/manage/contents/upload/57d9000a825fd.pdf>

6. 提出書類

受注者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

Ⅱ 特記仕様

1. 法定外の労災保険の付保

受注者は、本工事において法定外の労災保険に付さなければならない。法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険をいう。

2. 週休2日制工事

本工事は、「通期の週休2日」に取り組むことを前提とした発注者指定型の営繕工事である。受注者は契約後、「週休2日制工事の実施計画書(様式第1号)」により発注者と協議したうえで週休2日制工事に取り組むこと。

3. 契約保証費について

本工事は、契約保証費を含む。

4. 安全対策と工期について

施工にあたっては近隣及び通行人等安全面に十分注意した工事計画を立て、作業ごとに作業期間や作業手順等を明確にした工程表を作成し承諾を受けること。

また、入居者への負担を軽減するため、監督職員との工程管理協議を密にし極力工期短縮に努めること。

市営住宅入居者が入居しながらの工事となるため安全管理には十分注意すること。

5. 猛暑による作業不能日数について

本工事では、猛暑による作業不能日数を4日間見込んでいる。

特記仕様書

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要な経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
2. 対象とする調達検討資材は、受注者からの「様式 1_調達検討資材に関する協議書」及び「添付 2_工事打合せ簿」による発議に基づき監督職員と協議の上決定するものとする。
3. 代替資材の調達又は流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる調達をせざるを得ない場合には、受注者は、購入する前に「様式 1_調達検討資材に関する協議書」を監督職員に提出し、協議するものとする。
4. 受注者は、別途「様式 2_調達検討資材に関する実施報告書」及び調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

なお、設計変更の対象は以下を想定している。

- ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
- ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
- ③ 調達検討資材を調達した場合（別途調達経費を含む）

鹿沼市工事資料一覧表(営繕工事)

※1 1. 提出書類

No.	工 事 資 料 名	1000万円未満	検査資料	1000万円以上	検査資料	備 考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
3	工事部分下請通知書	○	●	○	●	契9
4	再生資源利用・利促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※5	○	●	○	●	リサイクル法
5	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	○	●	○	●	特記仕様書
6	設計図書照査表	○	●	○	●	契19
7	実施工程管理図表(月毎及び完成時)	○	●	○	●	標準仕様書、契13
8	総合施工計画書	○※2	●	○	●	標準仕様書
9	工種別施工計画書(施工要領書)	○	●	○	●	標準仕様書
10	工種別施工報告書	○	●	○	●	標準仕様書
11	工事打合せ簿	○	●	○	●	契11の2、11の4
12	工事写真 ※6	○	●	○	●	契16、鹿沼市電子納品ガイドライン
13	材料機器承諾図	○	●	○	●	契15
14	主要資材(及び機器)数量比較調書	○	●	○	●	標準仕様書
15	施工図・見本・カタログ等見本帳	○	●	○	●	標準仕様書
16	工事検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
17	工事材料試験検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
18	製品の立会い検査願	△	△	△	△	標準仕様書
19	官公署届出書一覧(写し共)	○	●	○	●	標準仕様書
20	竣工図・施工図(製本)	○		○		
21	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品の範囲については監督員と協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
22	保全に関する書類(完成図、取扱い説明書、保証書等)	○	●	○	●	
23	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 1000万未満の総合施工計画書に記載する事項

- 1 工事概要
- 2 現場組織表
- 3 緊急時の体制及び対応
- 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
- 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※3 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※5 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※6 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。

※4 2. 請負者手持ち資料

No.	工 事 資 料 名	検査資料	備 考
1	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、特記仕様書
2	交通整理員集計表及び伝票		
3	安全教育実施記録簿(写真添付)		安59、安則35
4	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		中小企業退職金共済法
5	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安14、安則16
6	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安59、安則35
7	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則35
8	作業員名簿(自社・下請)		安30
9	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
10	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		標準仕様書、考査
11	工事カルテ(請負額500 万円以上)		特記仕様書
12	創意工夫提案資料(状況写真添付)	△	考査
13	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
14	使用機器車両の点検記録		
15	休暇期間の巡視計画書		

※4 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

建	建設業法
建則	建設業法施行規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
契	鹿沼市建設工事請負契約書
標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備編、機械設備編) 公共建築改修工事標準仕様書、 建築物解体工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

日吉町南市営住宅外壁外改修工事 (1期)



1級建築士事務所
有限会社
事務所登録番号

山崎企画設計
栃木県知事登録 第A二2769号

種 類	図面番号	図 面 名 称	種 類	図面番号	図 面 名 称	種 類	図面番号	図 面 名 称
意匠	A-	表紙		A- 36	LSA住宅 平面図・屋根伏図	電気	E- 01	配置図・案内図
	A- 00	図面目録		A- 37	LSA住宅 立面図 1		02	1号棟 平面図
	A- 01	特配仕様書（その1）		A- 38	LSA住宅 立面図 2		03	2号棟 平面図
	A- 02	特配仕様書（その2）		A- 39	LSA住宅 断面詳細図		04	照明器具姿図
	A- 03	特配仕様書（その3）		A- 40	LSA住宅 部分詳細図 1		05	1号棟 階段室 改修図
	A- 04	特配仕様書（その4）		A- 41	LSA住宅 部分詳細図 2		06	2号棟 階段室 改修図
	A- 05	特配仕様書（その5）		A- 42	1・2号棟自転車置場 仕上表		07	LSA住宅棟 改修図
	A- 06	特配仕様書（その6）		A- 43	1号棟自転車置場 平面図・屋根伏図・立面図		08	自転車置場 改修図
	A- 07	案内配置図		A- 44	2号棟自転車置場 平面図・屋根伏図・立面図			
	A- 08	1・2号棟 仕上表		A- 45	1・2号棟自転車置場 断面詳細図			
	A- 09	1号棟 1階平面図		A- 46	ポンプ室 仕上表			
	A- 10	1号棟 2階平面図		A- 47	ポンプ室 平面図・屋根伏図・立面図			
	A- 11	1号棟 3階平面図		A- 48	ポンプ室 断面詳細図			
	A- 12	1号棟 屋根伏図		A- 49	ポンプ室 部分詳細図			
	A- 13	1号棟 立面図 1		A- 50	外構詳細図			
	A- 14	1号棟 立面図 2		A- 51	仮設計画図			
	A- 15	1号棟 東階段図						
	A- 16	1号棟 西階段図						
	A- 17	1号棟 断面詳細図						
	A- 18	1号棟 階段詳細図						
	A- 19	2号棟 1階平面図						
	A- 20	2号棟 2・3階平面図						
	A- 21	2号棟 4階平面図						
	A- 22	2号棟 屋根伏図						
	A- 23	2号棟 立面図 1						
	A- 24	2号棟 立面図 2						
	A- 25	2号棟 東階段室						
	A- 26	2号棟 西階段室						
	A- 27	2号棟 断面詳細図						
	A- 28	2号棟 階段詳細図						
	A- 29	1・2号棟 部分詳細図 1						
	A- 30	1・2号棟 部分詳細図 2						
	A- 31	1・2号棟 部分詳細図 3						
	A- 32	1・2号棟 部分詳細図 4						
	A- 33	1・2号棟 部分詳細図 5						
	A- 34	1・2号棟 部分詳細図 6						
	A- 35	LSA住宅 仕上表						

日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

鹿沼市日吉町

2. 敷地面積

5,955.57㎡

3. 用途地域その他の地域

第1種中高層住居専用地域

4. 工事種目

建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
1号棟	改修	R C造3階建	312.73	872.48
2号棟	改修	R C造4階建	307.33	1,143.42
LSA 住宅	改修	R C造2階建	96.61	130.29
1号棟自転車置場	改修	R C造1階建	12.67	12.67
2号棟自転車置場	改修	R C造1階建	16.57	16.57
ポンプ室	改修	R C造1階建	8.10	8.10
5. 指定部分	・有 ・無 対象部分() 指定部分工期(年 月 日)			

Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標仕」という。）に準拠し、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（令和7年版）」（以下「標仕」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。

- 質問回答書（（2）から（5）に対するもの）
- 現場説明書（建築工事仕様書含む）
- 特記仕様書
- 図面及び設計書
- 改修標仕、標仕及び解体共仕

また、公営住宅工事においては上記の一部に加え、公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共通仕様書（令和4年度版）」（以下、「公仕仕」という。）及び「公共住宅改修工事共通仕様書（初版）」（以下、「改修公仕仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。

- 質問回答書（（2）から（6）に対するもの）
- 現場説明書（建築工事仕様書含む）
- 特記仕様書
- 図面及び設計書
- 改修標仕及び解体共仕
- 公仕仕及び改修公仕仕
- 機材の品質・性能基準（令和4年度版）（以下、「品質・性能基準」という。）

2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項で●印、◎印、・印のある場合の適用は下記による。
 - 印の付いた仕様は全て適用する。
 - 印の付かない場合は、◎印の付いた仕様を適用する。
 - ・印のみの仕様は適用しない。
- 特記事項に記載の（ ． ． ）内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図または表を示す。
- 特記事項に記載の（標仕 ． ． ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または表を示す。
- 特記事項に記載の（公仕仕 ． ． ）内表示番号は、公仕仕の当該項目、当該図または表を示す。
- 製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。

〔G〕印は、「栃木県グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。

1章 一般共通事項

- ◎建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（令和4年版）
- ◎敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（令和4年版）
- ◎工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和5年版）
- ◎建築物におけるコンクリートの品質管理実施要領 栃木県土木部技術管理課（平成14年12月）
- ◎建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 建設省大臣官房技術参事官通達（昭和62年3月改正）
- ◎手すり先行工法に関するガイドライン （令和5年12月改正）

〇1-1 適用基準等

〇1-2 工事実績情報システム（GCRINS）への登録（1.1.4）

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金が500万円以上の工事について、工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けた上、登録機関へ登録申請を行う。

〇1-3 発生材の処理等

- 〔発生土〕
- 構内指示の場所に数均し ・ 構外指示の場所にたい積
 - 構内指示の場所にたい積 たい積場所（ ）
 - ◎構外搬出適切処理（処理場所は入札条件書（特記事項）による）
- 〔発生土以外発生材〕
- 引渡しを要するもの ・有 名称（ ） ・無
 - 特別管理型産業廃棄物 ・有 名称（ ） ・無
- 処理方法（ ）
- 再利用及び再資源化を図るもの ・有 名称（ ） ・無

◎上記に指定されていないものは、改修標仕1.3.11（2）及び「建設廃棄物処理指針」（平成22年版）によるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。

- 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、法令等に基づき、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成・提出し、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。なお、建設混合法廃棄物の現場分別」については、【現場分別マニュアル】も参考に分別の徹底に取り組むこと。
関東地方整備局 HP > 技術情報 > その他 > 建設リサイクル
https://www.ktr.mlit.go.jp/gi/gyutu/gi/gyutu00000094.html
- 建設副産物の処理に先立ち、あらかじめ監督職員に確認を受けた「建設副産物処理承認申請書」を提出すること。
- 建設副産物の処分にあたって、提出事業者（元請業者）は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業者を収集運搬業者に委託する場合は、別に、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。
- 建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等）を提示し確認を受けること。
- 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。なお、回収したマニフェストについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。

〇1-4 品質計画（1.2.2）

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- ・風圧力
 - 風速（Vo＝30m/s）
 - 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ◎Ⅲ ・Ⅳ）
 - ・積雪荷重
- 平成12年6月31日建設省告示第1455号別表（ 24 ）

〇1-5 電気保安技術者の配置（1.3.3）

- 要 ◎不要

〇1-6 施工条件明示（1.3.5）

- 工事用車両の駐車場所 ●敷地内 ・敷地外（ ）
- 資機材の置場所 ●敷地内 ・敷地外（ ）

〇1-7 材料の検査に伴う試験（1.4.5）

構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験は下記の機関による。

- （公財）とちぎ建設技術センター
- 足利大学
- （株）中研コンサルタント関東技術センター
- 栃木県中央生コンクリート協同組合栃木県生コンクリート技術センター

〇1-8 建築材料の品質等（1.4.2）

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしJ I S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の項目を満たすものとし、証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定、または免許等を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された材料は、設計図書に規定するものまたは同等品を使用するものとし、同等品を使用の場合は、同等品等使用願を監督職員に提出して承諾を受ける。

なお、同等品の中で、一般社団法人公共建築協会編集「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（以下、「評価名簿」という。）に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。

〇1-9 再生骨材の品質確保について

本工事に再生骨材を利用する場合は、「再生クラッシャーランの品質確保に関する当面の措置について」（平成15年9月16日栃木県県土整備部技術管理課）より、現場搬入時に目視確認を行い、「再生クッシャーラン（RC材）品質確認状況報告書」を作成の上、速やかに監督職員に提出するものとする。

〇1-10 アスベスト含有分析調査済箇所

調査済箇所（材料名）	含有の有無
外壁・軒天（塗装）	・無 ●有（含有物質名：クリンタイル）
外壁（シーリング）	●無 ・有（含有物質名： ）
屋根（塩ビシート・塗膜）	●無 ・有（含有物質名： ）
自転車置場屋根裏（裏打ち材）	●無 ・有

〇1-11 アスベスト含有建材の調査（1.5.1）

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

平成18（2006）年9月1日以降に着工した建築物等 ・該当する（ ） ●該当しない（ ）

調査箇所（材料名）	調査方法（1材料あたりの採取箇所数）
	・定性分析（ ・3 ・ ） ・定量分析（ ・3 ・ ）
	・定性分析（ ・3 ・ ） ・定量分析（ ・3 ・ ）
	・定性分析（ ・3 ・ ） ・定量分析（ ・3 ・ ）

分析対象 ◎アスベスト6種類（アモサイト、クリンタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

分析方法 ◎定性分析にあつてはJIS A 1481-1またはJIS A 1481-2により、定量分析にあつてはJIS A 1481-3、JIS A 1481-4またはJIS A 1481-5による。

貸与資料 ●石綿含有建材の調査報告書 ・

分析結果については、監督職員に提出すること。

〇1-12 化学物質を発散する建築材料等（1.7.9）

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（1）から（5）を満たすものとする。

- （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないが、発散が極めて少ないものとする。

- （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ないものとする。

- （3）接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものを使用する。

- （4）接着剤及び塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを発散しないが、発散が極めて少ないものとする。

- （5）（1）（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ないものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

- ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

〇1-13 特殊な材料の工法

改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

・1-14 技能士（1.7.2）

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	・とび作業
鉄筋工事	・鉄筋組立作業
コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業
コンクリートブロック工	・コンクリートブロック工事作業
押出成形セメント板工事	・ALCパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業
金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業
左官工事	・左官作業
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業
塗装工事	・建築塗装作業
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・壁装作業 ・ボード仕上げ工事作業
排水工事	・建築配管作業
舗装工事	・溶融・イントロッド・マーカー工事作業 ・加熱・イントロッド・マーカー工事作業
植栽工事	・造園工事作業

・1-15 化学物質の濃度測定（1.7.9）

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

- | | | |
|--------|-------|---------|
| 測定方法 | ◎バッチ型 | ・アクティブ型 |
| 着工前の測定 | ◎行わない | ・行う |
| 測定対象室 | ・図示 | ・ |
| 測定箇所数 | ・図示 | ・ |

（住宅工事の場合は1住戸当たり2室以上）

報告の様式等については監督職員の指示による

〇1-16 完成図等（1.9.2.3）

- ◎作成する ・作成しない
 - ◎完成図 ◎製本 提出部数 ◎2部 ・部
- 複写2つ折り製本見開きA2 1冊、見開きA3 1冊
- ・施工図 提出部数 2部
 - ・保全に関する資料 提出部数 ・2部

〇1-17 施工図等の取り扱い（1.9.2）

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

〇1-18 完成写真

下記のことを監督職員に提出する。

分類・規格	提出部数	画素数、画質等
・カラーキャビネ版	◎2	◎428万画素以上
・アルバム綴じ（黒表紙金文字入り）		
・ベタ焼き（他に外観正全面1カット5枚（カラービ）版）提出		
・カラーパネル324×400mm	◎3	
◎電子データ	◎2	◎428万画素以上 ◎350dpi以上

電子データはJPE〔G〕形式としCD－Rにて提出する。

撮影箇所及び箇所数は監督職員との協議による。

・1-19 他工事との取り扱い

別表－1による他工事との取り扱いについては、設備機器の位置、取り扱い等の検討のできる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

〇1-20 設計GL

監督職員の指示による。

〇1-21 調査試験に対する協力

- （1）受注者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。
- （2）受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。
 - ア 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
 - イ 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合には、その実施に協力しなければならない。
 - ウ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
 - エ 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

〇1-22 火災保険等

火災保険、建設工事保険、組立保険または土木工事保険等のうち1以上に加入する。
契約期間の始期は、材料（仮設、型枠材を除く）搬入時以前とし、終期は、工事目的物（分離発注においては、引き渡しが最後となる工事目的物）の引き渡しの翌日までとする。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

〇1-23 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

〇1-24 下請負人の選定及び工事材料の選定

◎受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を市内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。

◎受注者は、市内で産出、生産または製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様と適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。

〇1-25 電子納品

- ◎適用基準は「鹿沼市電子納品ガイドライン(第5版)」とする
- 設計CADデータの貸与 ・無 ◎有（著作者名 鹿沼市）
- ◎貸与するCADデータを該当工事における施工図または完成図の作成のため以外には使用してはならない。
- ◎書面における署名及び捺印の取り扱いは、監督職員との協議による。

・1-26 交通安全管理（1.3.9）

受注者は、栃木県公安委員会が定める路線（令和5年11月30日栃木県公安委員会告示第61号）の交通誘導を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一般級定合格警備員または二級級定合格警備員を1人以上配置しなければならない。

〇1-27 環境対策（1.3.11）

- （1）騒音・振動対策
 - 受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成13年4月9日国交省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。
- （2）排出ガス対策
 - 受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第3に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械または同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。
- （3）グリーン購入法
 - 受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。 「グリーン購入法」という。）」第10条及び「栃木県生活環境の保全等に関する条例」第63条で定めた「栃木県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。

〇1-28 施工数量調査等（1.6.2.3）

調査範囲及び調査方法 ●図示

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示

〔埋設物等の調査等〕

給排水管、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行うこと。なお、給排水管等を掘り当てた場合は、損傷しないよう注意し、必要に応じて、応急処置を行い、監督職員及び関係者と協議すること。また、工事に支障となる障害物を発見した場合は、監督職員と協議すること。ただし、容易に取り除ける障害物はこの限りではない。

〇1-29 事故報告

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式（工事事故報告書）で指示する期日までに提出しなければならない。
〔工事事故等が発生した場合の早期報告の徹底について〕
万が一事故等が発生した場合、被災者の救護・現場の安全確保を最優先のうえ、警察・消防・労働基準監督署等関係機関への通報と合わせ、直ちに発注機関へ通報すること。
工事事故等が発生した場合、事故の大小を問わず、直ちに監督職員へ通報すること。
なお、事故発生の通報においては、休日、時間を問わず行うこととし、資料の有無は問わない。
また、本指示内容については、下請けを含む作業員や資機材運搬業者、交通誘導員等の工事関係者全てに行き届くよう周知徹底すること。

〇1-30 不正軽油使用の防止対策

- （1）本工事は、地方税法（昭和25年法律第226号）及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年5月25日法律第51号）を遵守すること。
- （2）本工事で使用しまたは使用させる軽油使用の車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料には規格（J I S）に合った軽油を使用すること。また、県または市が使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。

〇1-31 過積載対策

ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。

- （1）積重量重制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。
- （2）過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- （3）資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- （4）さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- （5）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- （6）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- （7）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- （8）下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者または業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- （9）（1）～（8）のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。

工事名称	日吉町南市営住宅外壁外改修工事（１期）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その１）	図面番号
設計年月日	2025/12/12	A 01
設計者	佐野 誠	
発注者	鹿沼市	

（鹿沼市 R7.4）

日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 特記仕様書

- 1-32 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置**
（1）鹿沼市が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
（2）（1）により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
（3）発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

- 1-33 工事の一時中止**
（1）鹿沼市建設工事請負契約書第 20 条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
（2）工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

- 1-34 墜落制止用器具の着用**
「労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号」における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止器具）とする。

2章 仮設工事

- 2-1 監督職員事務所等 (2.4.1)**
・設ける ◎設けない
監督職員事務所規模 ・10 m程度 ・20 m程度 ・35 m程度 ・65 m程度 ・100 m程度
備品 種類・数量（ ）

- 2-2 工事用水**
構内既存の施設 ◎利用できない ●利用できる（◎有償 ・無償）

- 2-3 工事用電力**
構内既存の施設 ◎利用できない ●利用できる（◎有償 ・無償）

- 2-4 足場その他 (2.2.1)**
内部足場 ●設ける（◎脚立、足場板等 ・ ） ・設けない
外部足場 ◎設ける ・設けない
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て、解体または変更の作業時及び使用時には、常時同ガイドラインの別紙 1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の 2 の（2）手すり据置方式または（3）手すり先行専用足場方式により行う。
なお、これにより難い場合は監督職員と協議すること。
●本工事で定置したものを別契約の関係請負者が無償で利用できる。
防護シートによる養生 ◎行う ・行わない
材料、撤去材等の運搬 ・A 種 ◎B 種 ・C 種 ・D 種 ・E 種

- 2-5 養生 (2.3.1)**
既存部分の養生 ◎ビニールシート等 ・合板等
既存家具等の養生 ◎ビニールシート等 ・
固定家具等の移動 ◎行わない ・行う（図示）

- ・2-6 仮設間仕切 (2.3.2)**
仮設間仕切り等の種別
- | 種別 | 下地 | 仕上材（厚さmm） | 充填材（厚さ） | 塗装 |
|------|--------------|-----------------------|--------------|----------|
| ・A 種 | ◎軽量鉄骨 | ・合板（◎9.0 ・ ） | ・グラスウール（ mm） | ◎無 |
| ・B 種 | ・木下地 | ◎せつこうボード（◎9.5 ・ ） | | ・片面 |
| ◎C 種 | ◎単管下地 | ◎防炎シート | | — |
| 仮設扉 | ◎木製扉
・鋼製扉 | ◎合板張り程度
・片面フラッシュ程度 | | ◎無
・有 |

3章 防水改修工事

- ・3-1 アスファルト防水 (3.2.2.5) (3.3.2.3) (表 3.1.1) (表 3.3.3~10)**
- | 工法 | 施工箇所 | 種別 |
|--------------------|-------------------------|---------------------|
| 屋根保護
防水絶縁 | ・P1B | ・B-1 ◎B-2 ・B-3 |
| | ・P1BI ・T1BI | ・BI-1 ◎BI-2 ・BI-3 |
| | ・P2AI | ・AI-1 ◎AI-2 ・AI-3 |
| | ・P2A | ・A-1 ◎A-2 ・A-3 |
| 屋根露出
防水 | ・M4C | ・C-1 ◎C-2 ・C-3 ・C-4 |
| | ・M3D・POD | ・D-1 ◎D-2 ・D-3 ・D-4 |
| 屋根露出
防水絶縁
断熱 | ・PODI
・M3DI
・M4DI | ・DI-1 ◎DI-2 |
| | ・PIE ・P2E | ・E-1 ◎E-2 |
| 屋内防水 | | （保護層は図示による） |

アスファルトの種類 ◎3 種
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.3.3 から表 3.3.9 による ・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.3.3 から表 3.3.9 による ・
保護コンクリートのコンクリート種類 ・
POD 工法の改修用ドレン ・設ける ・設けない
M3D、POD 工法の脱気装置 ・設ける ・設けない
PIE、P2E 工法の保護層 ・設ける ・設けない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M 4 C 工法の場合） ・除去する
断熱工法の断熱材 材質（ ）厚さ（mm）（ ）
立上り部の保護
・れんがの種類 ◎普通れんが（JIS R 1250）
・乾式保護材の材料 ◎押出成形セメント板厚さ 15 mm

屋根防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
◎図示 ・
屋根排水溝 ◎図示 ・
脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（ ） ・設置数量（ ）個/m²

- ・3-2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2.3) (表 3.1.1) (表 3.4.1~3)**
- | 工法 | 施工箇所 | 種別 |
|-----------|------|----------------------|
| ・M4AS 工法 | | ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2 |
| ・M3AS 工法 | | ・AS-T3 ・AS-T4 |
| ・POAS 工法 | | |
| ・M4ASⅠ 工法 | | ・AS-J1 ・AS-J3 |
| ・M3ASⅠ 工法 | | |
| ・POASⅠ 工法 | | |

脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（ ） ・設置数量（ ）個/m²
防湿層 ◎設けない ・設ける
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.4.1 から表 3.4.3 による ・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.4.1 から表 3.4.3 による ・

- 3-3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2~4) (表 3.5.1,2)**
- | 工法 | 施工場所 | 種別 | 仕上げ塗料等 | 使用分類 |
|----------|------|-------------------|---------------|--------------|
| ・POS 工法 | 屋上 | ・S-F1 ●S-F2 ・S-M1 | ・カラー
・シルバー | ◎非歩行
・軽歩行 |
| ●S4S 工法 | | ●S-M2 | | |
| ・S3S 工法 | | ・S-F1 ・S-F2 | | |
| ・MAS 工法 | | ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 | | |
| ・POSⅠ 工法 | | ・S1-F1 ・S1-F2 | | |
| ・S3SⅠ 工法 | | ・S1-M1 ・S1-M2 | | |
| ・S4SⅠ 工法 | | | | |
| ・MASⅠ 工法 | | | | |

脱気装置 ●設ける ・設けない
目地処理 PC コンクリートの場合（ ）
ルーフィングシートの種類及び厚さ ◎改修標仕表 3.5.1 から表 3.5.2 による
脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（ ） ・設置数量（ ）個/m²
断熱工法の断熱材 材質（ ）厚さ（mm）（ ）
S1-M1 及び S1-M2 の場合の防湿フィルムの設置 ◎設置する（厚さ 0.15mm） ・設置しない
屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層			立上り部の保護材 外塗り厚さ
		平場の材外塗り 塗り厚さ	・床塗り工法	・下地材外塗り 外塗り厚さ	
・S-C1			◎標仕 15.3.5(2) (4) 及び(4)に準ずる	◎標仕 15.3.5(4) (7) に準ずる	◎7mm 以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ・
機械的固定工法の場合
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

- 3-4 塗膜防水 (3.6.3) (表 3.1.1) (表 3.6.1,2) (3.2.6)**
- | 工法 | 施工場所 | 種別 | 仕上げ塗料塗り | 高日射反射率防水 |
|---------|------|--------------------------|---------------|------------|
| ・POX 工法 | ベランダ | ◎X-1 ●X-2
・X-1H ・X-2H | ・カラー
・シルバー | ・遮熱工法
・ |
| ●L4X 工法 | | ・X-1 ◎X-2
・X-1H ・X-2H | ・カラー
・シルバー | ●遮熱工法 |
| ・PIY 工法 | | ◎Y-2 ・ | | |
| ・P2Y 工法 | | ◎Y-2 ・ | | |

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X 工法の場合） ・除去する
ガラスファルト系塗膜防水の保護層 ・設けない ・設ける
脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（ ） ・設置数量（ ）個/m²

- 3-5 シーリング (3.1.4,3) (3.7.2,8) (表 3.1.2) (表 3.7.1)**
シーリング改修工法の種類
◎シーリング再充填工法 ・シーリング充填工法
・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
◎下表以外は、改修標仕表 3.7.1 を標準とする
- | 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） | 幅 | 深さ |
|------|---------------|---|----|
| 図示 | | | |
| | | | |
| | | | |

- 3-6 とい (3.8.2,3) (表 3.8.1)**
といの材種
・配管用銅管 ●硬質塩化ビニル管（カラー耐候性）
・着色亜鉛メッキ銅板 ・ステンレス銅板
銅管製といの防露［G］ ・次の箇所は行わない（
防露材のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種
掃除口 ◎有 ・無

- ・3-7 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (表 3.9.1)**
- | 種類 | 呼称肉厚
(mm) | 表面処理 | 固定間隔 | 備考 | | |
|--|--------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|--|--|
| ・250 形 | 1.6 以上 | 種別（ ）種 | 固定方法及び間隔
は品質計画で定め
たもの | 隅角部及び突当たり
部等の役物は本体製
造所の仕様による。 | | |
| ・300 形 | 1.8 以上 | 着色 | | | | |
| ・350 形 | 2.0 以上 | （・アパバー ・ブロンズ
・ブラック系 ・ステンカラー） | | | | |
| ●175 形 | | | | | | |
| 板材折曲げ形の取付け工法 ・図示 | | | | | | |
| 工法 既存笠木等の撤去 ◎行う（範囲 ◎図示 ・ ）
下地補修の方法 ◎図示
板材折り曲げ形の笠木の取付方法 ◎図示 | | | | | | |
| 固定金具
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法 | | | | | | |

- ・3-8 長尺金属板葺き (標仕 13.2.2,3) (標仕表 13.2.1)**
- | 屋根葺き形式 | 長尺金属板の種類 | 塗装の耐久性、めっき付着量
等の種類及び記号 | 板厚
(mm) |
|---|--|---------------------------|------------|
| ・ | ◎JIS［G］ 3322（塗装溶融 55%
Zn-5%～亜鉛合金めっき鋼板及び鋼
帯）
・ | | ・ |
| 屋根葺工法 ◎図示 ・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷
重に対応した工法 | | | |

- ・3-9 折板葺 (標仕 13.2.2) (標仕 13.3.2,3) (標仕表 13.2.1)**
形式 ◎重ね形 ・はざ締め形 ・かん合形
形状（mm） 山高（ ） 山ピッチ（ ） 板厚 ◎0.6 ・0.8
材料（規格等） ◎標仕表 13.2.1 による（ ） ・
耐力
軒先面戸板 ・有 ・無
断熱材 ・有（種別 ・厚さ mm） ・無
耐火性能 ・有（30 分耐火） ・無
塗装の耐久性、めっき付着
量等の種類及び記号
タイトフレームに JIS［G］ 3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処
理（標仕表 14.2.2 による ・E 種 ・F 種）
屋根葺工法
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

- 3-10 保証書**
責任施工の保証書を完了後速やかに提出する。（受注者、専門施工業者及び材料製造者の連名による）
保証年限は下記による。
- | 種別 | 保証年限 | 種別 | 保証年限 |
|--------------------|------|-----------|------|
| ・アスファルト防水 | 年 | ●塗膜防水 | 10 年 |
| ・改質アスファルト防水 | 年 | ・リン酸系塗布防水 | 年 |
| ●合成高分子系ルーフィングシート防水 | 10 年 | | |

4章 外壁改修工事 共通事項

- 4-1 施工数量調査 (1.6.2)**
調査範囲 ◎外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、
漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル壁仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示
し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびく
落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。
◎2 部 ・

- 4-2 改修材料 (4.2.4) (4.3.5) (4.4.5) (4.5.2) (4.6.2) (4.7.2)**
既製調合モルタル、パテ状エポキシ樹脂、可とう性エポキシ樹脂、タイル部分張替え工法用材料、エポ
キシ樹脂モルタル、ポリマーセメントモルタル、吸水調整材等の材料は評価名簿による。
・ポリマーセメントスラリー
- | 広がり速度 | 長さ変化率
（収縮） | 引張接着性
（材齢 28 日） | 曲げ性能
（材齢 28 日） | 吸水性
（72 時間） | 耐久性
（劣化曲げ強さ） |
|----------------|---------------|-------------------------|-------------------------|----------------|-------------------------|
| 3cm/s 以上 | 3%以下 | 0.5N/mm ² 以上 | 5.0N/mm ² 以上 | 15%以下 | 5.0N/mm ² 以上 |
| 保水係数 0.35～0.55 | | | | | |
| 粘調係数 0.50～1.00 | | | | | |

4ー1章 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁

- 4-1-1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.4~7)**
・樹脂注入工法
- | 注入工法の種類 | ひび割れ幅（mm） | 注入口間隔
(mm) | 注入量
(ml/m) | 備考 |
|--|---------------------------------------|---------------------------------|--------------------------|----|
| ◎自動式低圧エポキシ
注入工法 | 0.2 以上～1.0 以下
（挙動のあるひび割れを除く） | ◎200～300 | ・ | |
| | | ・ | ・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂
注入工法
・機械式エポキシ樹脂
注入工法 | 0.2 以上～1.0 以下
（挙動のあるひび割れを除く） | ◎50～100
◎100～200
◎150～250 | ◎40 ・
◎70 ・
◎130 ・ | |
| 注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜き取り） ◎行わない ・行う（抜き取り後の補修方法：
●U カットシール材充填工法 | | | | |
| 充填材料 | 品質・規格等 | 備考 | | |
| ・シーリング用材料 | ◎1 成分形または 2 成分形ポリウレ
タン系シーリング材
・ | ポリマーセメントモルタルの充填
◎行わない ・行う | | |
| ●可とう性エポキシ樹
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂 ●可とう性エポキシ樹脂 | | | | |

- 4-1-2 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.4,8)**
◎充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ●ポリマーセメントモルタル

4ー2章 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

- ・4-2-1 既存モルタル塗りの撤去**
・行う（◎全面 ・図示の範囲）

- 4-2-2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.6) (4.3.5,6,8)**
・既存モルタル撤去工法（範囲は図示 撤去部分の補修は、4-2-3. 欠損部改修工法による）
●樹脂注入工法（◎既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面）
樹脂注入工法
- | 注入工法の種類 | ひび割れ幅（mm） | 注入口間隔
(mm) | 注入量
(ml/m) | 備考 |
|--|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------|----|
| ◎自動式低圧エポキシ
注入工法 | 0.2 以上～1.0 以下
（挙動のあるひび割れを除く） | ◎200～300 | ・ | |
| | | ・ | ・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂
注入工法
・機械式エポキシ樹脂
注入工法 | 0.2 以上～1.0 以下
（挙動のあるひび割れを除く） | ◎50～100
◎100～200
◎150～250 | ◎40 ・
◎70 ・
◎130 ・ | |
| | | ・ | ・ | |

注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜き取り） ◎行わない ・行う（抜き取り後の補修方法：
●U カットシール材充填工法

充填材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	1 成分形または 2 成分形ポリウレタ ン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ・◎行わない ・行う
●可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法（◎既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面） ・パテ状エポキシ樹脂 ●可とう性エポキシ樹脂 ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修（◎シール工法の範囲 ・ ）		

- 4-2-3 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.3.9,10)**
既存モルタル面の撤去部
- | 改修工法の種類 | 品質・規格等 | 備考 |
|------------|-------------------|--------------------------------------|
| ●充填工法 | ポリマーセメントモルタル | |
| ・モルタル塗替え工法 | 改修標仕 4.3.5(5) による | 塗り厚 25mm を超える場合の補強
◎行う（・図示） ・行わない |

既製目地材 ・適用する（形状 ◎図示 ・ ）

- 4-2-4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.9~16) (表 4.3.5,6)**
- | 改修工法の種類
（モルタルを撤去しない場合） | アールベリッングの本数
（本/m ² ） | | 注入口の箇所数
（箇所/m ² ） | | 充填量 |
|--------------------------------------|------------------------------------|----------|---------------------------------|----------|----------|
| | 一般部 | 指定部 | 一般部 | 指定部 | 注入量 |
| ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 | ◎16
・ | ◎25
・ | — | — | ◎25ml/箇所 |
| ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 | ◎13
・ | ◎20
・ | ◎12
・ | ◎20
・ | ◎25ml/箇所 |
| ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 | ◎13
・ | ◎20
・ | ◎12
・ | ◎20
・ | ◎50ml/箇所 |
| ・注入口付アンカーピンニング部
分エポキシ樹脂注入工法 | ◎9
・ | ◎16
・ | — | — | ◎25ml/箇所 |
| ●注入口付アンカーピンニング全
面エポキシ樹脂注入工法 | ◎9
・ | ◎16
・ | ◎9
・ | ◎16
・ | ◎25ml/箇所 |
| ・注入口付アンカーピンニング全面
ポリマーセメントスラリー注入工法 | ◎9
・ | ◎16
・ | ◎9
・ | ◎16
・ | ◎50ml/箇所 |

材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン
材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm 改修工法の種類

改修工法の種類 （モルタルを撤去する場合）	品質・規格等	備考
●充填工法	●ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕 4.3.5(5) による	塗り厚 25mm を超える場合の補強 ◎行う（・図示） ・行わない

既製目地材 ・適用する（形状 ◎図示 ・ ）

工事名称	日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その2）	図面番号
設計年月日	2025/12/12	A 02
設計者	佐野 誠	
発注者	鹿沼市	

（鹿沼市 R7.4）

日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 特記仕様書

6章 内装改修工事

・6-1 改修範囲 (6.1.3)

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲

◎壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

◎壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

◎既存のまま ・図示の範囲

・6-2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)

ビニル床シート等の除去

◎仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（◎図示の範囲 ・除去範囲の全て）

合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法

改修後の床の清掃範囲 ◎改修箇所の室内 ・

・6-3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2) (4.3.10)

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

◎図示 ・モルタル塗り（塗り厚 25mm を超える場合の補強◎行う ・行わない）

・6-4 木下地 (6.5.2) (表 6.5.1,2)

木材の品質 ・市販品

樹種 ◎改修標仕表 6.5.6～9 による ・代用樹種を適用する箇所（ ）

保存処理木材を適用する箇所（ ）

・6-5 造作用集成材 [G] (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
------	----	--------	----------	---------

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
------	---------	-------	--------	-------------	----------	---------

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
------	----	--------	----------	-----	---------

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
------	---------	-------	--------	-------------	----------	-----	---------

◎A 種 ・B 種

・6-6 造作用単板積層材 [G] (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種

・JAS 0701（単板積層材）による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	間伐材等の適用
------	--------	------	---------	---------

・JAS 0701（単板積層材）以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用
------	--------	------	---------	-----	---------

・JAS 3079（直交集成板）によるCLT（直交集成板）[G]

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
------	----	------------	----	------------	----	--------	---------

・6-7 合板等 (6.5.8) (表 6.5.8)

ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
------	--------	--------	-------	-------	------	---------

◎5.5 ・

広葉樹 ◎2 等以上 ・1 等以上

針葉樹 ◎C-D 以上 ・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
------	--------	----	--------	-------	-------	---------	------	------	---------

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	等	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
------	--------	---	--------	-------	-------	---------	------	------	---------

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
------	----------------	--------	-------	---------	---------

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
------	--------	-------	------	---------	---------	---------

・パーティクルボード [G]

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
------	------------	-----------	----------	----------	--------

		◎13 タイプ ・	◎P または M ・		◎15 ・
・構造用パネル					
施工箇所		厚さ(mm)	等級		

・MDF [G]						
施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

・6-8 防腐・防蟻処理 (6.5.5)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位：（ ）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
------	----------

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理		
適用部材	処理の方法	保存処理性能区分

・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理

適用部位：（ ）

・6-9 接着剤 (6.5.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種

・6-10 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2～4) (表 6.6.1)

野縁等の種類 屋外形（◎25 形 ・19 形） 屋内形（◎19 形 ・25 形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

野縁、野縁受、つりボルト及びビーンサート及び周辺部の間隔 ・図示 ・

既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない

あと施工アンカー施工後の確認試験 ◎行う ・行わない

補強方法

つりボルトの間隔（900mm 超） ◎図示 ・

天井のふところ（1.5m 以上 3.0m 以下） ◎改修標仕 6.6.4(8) (7) (4) による ・図示

天井のふところ（3.0m 超） ◎図示 ・

特定天井

特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成 25 年国土交通省告示第 771 号）に基づく工法 ◎適用する ・適用しない

・6-11 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) (表 6.7.1)

高さ 2.7m 以下 高さ 4.0m 以下 高さ 4.0m 超、4.5m 以下 高さ 4.5m 超、5.0m 以下 5.0m 超

◎50 形 ・ ◎90 形 ・ ◎100 形 ・ ・図示

種別	種類の記号	色柄	厚さ(mm)
・発泡層のないもの	◎FS（複層ビニル床シート）	◎無地 ・マーブル柄	◎2.0 ・
・発泡層のあるもの	・	◎柄物 ・無地	・
目地処理する場合の工法 ◎熱溶接工法 ・突付け（施工箇所）			

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
◎K T（コンポジションビニル床タイル）	◎無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	◎2.0	
・F T（複層ビニル床タイル）		・500×500		
・F O A（置敷きビニル床タイル）				

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	× (mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)		
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	× (mm)		

・6-15 ビニル幅木 (6.8.2)

材質 ・軟質 ・硬質

高さ (mm) ◎60 ・75 ・100

厚さ (mm) ◎1.5 以上 ・

・6-16 ゴム床タイル (6.8.2)

種類 ・単層 ・複層

色柄 （ ）

厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0

寸法 (mm) （ ）

・6-17 カーペット敷き [G] (6.9.3) (表 6.9.2)

・織じゅうたん

種別	バイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・A 類	・カットバイル	◎無地	◎適用する ・適用しない	・	◎ヒートボンド工法
・B 類	・ループバイル	・柄物			
・C 類	・カット、ループ併用				
・タフテッドカーペット					

バイル形状	バイル長 (mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	◎5～7	・全面接着工法	・適用する（ ） ・適用しない	
・ループバイル	◎4～6	・グリッパ―工法		
・カット、ループ併用	・			
・タイルカーペット				

バイル形状	種別	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
◎ループバイル	◎第一種	◎500×500	◎6.5	平場 ◎市松敷き ・模様流し

・カットバイル	・第二種	・	・	階段	◎模様流し ・市松敷き
・カット、ループ併用					

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			
塗料のホルムルデヒド放散量	◎規制対象外	・	

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	備考
・フローリングボード 1 等	・ぶな ◎なら ・さくら ・いたや	◎15 ・12 以上 ・	・釘止め工法(根太張り) ・釘止め工法(直張り) ・接着工法	
・フローリングボード 1 等（体育館用）	・	・	・	
・フローリングロック 1 等複合フローリング張り		◎15	・接着工法	303 x 303

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	種別(主宅)
・天然木化粧複合フローリング張り	・一般用 ・住宅用	◎なら ・	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・発砲プラスチック系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法	・A 種 ・B 種	・A 種 ・B 種 ・C 種 ◎D 種
		・8 以上 ・12 以上	・接着工法（合成樹脂発泡シート裏打ち）		
	・体育館用	・18 ・27	・普通張り ◎特殊張り		

ホルムアルデヒドの発散量 ◎規制対象外 ・第三種

現場塗装仕上げ ・行う（施工箇所） ・行わない

◎ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワックス塗り

・生地のままワックス塗り

下地の種類	畳の種類
標仕表 12.6.1 による床組	・A 種・B 種・C 種・D 種（ ）
ポリスチレンフォーム床下地	・A 種・B 種・C 種・D 種（ ）
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする	

床	厚さ (mm)	備考
フローリング類	・80 ・95	（不燃）
畳	◎40 ・65 ・80	（不燃）

種類	厚さ (mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木片セメント板	・30 ・
・けい酸カルシウム板	◎タイプ2（無石綿）
・ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ(◎9 ・12)（不燃） ・凹凸タイプ(◎12 ・15 ・19)（不燃）

・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	◎フラットタイプ 9（不燃） ・凹凸タイプ（・12 ・15）（不燃）
・せっこうボード	・9.5(不燃) ・12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	◎9.5(不燃) ・化粧無（下地張り用） ・化粧有(15mm・25mm)
・シーリングせっこうボード	・12.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
・せっこうラスボード	◎9.5
・化粧せっこうボード	◎9.5(・準不燃 ・不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	◎12.5(不燃) 幅 440 程度 模様（◎柱目・板目）専用下地材付

・普通合板	表面の材種
	生地、透明塗料塗り（◎ラワン程度 ・ ） 不透明塗料塗り（◎しな程度 ・ ）
	板面の品質（ ）
	厚さ (mm)（ ）
	接着の程度（・1 種・2 類）
	・防虫処理・
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ 1.2
・ビニルシート(27mm・30mm)	・3・7・9・12

・パーティクルボード

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

◎アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド

工法合板の張り付け ・A 種 ◎B 種

せっこうボードの目地工法 ・目透し ・突付け ・継目処理

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

種別	JIS の記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード 1 号	RW-B	◎25 ・
◎グラスウール吸音ボード 32K	[G] W-B	◎25 ・

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
	紙 繊維 プラ その他 無機質		

		(織物)	(ビニル)	(化学繊維)				
		・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃		

モルタル、せっこうプラスター面の下地調整 ・R A 種 ◎R B 種

せっこうボード面の下地調整 ・R A 種 ◎R B 種

壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

・6-25 モルタル塗り (6.15.3)

防水モルタルの防水剤 製造所 ◎評価名簿による

既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ）形状（ ）

・設けない

モルタル

床の目地

・現場調査材料 ・既調査材料（ ）

・設ける

（目地割り ◎2 m 程度（最大目地間隔 3 m 程度） ・ ）

（種類 ◎押し目地 ・ ）

・設けない

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	再生材の適用 [G]	耐凍害性	備考
		I 類 II 類 III 類	無釉 施釉	有 無	標準 特注		有 無	

種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	・	・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	・	

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ・A 種 1 ・A 種 1H

厚さ (mm) ・25 ・30 ・

施工箇所 ・図示 ・

断熱材あと張り工法(S1 工法等)

種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材			
◎押出法ポリスチレンフォーム保温材（2 種）			
◎保温板（3 種）			
・			

・A 種硬質ウレタンフォーム保温材

・フェノールフォーム保温材（3 種 2 号を除く）

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量

◎規制対象外 ・第三種

施工箇所	構法	設定高さ (mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 (N/㎡)	表面仕上げ材
	・パネル構法	・	・1.0 [G] ・0.6 [G]	・3,000 ・5,000	・帯電防止ビニル床タイル ・タイルカーペット
	・溝工法	・			
	・パネル構法	・	・1.0 [G] ・0.6 [G]	・3,000 ・5,000	・帯電防止ビニル床タイル ・タイルカーペット
	・溝工法	・			

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕 19 章内装工事による

配線用取出しパネル 配線取出し開口：パネル 1 枚につき 40mm×80mm 程度の開口 1 か所以上

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ◎20～30%

空調用吹き出しパネル ◎無・有（◎固定式 ・可変式：施工箇所は図示）

製造所：評価名簿による

構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		◎銅板（◎0.6 ・0.8）	◎メラミン樹脂またはアクリル樹脂焼付け	・有（ ） ・無	・有 ・無
・スタッドパネル式					
◎パネル式					

品質 JIS A 6512 によるものまたは評価名簿による

パネル材のホルムアルデヒド放射量 ◎規制対象外

工事名称	日吉町南市営住宅外壁外改修工事（１期）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その４）	図面番号
設計年月日	2025/12/12	A 04
設計者	佐野 誠	
発注者	鹿沼市	

日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 特記仕様書

・8-1-20 溶接部の試験 (8.15.11,12)
完全溶け込み溶接の超音波探傷試験 ◎行う
現場隅肉溶接部の外観検査 ◎行う (検査箇所 構造耐力上主要な部分である継手・仕口)

・8-1-21 錆止め塗料塗り (8.17.3)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ◎行わない ・行う (・JIS K 5622 ・)

・8-1-22 耐火被覆 (8.18.2~7)		所要性能及び適用構造区分
種別		
・ラス張りモルタル塗り		
	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻き付け		

・8-1-23 既存コンクリートの目荒し (8.21.3) (8.22.3)
適用範囲
◎既存コンクリートとの打ち継ぎ面
◎既存コンクリートとモルタルまたはグラウト材の充填部の接合面
・
既存コンクリートの目荒しの程度
◎既存柱・梁面 打ち継ぎ面の15～30%程度
◎既存壁 打ち継ぎ面の15～30%程度
既存コンクリートの目荒しの範囲
◎平均深さ2～5mm (最大深さ7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける

・8-1-24 あと施工アンカーの材料 (8.2.4)
あと施工アンカーの材料
・金属系アンカー (耐震補強用)
◎接着系アンカー
アンカーの種類 ◎カプセル型回転 ・打撃式
接着剤の品質 ◎有機系 ・無機系
アンカー筋の種類 ◎鉄筋コンクリート用異形棒鋼 ・全ねじボルト

・8-1-25 あと施工アンカーの穿孔 (8.12.4)
穿孔前の埋め込み配管等の探査
範囲 ◎あと施工アンカー施工部分すべて ・図示
方法 ◎探査機により精査し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出しによる
既存コンクリートの不良箇所の確認
アンカー施工部位の既存コンクリートは目荒らし後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。

・8-1-26 あと施工アンカーの施工確認試験 (8.12.7)
確認試験 ◎行う ・行わない
試験方法 ◎引張試験 (確認強度は図示による) ・

・8-1-27 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (標仕 7.10.3) (標仕様 7.10.1)
・構造用アンカーボルト
材質 ・SNR400B ・SNR490B
埋込み工法 ・図示
・建方用アンカーボルト
材質 ・SS400
埋込み工法 ・A種 ◎B種

8－2章 耐震改修工事

・8-2-1 打増し壁に用いるシアコネクタ (8.2.4)
現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類 ◎「24 あと施工アンカーの材料」による ・
間隔 (mm) ◎500×500 ・図示

・8-2-2 増設・補強工事のコンクリートの打込み (8.21.8) (8.23.5)
工法の種類 ・流し込み工法 ・圧入工法

・8-2-3 柱補強 (8.23.5,6) (8.24.1)
・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法
・鋼板巻き工法及び鋼帯巻き付け工法
・連続繊維補強工法

・8-2-4 連続繊維シート巻き (8.2.13) (8.24.1)
材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの
材質 引張り強度 (含浸硬化後) ・2500N/mm2 以上 ・3000N/mm2 以上
ヤング係数 (含浸硬化後) ・2.35×105N/mm2 程度 ・2.30×105N/mm2 以上
工法 ◎ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・
下地調整
仕上げモルタルの除去 ◎行う ・行わない
ひびわれ部の改修工法の種類 ・樹脂注入方法 ・Ｕカットシール材充填方法 ・シール工法
柱の隅角部の面取り ◎工法の評価内容による

・8-2-5 耐震スリットの施工 (8.25.2)
耐震スリット部の配管等の探査
◎探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出し
充填材
◎外壁に配置された耐震スリット材は耐火性能及び止水性能を有するものとし、その他は図示による。

9章 環境配慮工事

・9-1 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)				
測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	―
・測定2		施工区画周辺または敷地境界	計点	―

・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	―
・測定4		セキュリティゾーン入口	各点	空気の流れを確認
・測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認
・測定6		施工区画周辺または敷地境	計点	―
・測定7	処理作業後	処理作業室内	各点	―
・測定8	隔離シート撤去前	施工区画周辺または敷地境界	計点	―
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。				
計測機器	測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5	
メンブレンフィルタの直径	位相差顕微鏡			
試料の吸引流量	25 mm		47 mm	
試料の吸引時間	1 l/min	5 l/min	10 l/min	
試料の透明化	5 min	120 min	240 min	
計数条件	アセトントリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法			
計数アスベスト	総アスベスト繊維数 200 本または視野数 50 視野			
定量限界	直径 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さ と直径比 3：1 以上			
報告書の作成 (記載する項目)	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	
ア 測定結果				
イ 測定時間				
ウ 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する)				
エ サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)				
オ マウンティング方法				
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数				
キ 測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向				

○9-2 アスベスト含有材の処理 (9.1.3~6)
除去範囲 ・図示 ・
除去工法 改修標仕 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様による。
処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・アスベスト含有保温材の除去
除去範囲 ・図示 ・
除去工法 ・改修標仕 9.1.4 による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)
処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
除去したアスベスト含有保温材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

●アスベスト含有成型板等の除去
除去範囲 ・図示 ●ベランダ隔て壁
除去工法 ・改修標仕 9.1.5 による
除去したアスベスト含有成型板等の処分
・アスベスト含有石こうボード
◎埋立処分 (管理型最終処分場)
●アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成型板等
●埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

●アスベスト含有建築用仕上塗材の除去
除去範囲 ・図示 ●1・2号棟外壁・軒天
除去工法 ・改修標仕 9.1.6 による
除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
●埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・9-3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)		
断熱材の種類		
材料名		厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンプロン [G])		
・押出法ポリスチレンフォーム (ノンプロン [G])		
・硬質ウレタンフォーム (ノンプロン [G])		
・フェノールフォーム		
・ロックウール		
・グラスウール		
外装材の種類		
・		防火性能

既存外壁の仕上材の撤去 ・有 ・無
下地面の清掃及び下地調整 ◎断熱材製造所の指定する仕様
通気層 ・有 (mm) ・無
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記なき事項は、製造所の仕様による。

・9-4 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.1)
植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ◎図示

・9-5 透水性アスファルト舗装改修工事 [G] (9.5.3,4,9) (表 9.5.1,3,5)
凍上抑制層の材料
・凍上抑制層 ◎再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン切込み砂利 ・砂
厚さは図示による
盛り土に用いる材料
・A種 ◎B種 ・C種 ・D種
路床安定処理
◎添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰 () ・消石灰 ()
添加量 ・ k [G] /m3 (目標 CBR ・5 以上 ・)
路盤材料
◎再生クラッシャーラン (RC-40) [G]

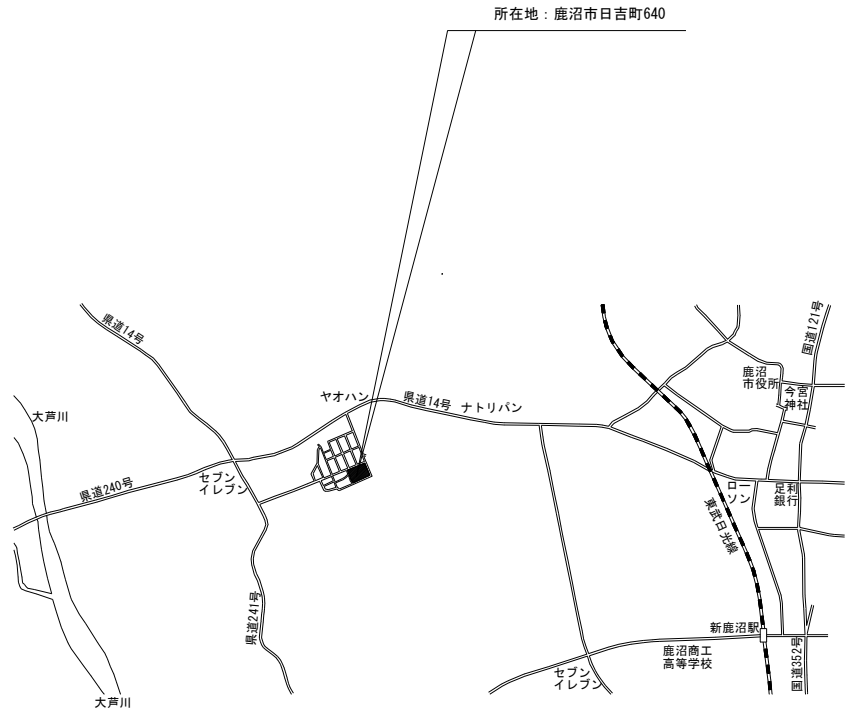
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]
・クラッシャーラン (C-40)
透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの
路床土の支持力比 (C B R) 試験 ◎行う (・乱した土 ◎乱さない土) ・行わない
路床締固め度の試験 ◎行う ・行わない
砂の粒度試験 ◎行う ・行わない
現場 C B R 試験 ◎行う ・行わない
セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験
◎行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領 (案)」による。
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ◎行わない

・9-6 PCB含有シーリング材の処分
(1) 事前調査等
シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。
・現場においてサンプルを採取
採取箇所 ◎外壁目地 ・図示 ・
採取箇所数 ◎部材が異なる毎に1箇所 ・図示・
分析により PCB の含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。
(2) 施工調査等
調査範囲 ◎図示 ・
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法
(3) 除去処理工事
除去方法
「標準施工要領書 (日本シーリング工事共同組合連合会／日本シーリング材工業会)」による。

○9-7 処理に注意を要する建設副産物			
名称	仕様	数量	備考
・CCA処理木材			
・石綿含有石こうボード			
・ひ素・カドニウム含有石こうボード			
・上記以外の石こうボード			
●アスベスト含有材			

石こうボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。
調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。
(1) 石こうボードの使用部位の確認
(2) 石こうボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録
(3) 石こうボードの使用数量の確認
(4) 施工範囲等の確認
処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石こうボードの有無、製造会社名等を記載する。

工事名称	日吉町南市営住宅外壁外改修工事（１期）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その６）	図面番号
設計年月日	2025/12/12	A 06
設計者	佐野 誠	
発注者	鹿沼市	

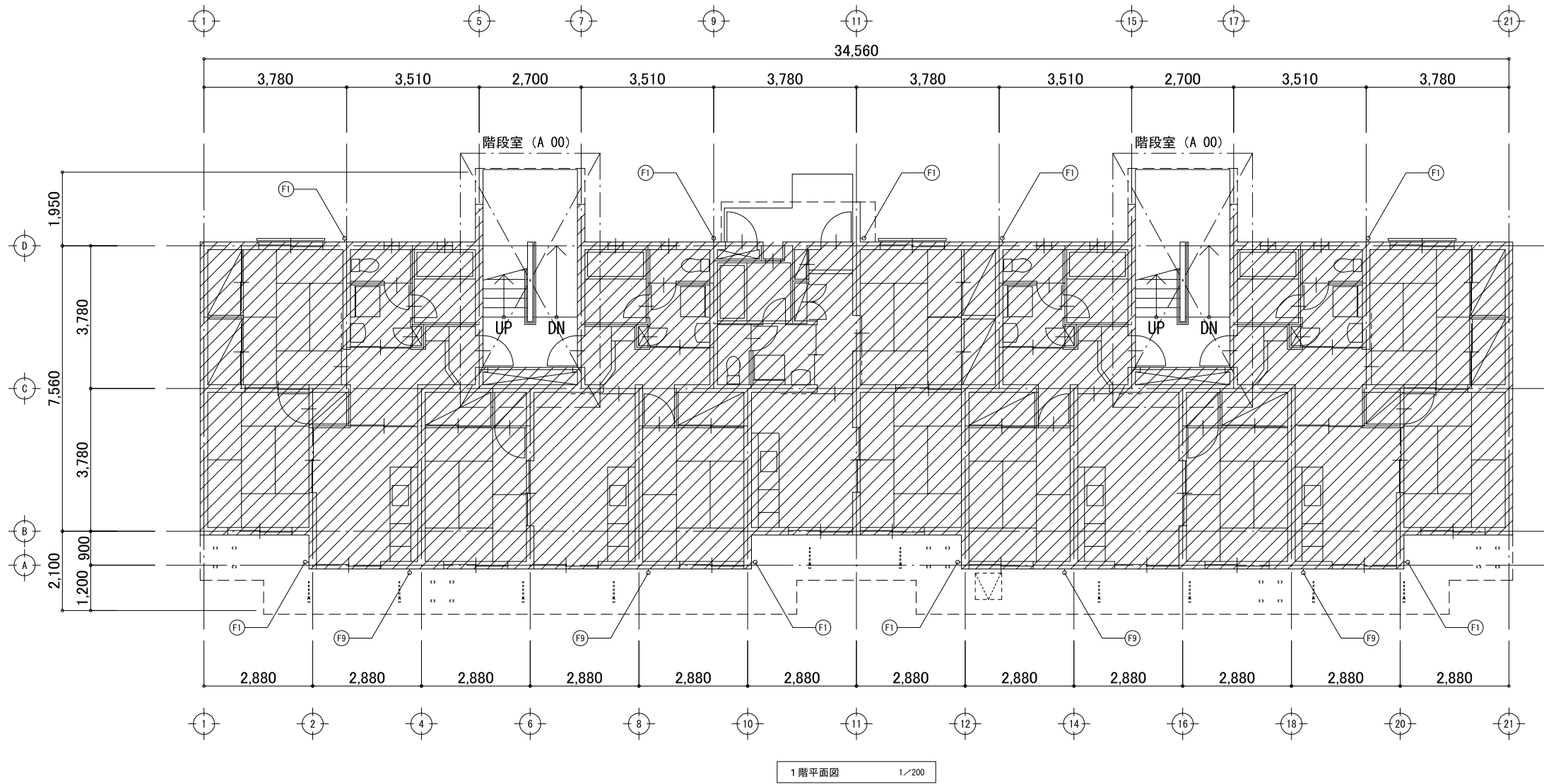


特記事項		 1級建築士事務所 有限会社 事務所登録番号		山崎企画設計 栃木県知事登録 第 A2-2769 号		管理建築士 所在地 山 崎 良 知 一般建築士 第 241318 号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 03-615-7741 FAX 03-615-7742		設 計 者 工 事 名 称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 図 名 案内配置図		登録番号 25011 日付 2025/12/12 縮尺 A2：1/300 A3：1/450		図面番号 A 07	
------	--	---	--	-------------------------------	--	--	--	---	--	---	--	--------------	--

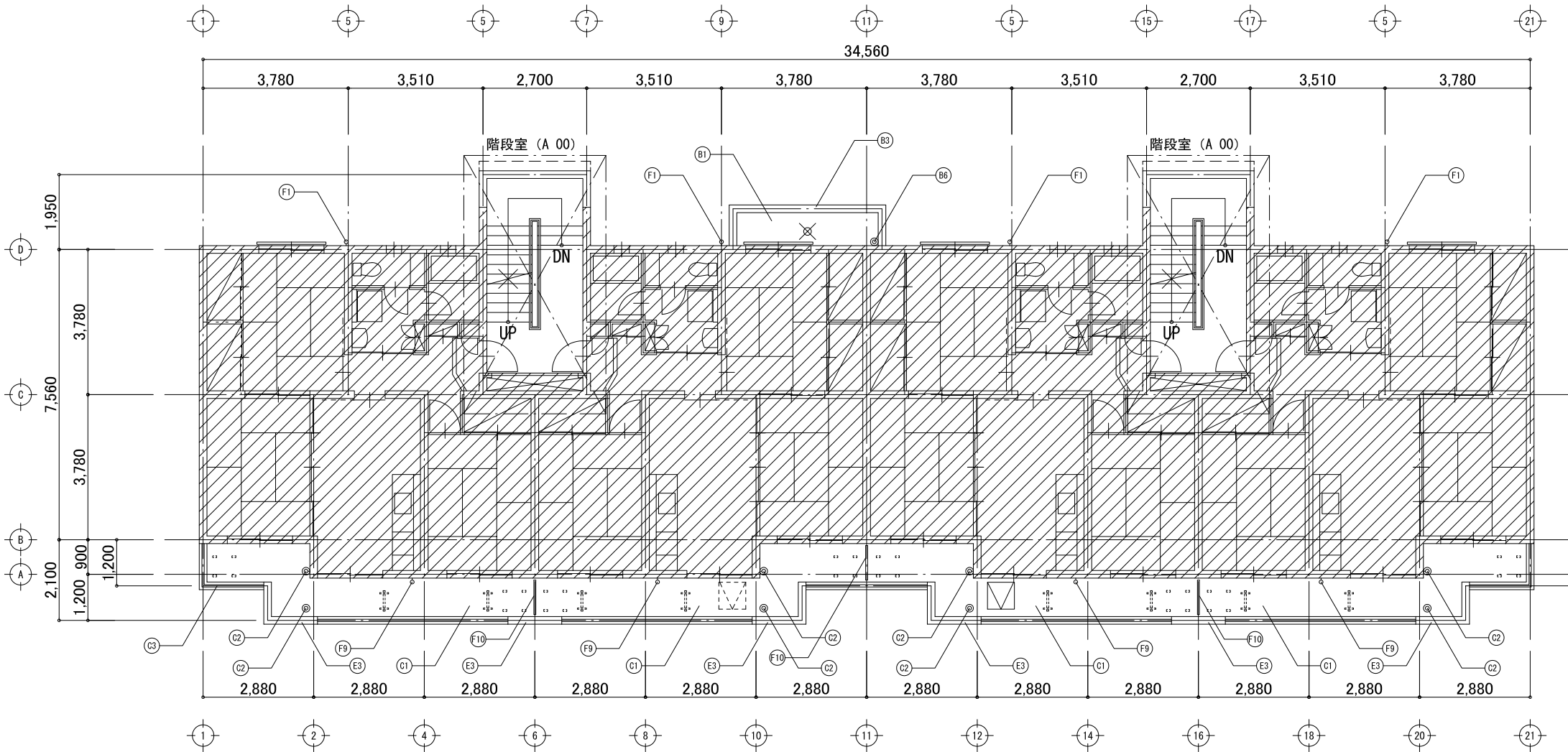
外 部 仕 上 表								
位 置	項 目	符 号	改 修 前	符 号	改 修 後	備 考		
屋 上	勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維進入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維進入パーライトモルタル下地			
		(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂銅板、一時取外し（シート防水部分のみ） -----	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂銅板、再取付 -----			
	屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気筒新設（記号： × ） 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設		
		(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設 -----		
		(B3)	バラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	バラベット笠木：アルミ、再取付 -----			
		(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて撤去 -----	(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて新設 -----	シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----		
		(B5)	屋上マンホール：ステンレス、600角、一時取外し -----	(B5)	屋上マンホール：ステンレス、600角、再取付、既存ステンレスアンカーボルト利用 -----	シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 -----		
		(B6)	ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、すべて撤去 -----	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（100φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設 -----			
	ベランダ防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設		
		(C2)	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	(C2)	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノントール系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り -----			
		(C3)	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し -----	(C3)	笠木付アルミ製手摺り：再取付 -----			
外 壁	外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象 玄関厚（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま		
		(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	アルミ自在型物干金物、既存のまま ルームクーラー取付用インサート、既存のまま		
		(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま		
		(E4)	階段室中央壁：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗りの上、EP-G塗装（B種） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地			
		(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（PU-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（MS-2・15×10） -----			
			-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----			
			-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----			
			-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----			
			-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----			

		その他	その他	(F1)	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
				(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----	
				(F3)	館名番号表示：ステンレス製 箱文字 撤去 -----	(F3)	館名番号表示：ステンレス製ヘアーライン 切り文字 H=600 アンカーボルト留め 浮かしパイプ 新設 -----	
(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）、既存塗膜除去（RB種） -----			(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装 -----	破損ドアノブ・丁番、交換（図示のみ）		
(F5)	共用分電盤・水道メーター集中検針盤：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）再塗装、既存塗膜除去（RB種） -----			(F5)	共用分電盤・水道メーター集中検針盤：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装 -----			
(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）廻り、シーリング：撤去 -----			(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）廻り、シーリング：新設 -----			
(F7)	台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト			(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----		
(F8)	天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト			(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----		
(F9)	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去 -----			(F9)	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設 -----			
(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠			(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----		
(F11)	クーラー用貫通口カバー：100φ用、破損部のみ撤去 -----			(F11)	クーラー用貫通口カバー：樹脂製、100φ用、パッキン付き、新設 -----			

特記事項		 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号
------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



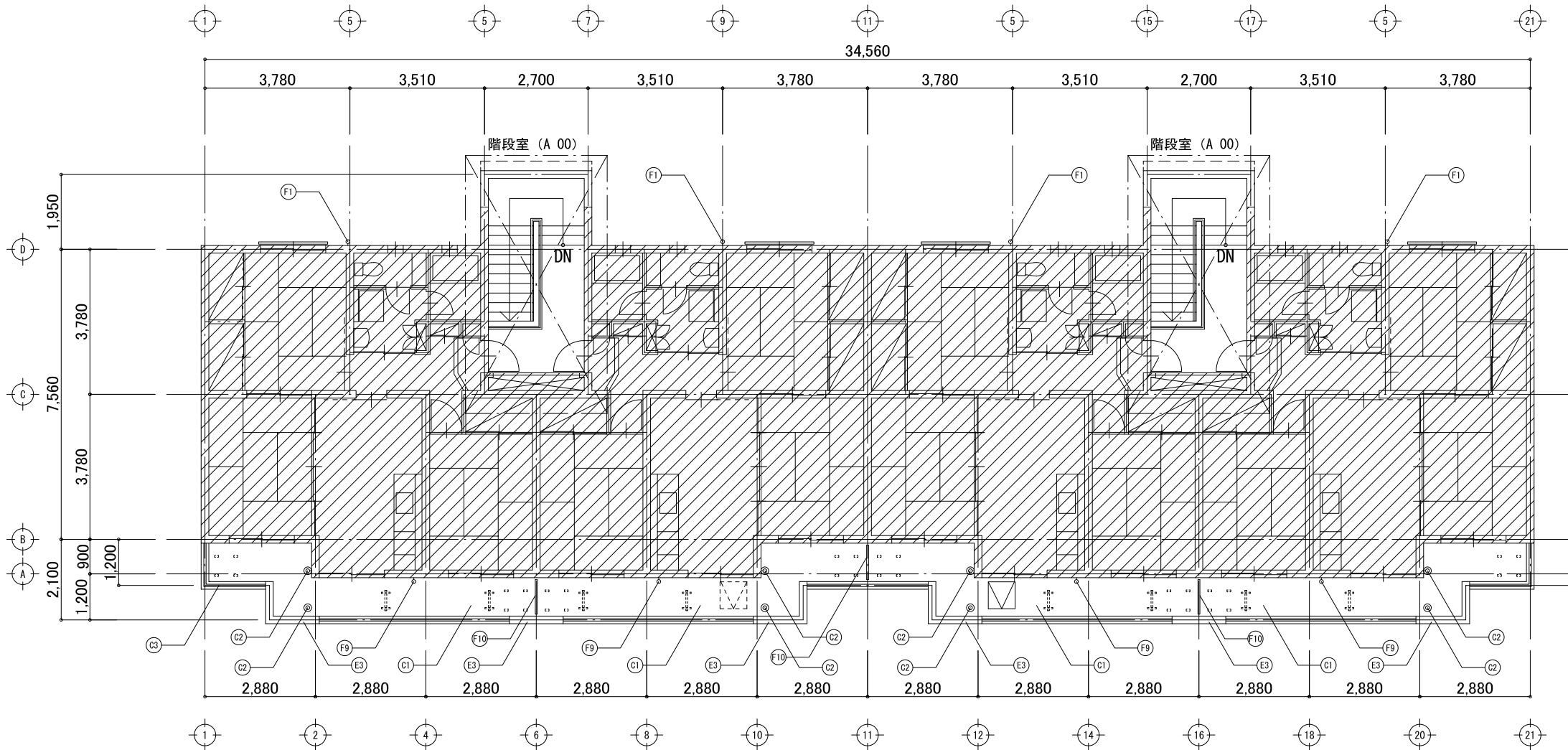
外 部 仕 上 表					
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	F1	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去	F1	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設	



2階平面図 1/200

外 部 仕 上 表

項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
屋上防水	B1	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	B1	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気筒新設（配号： ○ ） 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設
	B3	バラベツツ笠木：アルミ、一時取外し	B3	バラベツツ笠木：アルミ、再取付	
	B6	ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、すべて撤去	B6	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（100φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設	
		-----		-----	
ベランダ防水	C1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	C1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	C2	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	C2	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノントール系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	
	C3	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し	C3	笠木付アルミ製手摺り：再取付	
手摺り笠木・階段中央壁	E3	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	E3	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
	F1	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去	F1	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設	-----
	F10	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	F10	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面）
		-----		-----	-----



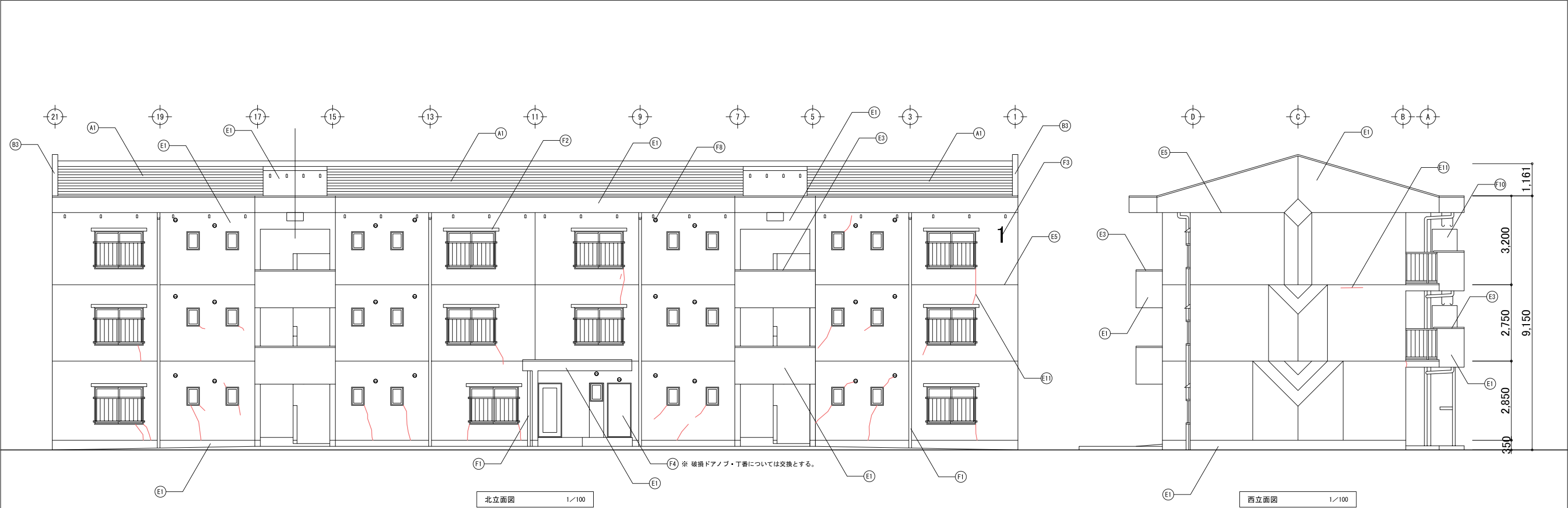
3 階平面図 1/200

外 部 仕 上 表

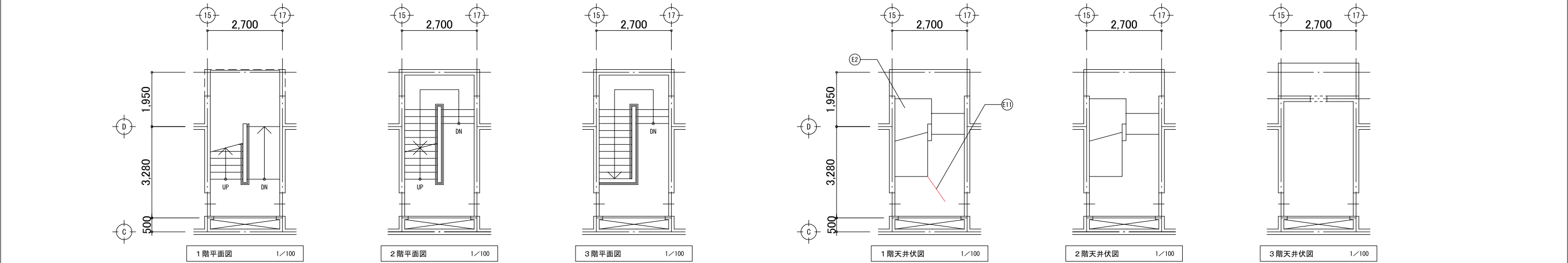
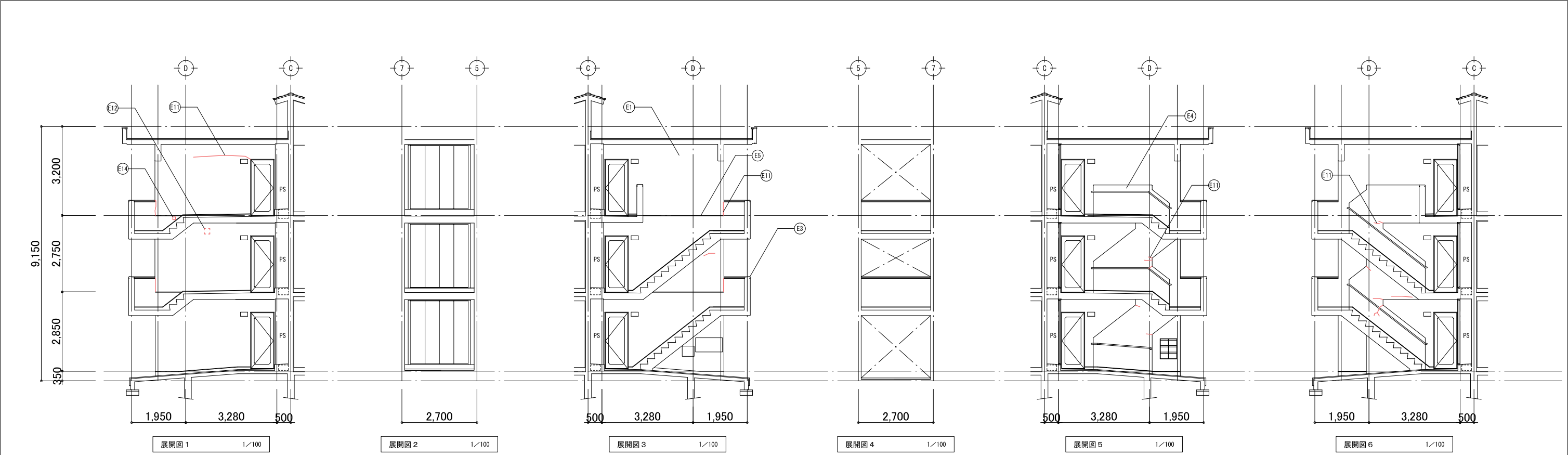
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
ベランダ防水	C1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	C1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	C2	フロアードレイン・中継ドレイン：铸铁製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	C2	フロアードレイン・中継ドレイン：铸铁製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノントール系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	
	C3	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し	C3	笠木付アルミ製手摺り：再取付	
		-----		-----	
手摺り笠木・階段中央壁	E3	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	E3	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低酸素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
その他	F1	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SGP塗装）撤去、取付金物 撤去	F1	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去	F9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設	-----
	F10	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	F10	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----



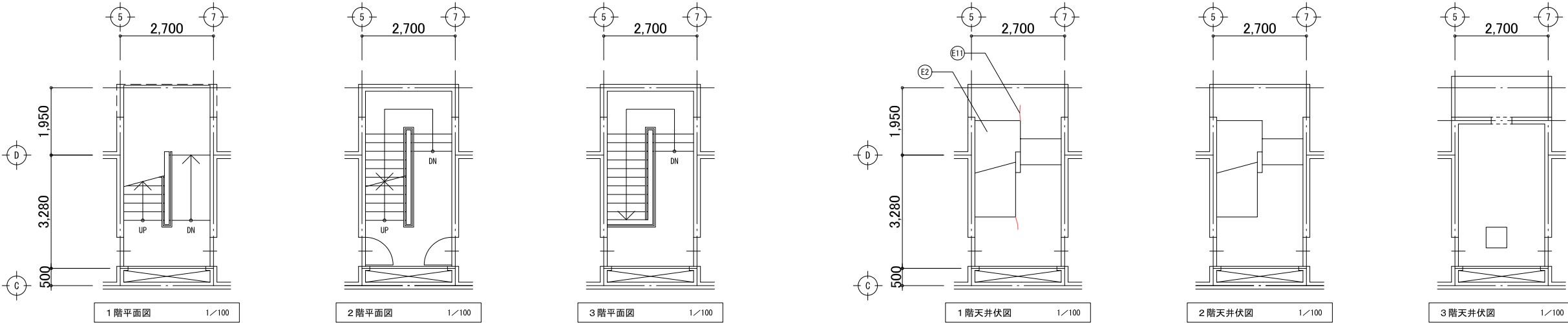
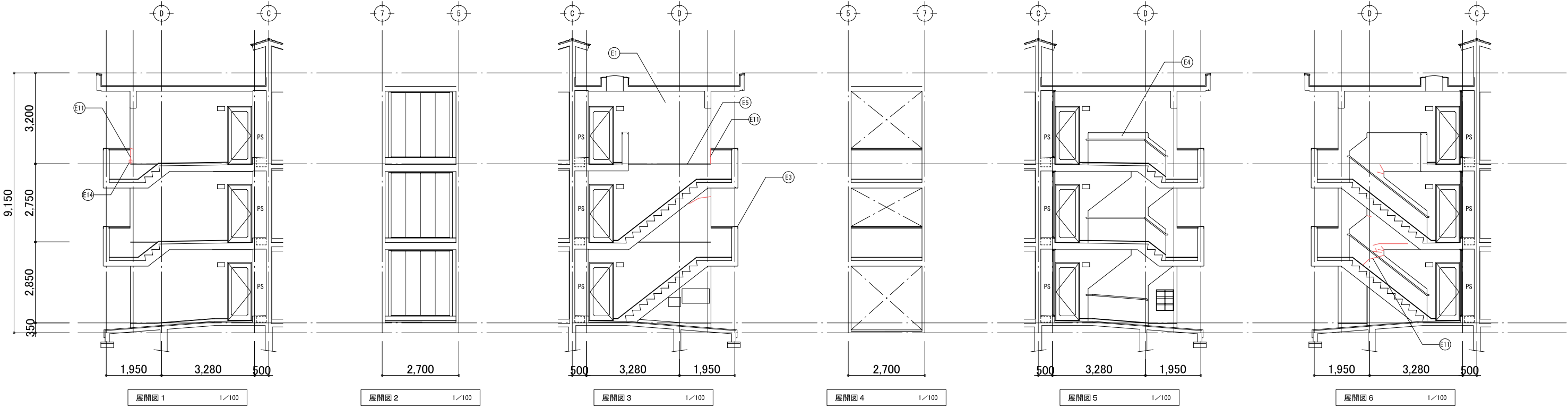
外 部 仕 上 表					
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地	
屋上防水	(B3)	パラペット笠木：アルミ、一時取外し	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付	
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
					玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10）	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（PU-2・15×10）	
			(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： —
			(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号： □
			(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号： □□□
			(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： □
ベランダ防水	(F1)	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去	(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	(F3)	館名番号表示：ステンレス製 箱文字 撤去	(F3)	館名番号表示：ステンレス製ヘアーライン 切り文字 H=600 アンカーボルト留め 浮かしパイプ 新設	
	(F7)	台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	(F9)	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去	(F9)	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設	
	(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しシート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面）



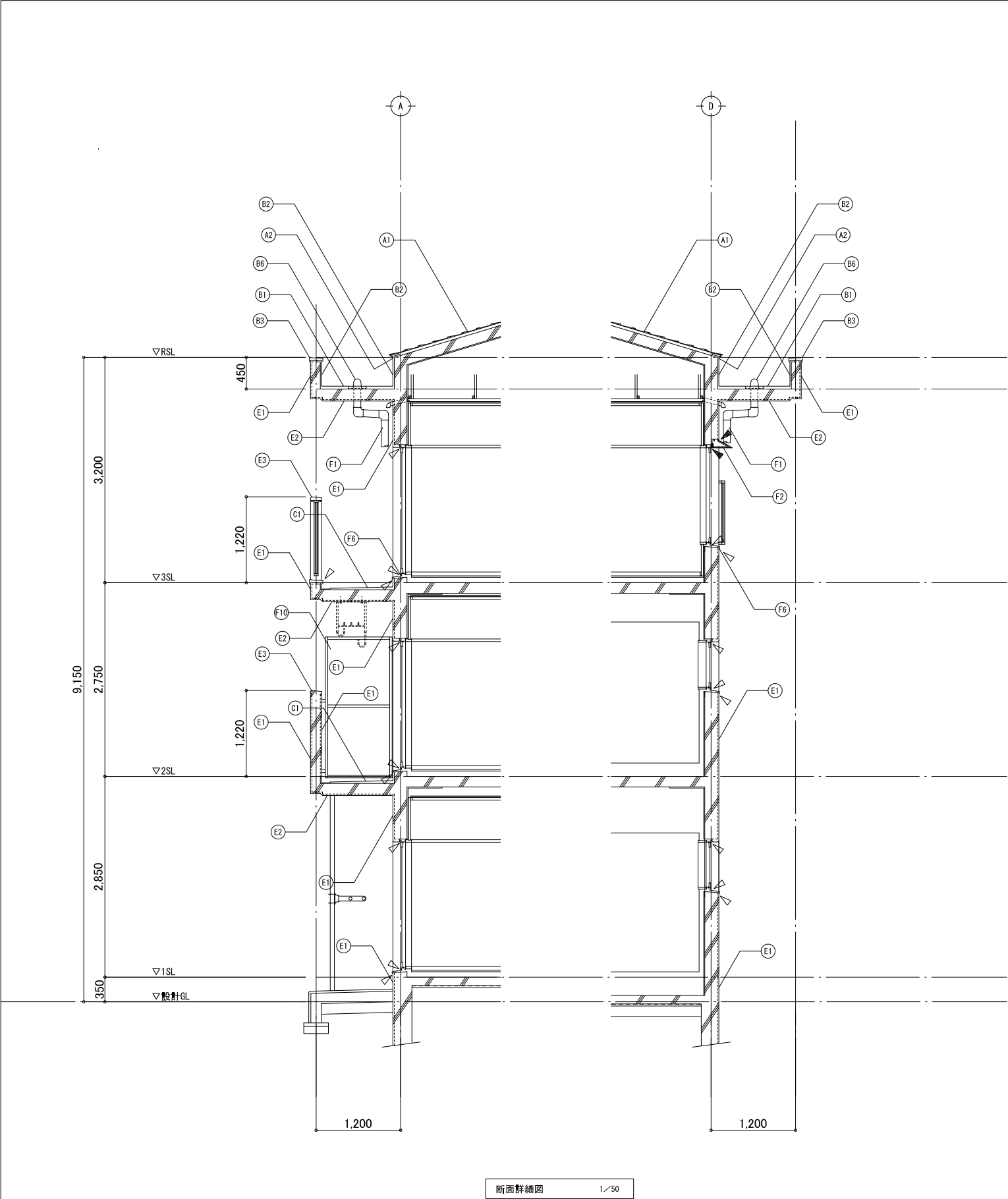
外 部 仕 上 表						
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考	
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地		
屋上防水	(B3)	パラペット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付		
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象	
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（PU-2・15×10） -----	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま	
		-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： —	
		-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □	
		-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □□□	
		-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： □	
	ベランダ防水	(F1)	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
		(F3)	館名番号表示：ステンレス製 箱文字 撤去 -----	(F3)	館名番号表示：ステンレス製ヘアライン 切り文字 H=600 アンカーボルト留め 浮かしパイプ 新設 -----	
		(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）、既存塗膜除去（RB種） -----	(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装 -----	破損ドアノブ・丁番、交換（図示のみ）
(F8)		天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガ拉里 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----	
	(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しシート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----	



項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
外壁・市木 軒天・天井 (ボード以外) 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	※ 階段室内の床及び市木については、既存のままとする。
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa)、既存塗膜除去 (RB種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗りの上、EP-G塗装 (B種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去 (MS-2・15×10)	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設 (PU-2・15×10)	
	-----		(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	
	-----		(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E13)	浮き部補修 (狭幅部)：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	
	-----		-----		

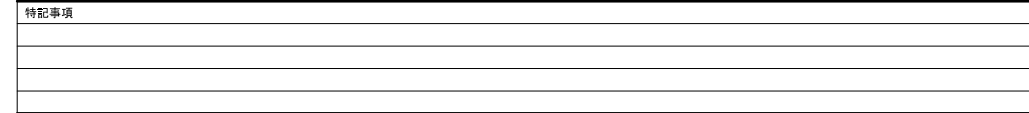


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
外壁・市木 軒天・天井 (ボード以外) 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	※ 階段室内の床及び市木については、既存のままとする。
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa)、既存塗膜除去 (RB種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗りの上、EP-G塗装 (B種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去 (MS-2・15×10)	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設 (PU-2・15×10)	
	-----		(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	
	-----		(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E13)	浮き部補修 (狭幅部)：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	
	-----		-----		

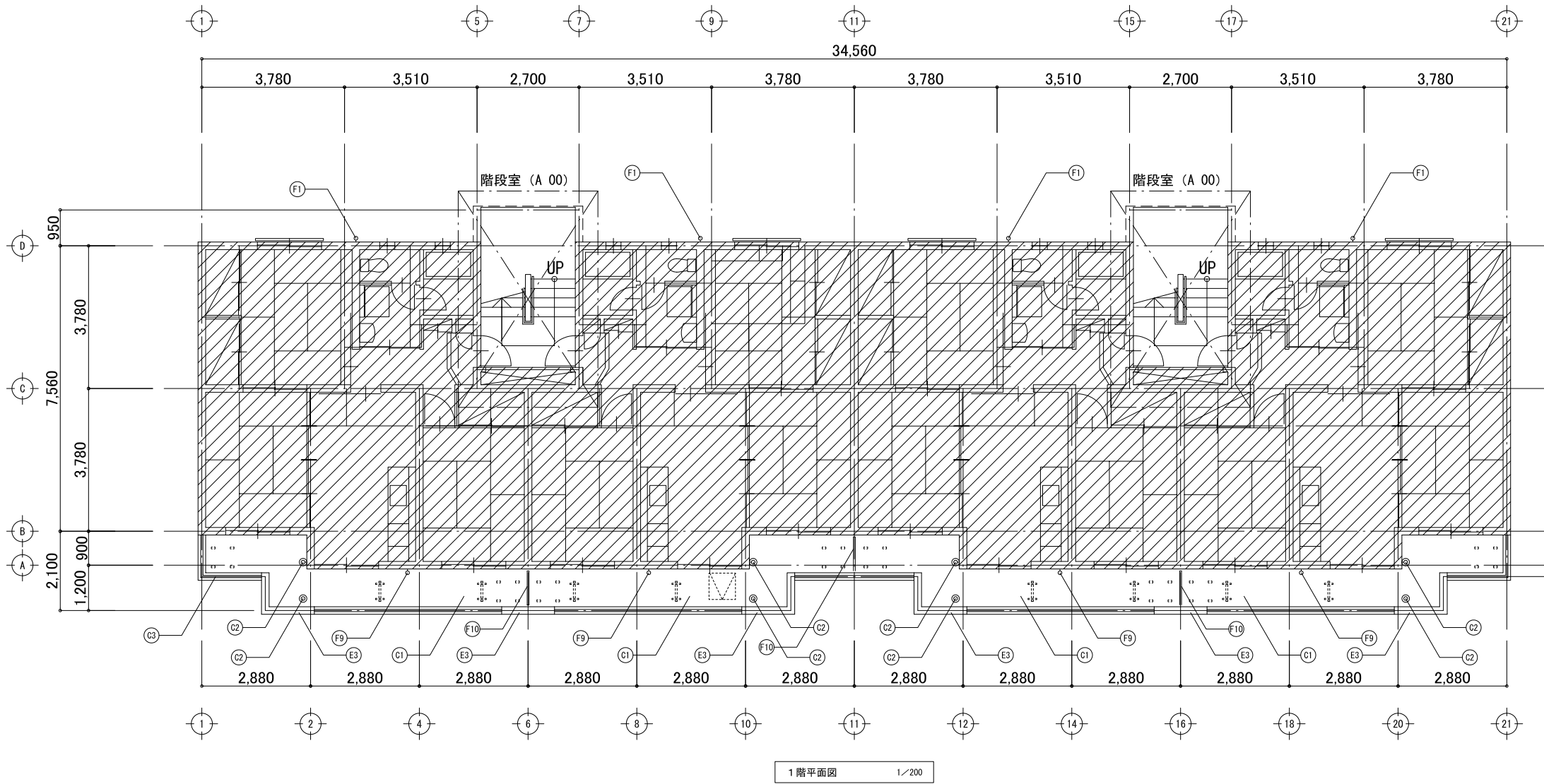


外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 前
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（模包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂銅板、一時取外し（シート防水部分のみ） -----
屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り
	(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り
	(B3)	パラペット笠木：アルミ、一時取外し -----
	(B6)	ドレイン：铸铁製、100φ、たて引き用、すべて撤去 -----
ベランダ防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(F1)	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----
その他	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ鋼板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）／窓上庇（MS-2・15×10）廻り／、シーリング：撤去 -----
	(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠

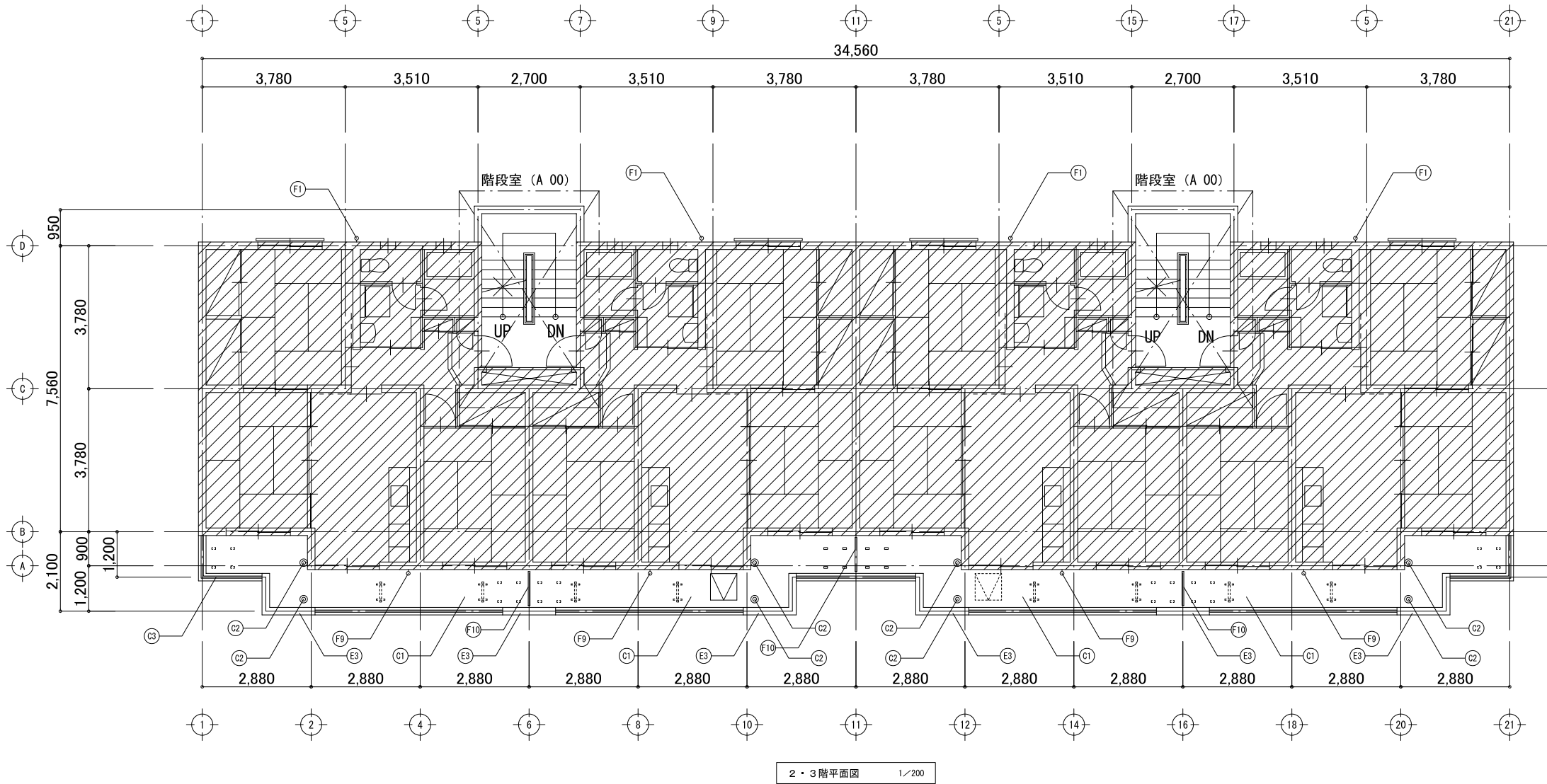
外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 後
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂銅板、再取付 -----
屋上防水	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付 -----
	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（100φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設 -----
ベランダ防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----
その他	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ鋼板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）／窓上庇（MS-2・15×10）廻り／、シーリング：新設 -----
	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠



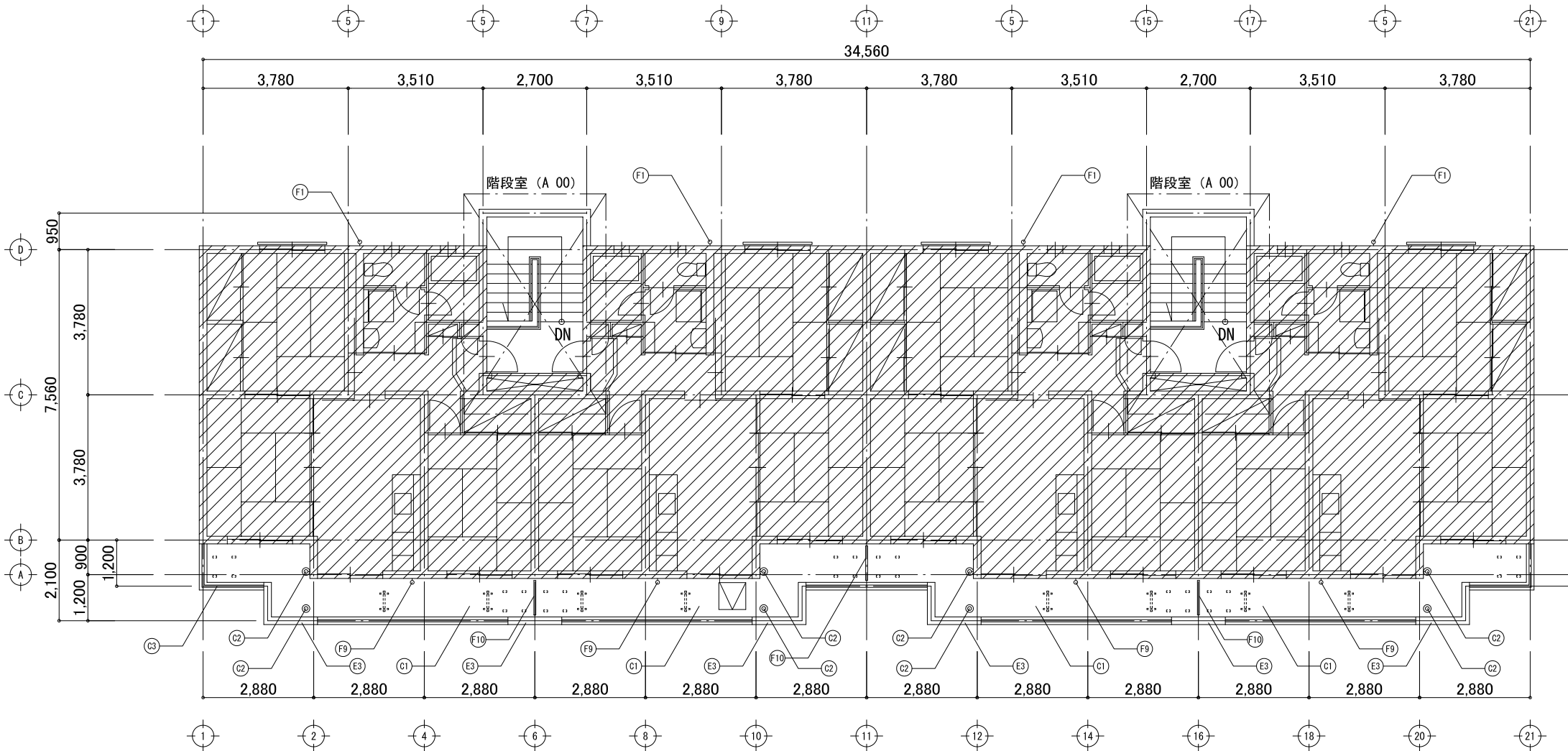
外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 後
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂鋼板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入りパーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂鋼板、再取付
屋上防水	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-W2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付
	(B5)	屋上マンホール：ステンレス、600角、再取付、既存ステンレスアンカーボルト利用
階壁室	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
その他	(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装
	(F5)	共用分電盤・ 水道・ガス・集中換気盤 ：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）  窓上庇（MS-2・15×10）廻り  、シーリング：新設



外 部 仕 上 表				
項 目	符号	改 修 前	改 修 後	備 考
ベランダ防水	Ⓒ1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	Ⓒ1 平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	Ⓒ2	フロアードレイン・中継ドレイン：鉄鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	Ⓒ2 フロアードレイン・中継ドレイン：鉄鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノンタル系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	
	Ⓒ3	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し -----	Ⓒ3 笠木付アルミ製手摺り：再取付 -----	
	Ⓔ3	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	Ⓔ3 手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材ⒺE（ふっ素樹脂・平滑・低酸素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
その他	Ⓕ1	縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	Ⓕ1 縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	Ⓕ9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去 -----	Ⓕ9 ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設 -----	
	Ⓕ10	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	Ⓕ10 ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----



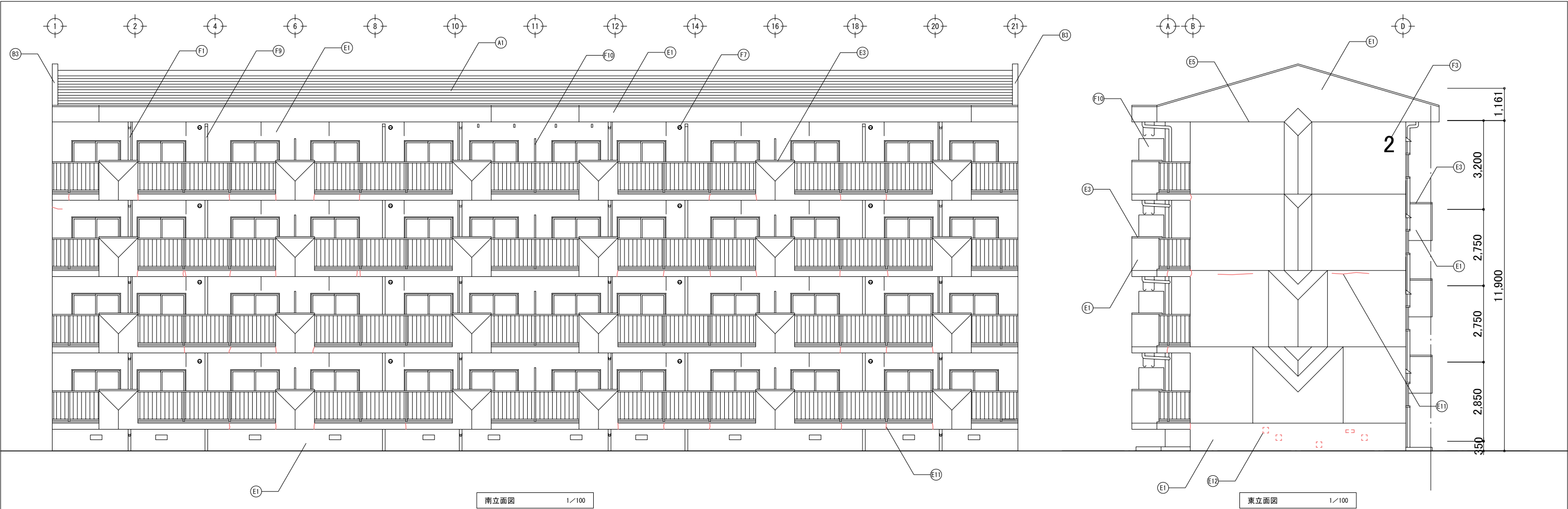
外 部 仕 上 表				
項 目	符号	改 修 前	改 修 後	備 考
ベランダ防水	Ⓒ1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	Ⓒ1 平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	Ⓒ2	フロアードレイン・中継ドレイン：铸铁製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	Ⓒ2 フロアードレイン・中継ドレイン：铸铁製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノンタル系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	
	Ⓒ3	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し -----	Ⓒ3 笠木付アルミ製手摺り：再取付 -----	
手摺り笠木・階段中央壁	Ⓔ3	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	Ⓔ3 手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材ⒺE（ふっ素樹脂・平滑・低酸素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
その他	Ⓕ1	堅樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	Ⓕ1 堅樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	Ⓕ9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去 -----	Ⓕ9 ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設 -----	
	Ⓕ10	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	Ⓕ10 ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----



4 階平面図 1/200

外 部 仕 上 表

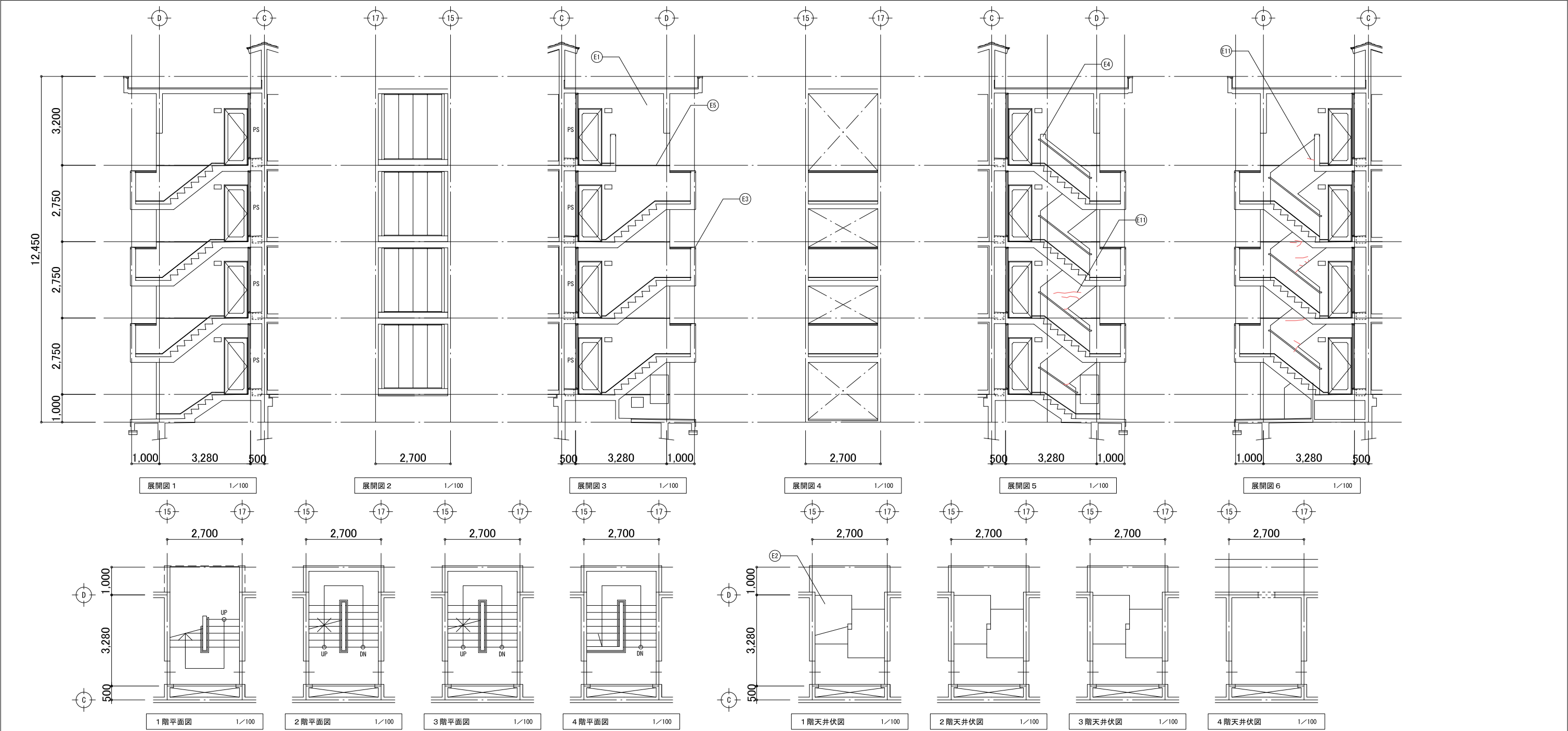
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
ベランダ防水	Ⓒ1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去	Ⓒ1	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設
	Ⓒ2	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	Ⓒ2	フロアードレイン・中継ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノンタル系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	Ⓒ3	笠木付アルミ製手摺り：一時取外し	Ⓒ3	笠木付アルミ製手摺り：再取付	
		-----		-----	
手摺り笠木・階段中央壁	Ⓔ3	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	Ⓔ3	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材ⒺE（ふっ素樹脂・平滑・低酸素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
その他	Ⓕ1	堅樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去	Ⓕ1	堅樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	Ⓕ9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去	Ⓕ9	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設	-----
	Ⓕ10	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	Ⓕ10	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面）



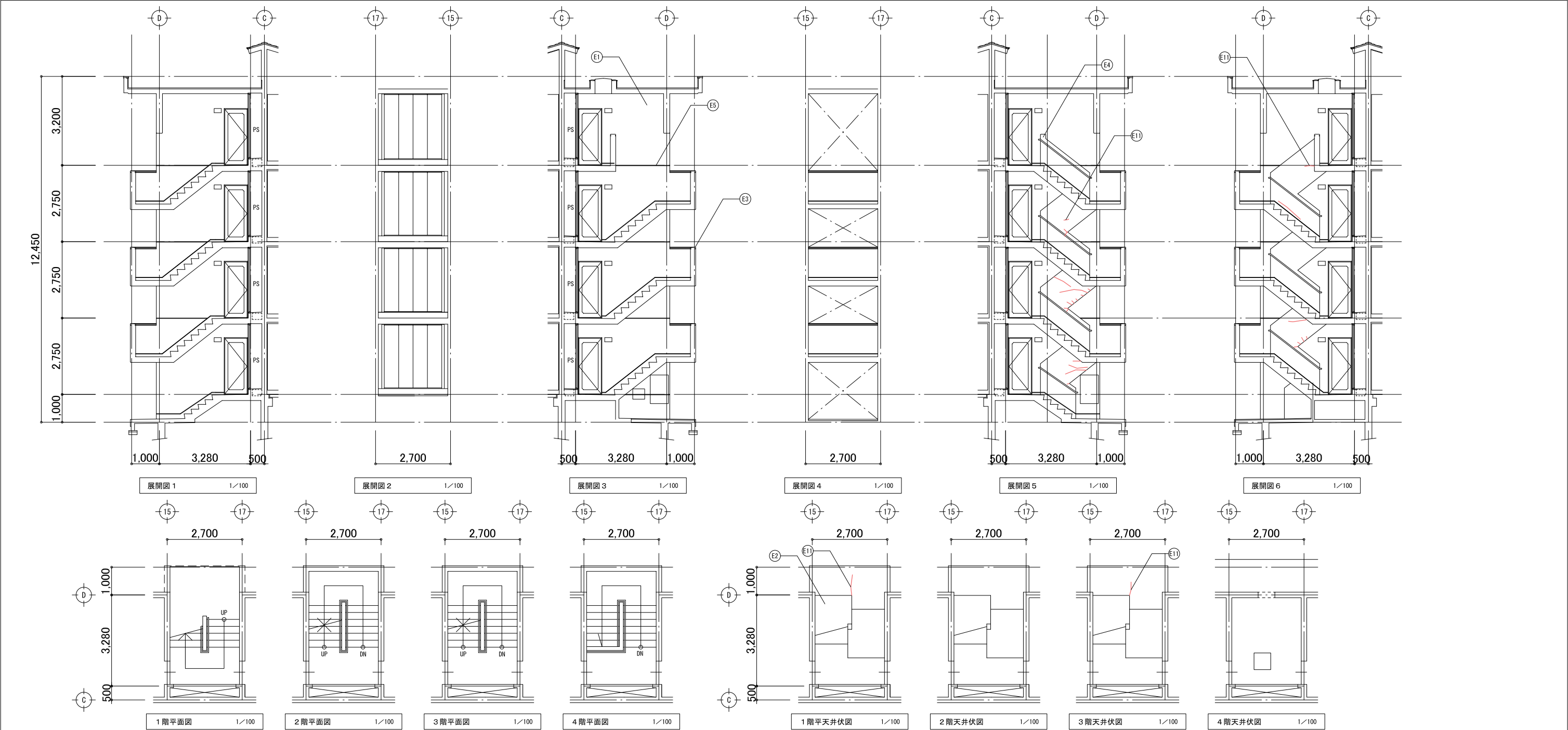
外 部 仕 上 表					
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	(A1) 屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺き（様包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	
屋上防水	(B3)	(B3) パラペット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付 -----	
外壁	(E1)	(E1) 外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
	(E3)	(E3) 手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
	(E5)	(E5) 打継ぎ目地・ひび割れ顕発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ顕発目地：シーリング新設（PU-2・15×10） -----	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
		-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： ——
		-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □
		-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □□□
		-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： □
		-----		-----	
ベランダ防水	(F1)	(F1) 縦樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	(F3)	(F3) 館名番号表示：ステンレス製 箱文字 撤去 -----	(F3)	館名番号表示：ステンレス製ヘアライン 切り文字 H=600 アンカーボルト留め 浮かしパイプ 新設 -----	
	(F7)	(F7) 台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----
	(F9)	(F9) ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、既存塗膜除去（RB種）、通気弁撤去 -----	(F9)	ベランダ通気管通気弁：SGP管 80φ、DP塗装、ドルゴ通気弁新設 -----	
	(F10)	(F10) ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しシート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面） -----



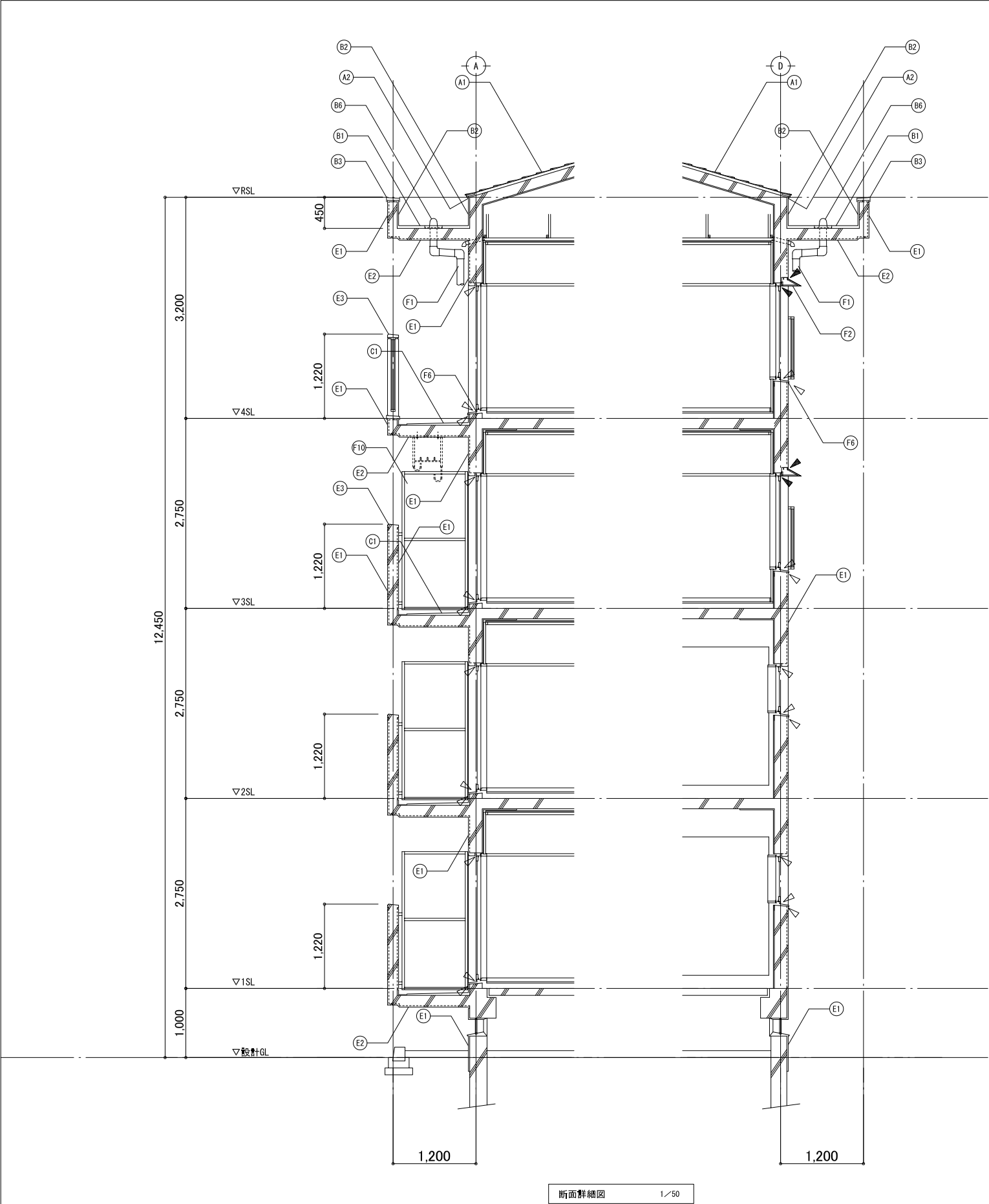
外 部 仕 上 表					
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板段葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	
屋上防水	(B3)	パラペット笠木：アルミ、一時取外し	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付	
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10）	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（PU-2・15×10）	屋上通気管通気弁、80φ、既存のまま
			(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： —
			(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号： □
			(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号： □□□
			(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： □
			(F1)	縦樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	(F3)	館名番号表示：ステンレス製 箱文字 撤去	(F3)	館名番号表示：ステンレス製ヘアライン 切り文字 H=600 アンカーボルト留め 浮かしパイプ 新設	
	(F8)	天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
ベランダ防水	(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠	避難案内ステッカー新設（両面）



項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
外壁・市木 軒天・天井 (ボード以外) 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	※ 階段室内の床及び市木については、既存のままとする。
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE (ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性) 仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗り、全体水洗い (15MPa)、既存塗膜除去 (RB種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗りの上、EP-G塗装 (B種) 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し (フカシ含む) 下地、補修済下地	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ髒発目地：シーリング撤去 (MS-2・15×10)	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ髒発目地：シーリング新設 (PU-2・15×10)	
	-----		(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	
	-----		(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E13)	浮き部補修 (狭幅部)：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度 (水循環式無振動ドリル使用)	
	-----		(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100 (HEPAフィルター付き集塵機使用)	

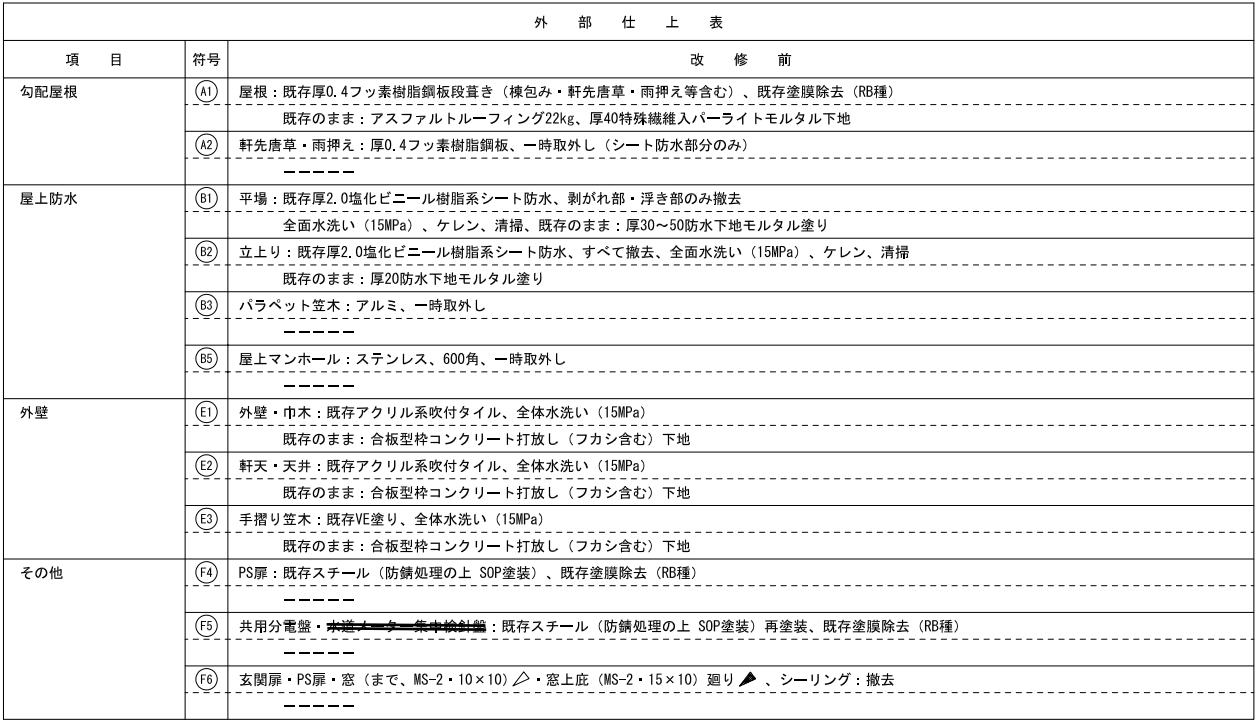


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
外壁・市木 軒天・天井 (ボード以外) 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・市木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	※ 階段室内の床及び市木については、既存のままとする。
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	
	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E4)	階段室中央壁：既存VE塗りの上、EP-G塗装（B種） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（PU-2・15×10） -----	
		-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	
		-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
		-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
		-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	



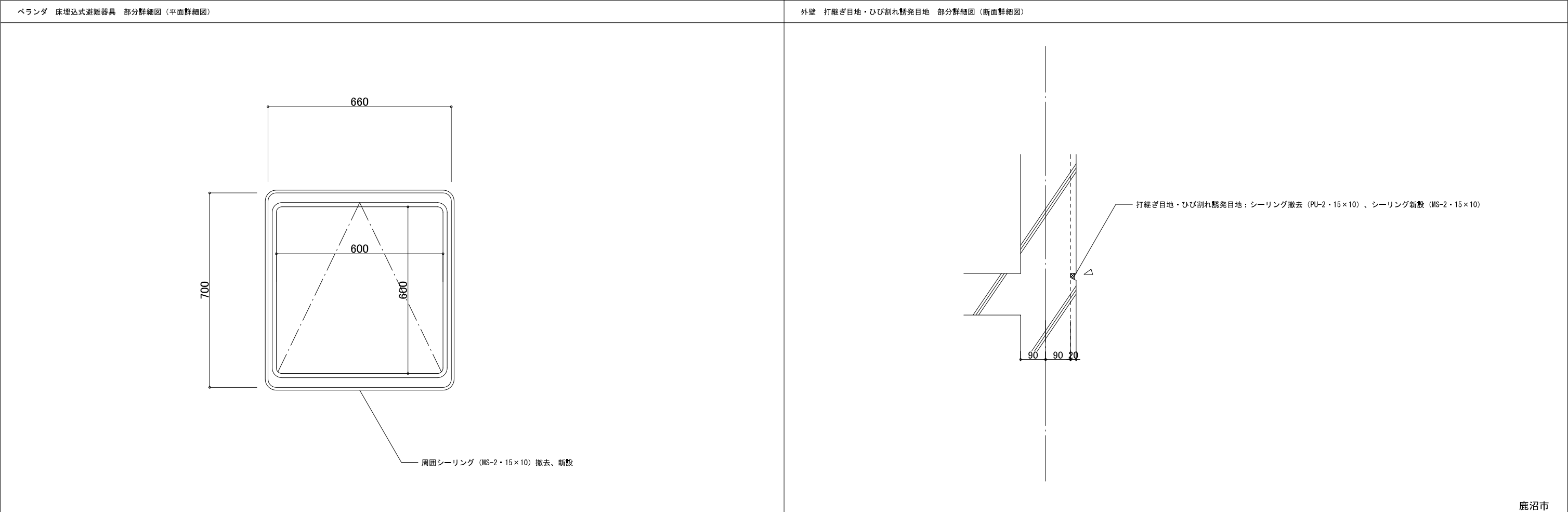
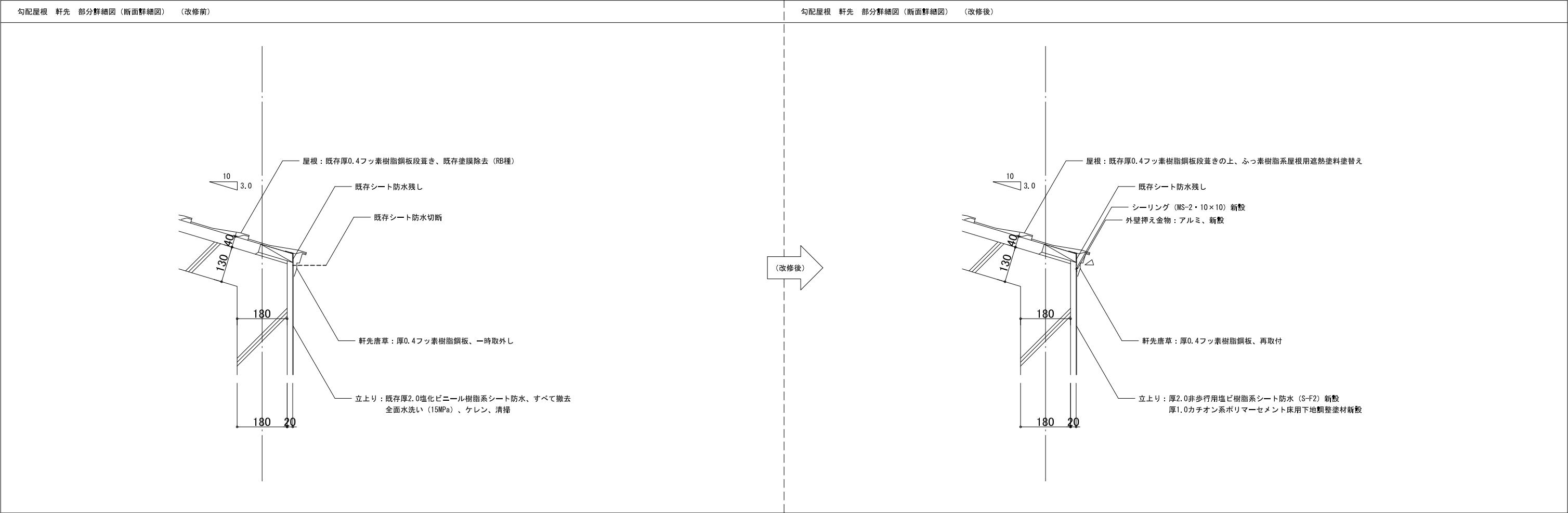
外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 前
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂鋼板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂鋼板、一時取外し（シート防水部分のみ） -----
屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り
	(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り
	(B3)	パラペット笠木：アルミ、一時取外し -----
	(B6)	ドレイン：鑄鉄製、100φ、たて引き用、すべて撤去 -----
ベランダ防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地
	(F1)	堅樋：100φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----
その他	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ鋼板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）△・窓上庇（MS-2・15×10）廻り▲、シーリング：撤去 -----
	(F10)	ベランダ隔板：厚5.0石綿セメント板（VP塗装）撤去 既存のまま：アルミ枠

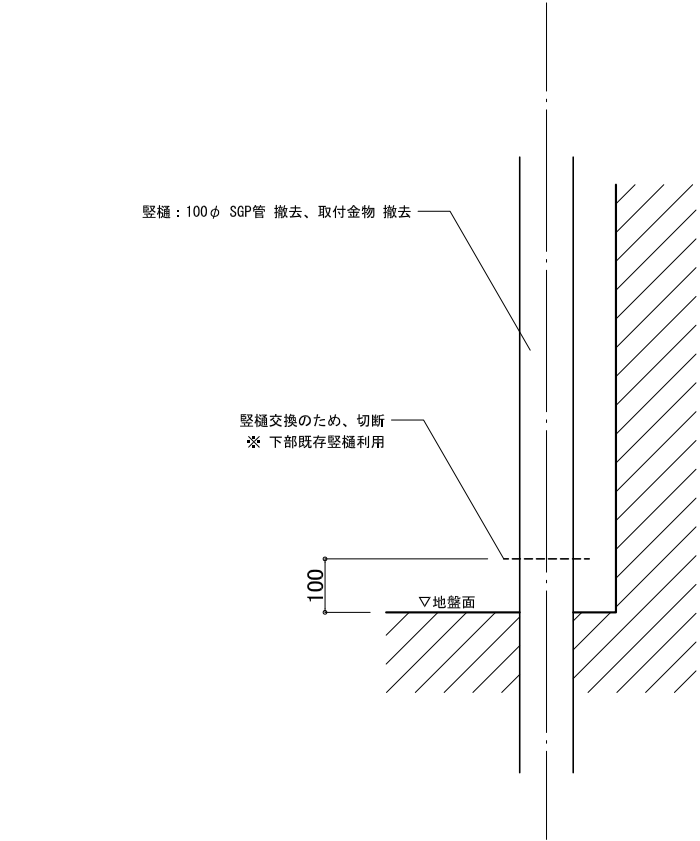
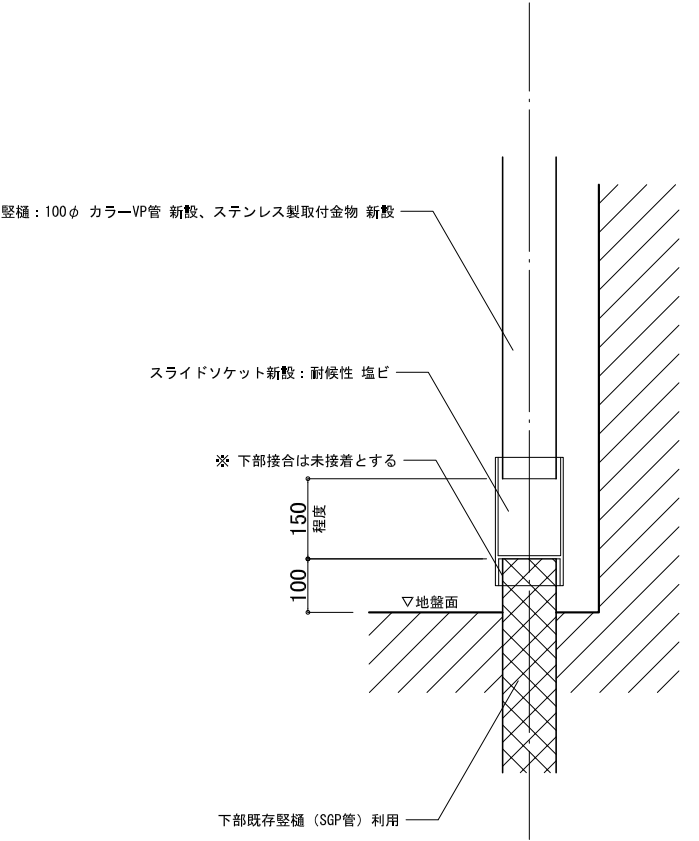
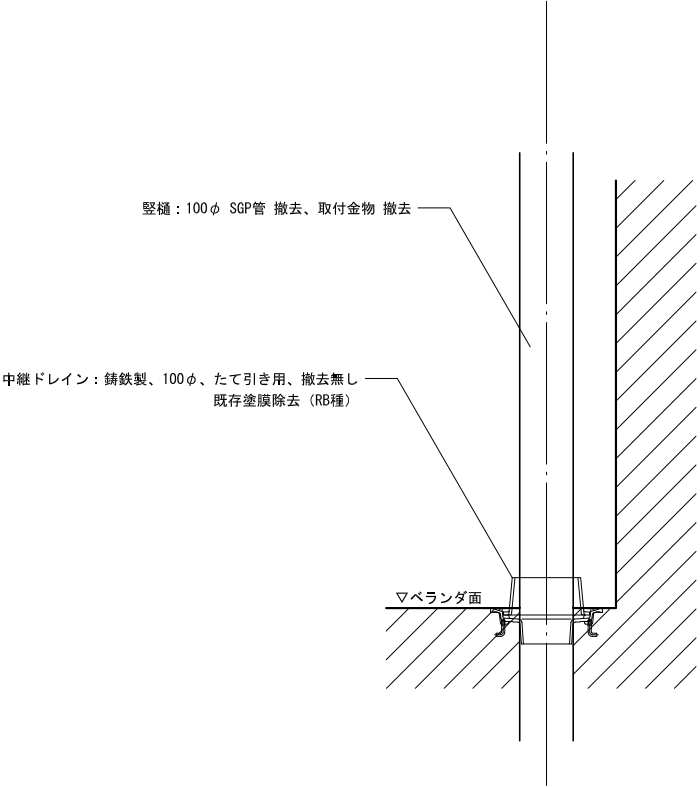
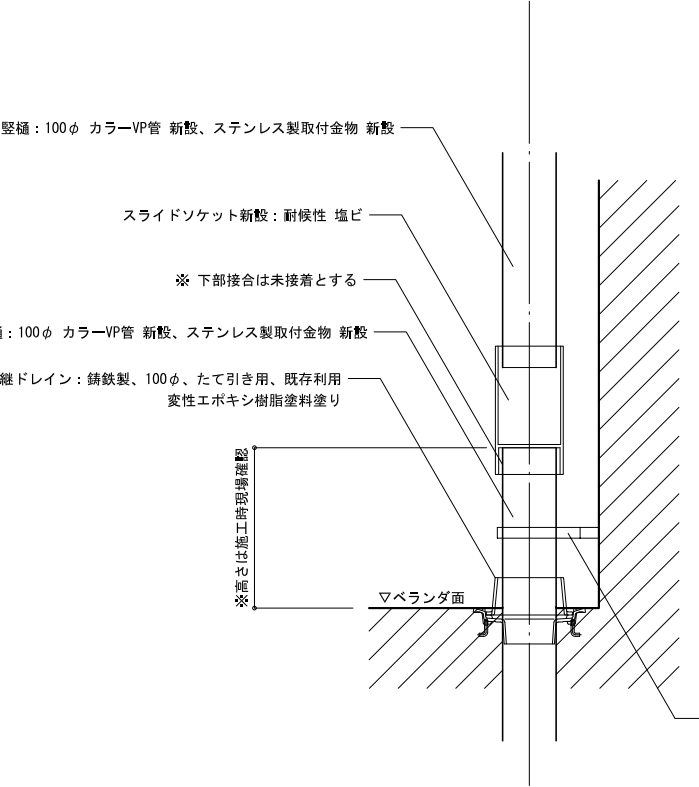
外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 後
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂鋼板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入バーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂鋼板、再取付 -----
屋上防水	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B3)	パラペット笠木：アルミ、再取付 -----
	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（100φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設 -----
ベランダ防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り
外壁	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地
	(F1)	堅樋：100φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----
その他	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ鋼板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）△・窓上庇（MS-2・15×10）廻り▲、シーリング：新設 -----
	(F10)	ベランダ隔板：厚4.0フレキシブルボード 合成樹脂エマルジョンペイント表面仕上（塗装品）新設、周囲押しビート共 既存のまま：アルミ枠



外 部 仕 上 表		
項 目	符号	改 修 後
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入りパーライトモルタル下地
	(A2)	軒先唐草・雨押え：厚0.4フッ素樹脂銅板、再取付
屋上防水	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-W2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設
	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付
	(B5)	屋上マンホール：ステンレス、600角、再取付、既存ステンレスアンカーボルト利用
階置室	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカン含む）下地、補修済下地
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカン含む）下地、補修済下地
	(E3)	手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカン含む）下地、補修済下地
その他	(F4)	PS扉：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装
	(F5)	共用分電盤・ 水道・ガス・集中換気装置 ：既存スチール（防錆処理の上 SOP塗装）の上、DP塗装
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）  窓上庇（MS-2・15×10）廻り  、シーリング：新設

屋上　バラベツト廻リ　部分詳細図（断面詳細図）　（改修前）					屋上　バラベツト廻リ　部分詳細図（断面詳細図）　（改修後）				
バラベツト笠木：アルミ、一時取外し シーリング（MS-2・10×10）新設 バラベツト笠木下地：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存シート防水切断 平場（ドレイン付近）：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 ドレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去					バラベツト笠木：アルミ、再取付 シーリング（MS-2・10×10）新設 バラベツト笠木下地：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2）新設 厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材新設 立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2）新設 厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材新設 入隅出隅鋼板：塩ビ被覆鋼板 平場（ドレイン付近）：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2）新設 厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材新設 ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（100φ用） アルミ製ストレーナー、新設 樹脂モルタル充填				
屋上　シート防水立上リ　部分詳細図（断面詳細図）　（改修前）					屋上　シート防水立上リ　部分詳細図（断面詳細図）　（改修後）				
外壁：アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） シーリング（MS-2・10×10）撤去 外壁立上リ水切り：アルミ、すべて撤去、押え金物撤去 立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存シート防水切断 平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃					外壁：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌）仕上 シーリング（MS-2・10×10）新設 外壁立上リ水切り：アルミ、すべて新設、押え金物新設 立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2）新設 厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材新設 入隅出隅鋼板：塩ビ被覆鋼板 平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2）全面新設 撤去部のみ：厚1.0カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材新設				
特記事項					設計者				
					工事名称				
					日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）				
					図名				
					1・2号棟 部分詳細図 1				
					登録番号				
					25011				
					図面番号				
					A 29				
					日付				
					2025/12/12				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				
					A2：1/10 A3：1/15				
					縮尺				



縦樋改修（地盤面） 部分詳細図（断面詳細図）（改修前）			縦樋改修（地盤面） 部分詳細図（断面詳細図）（改修後）		
					
縦樋改修（ベランダ） 部分詳細図（断面詳細図）（改修前）			縦樋改修（ベランダ） 部分詳細図（断面詳細図）（改修後）		
					
特記事項			設計者		
			工事名称		
			日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）		
			図名		
			1・2号棟 部分詳細図3		
			登録番号		
			25011		
			図面番号		
			A 31		
			日付		
			2025/12/12		
			縮尺		
			A2: 1/10 A3: 1/15		



設計者

工事名称
日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）
図名
1・2号棟 部分詳細図3

登録番号
25011
日付
2025/12/12
縮尺
A2: 1/10 A3: 1/15

図面番号
A 31

ベランダ コンクリート手摺り壁 詳細図（断面詳細図）（改修前）

手摺り笠木：既存VE塗り、全体水洗い（15MPa）

外壁：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa）

平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去
全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃

シーリング（MS-2・10×10）撤去

軒天：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa）

（改修後）

手摺り笠木：既存VE塗りの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・平滑）仕上

外壁：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌）仕上

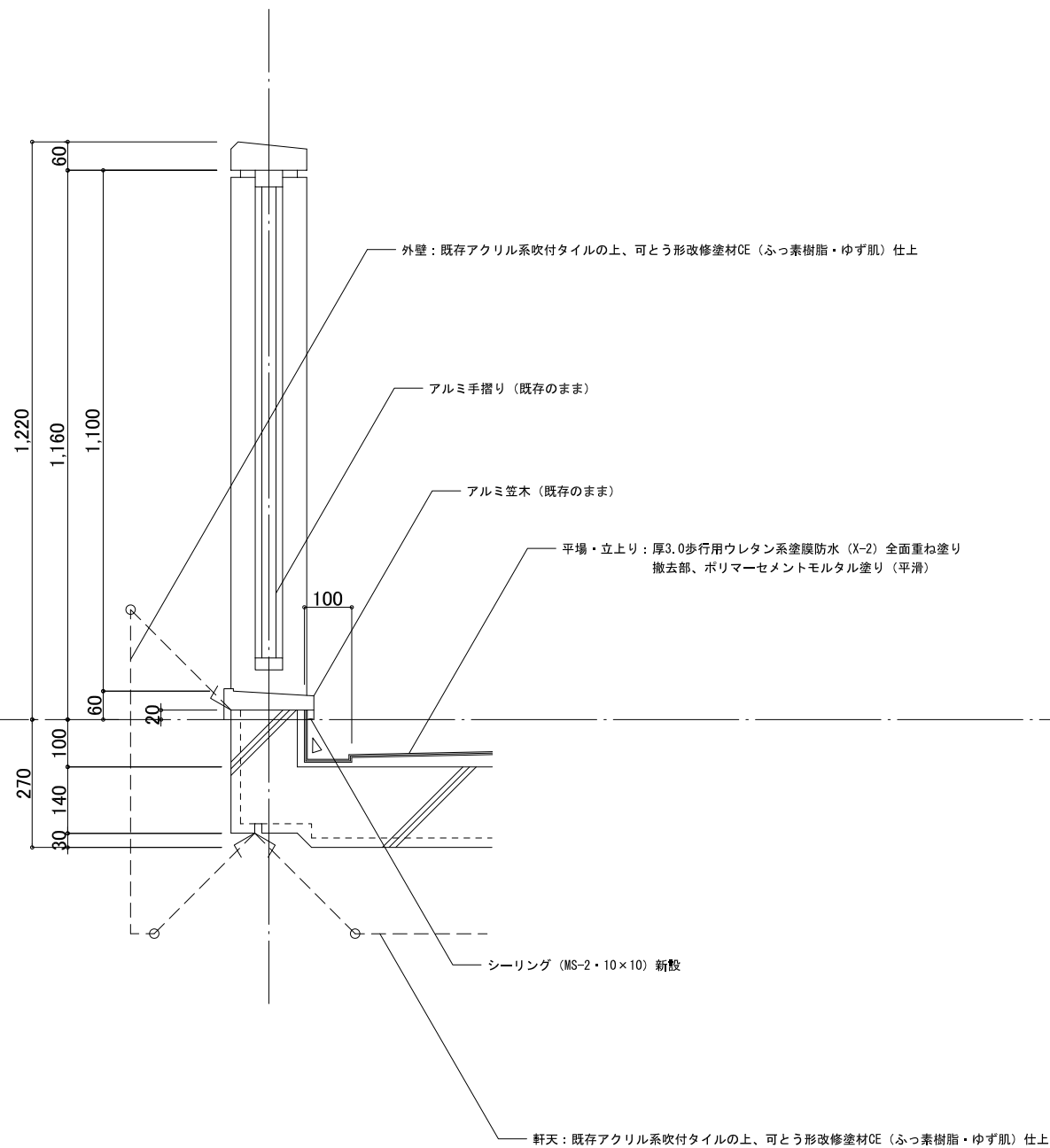
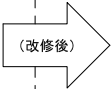
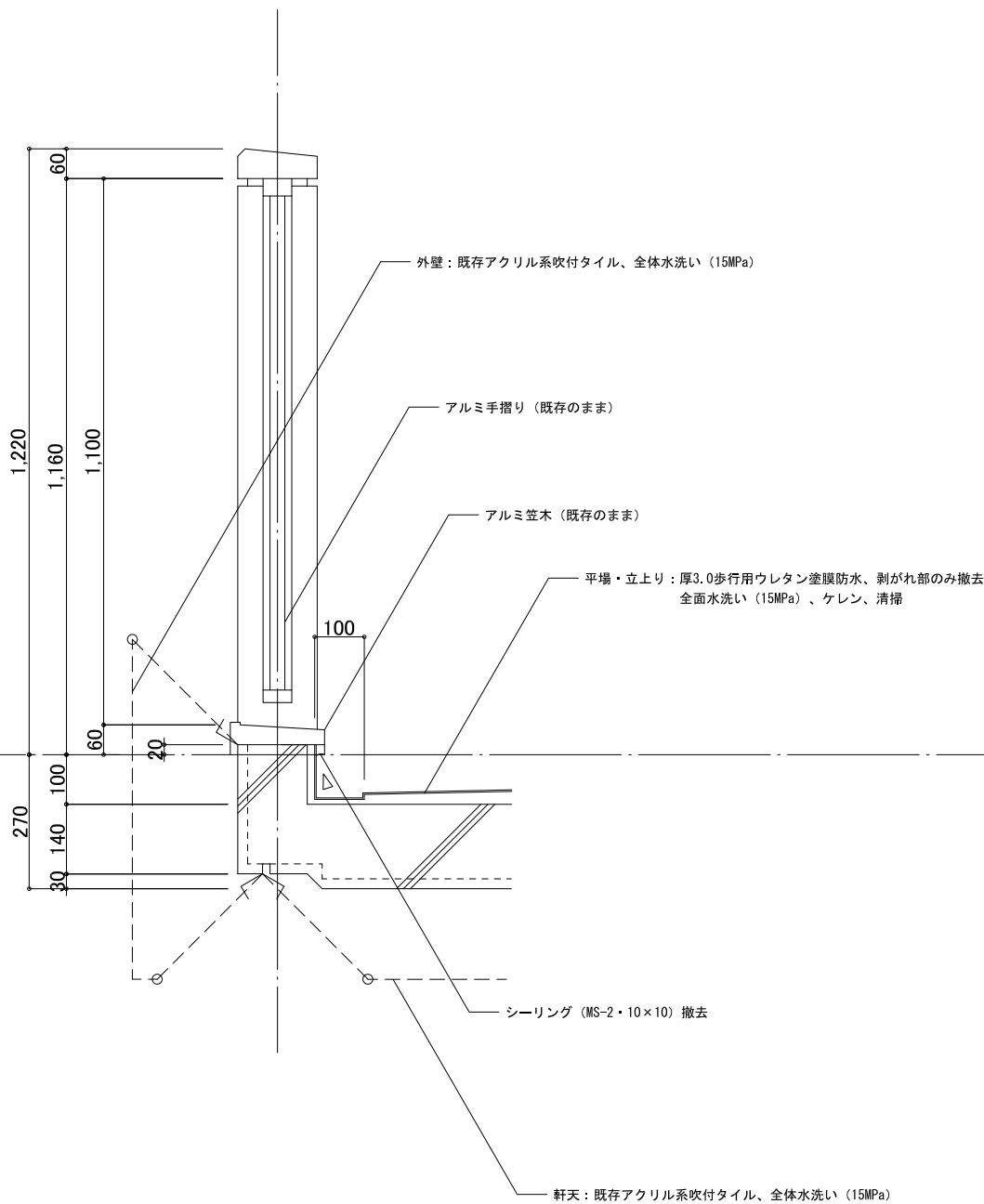
平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2）全面重ね塗り
撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）

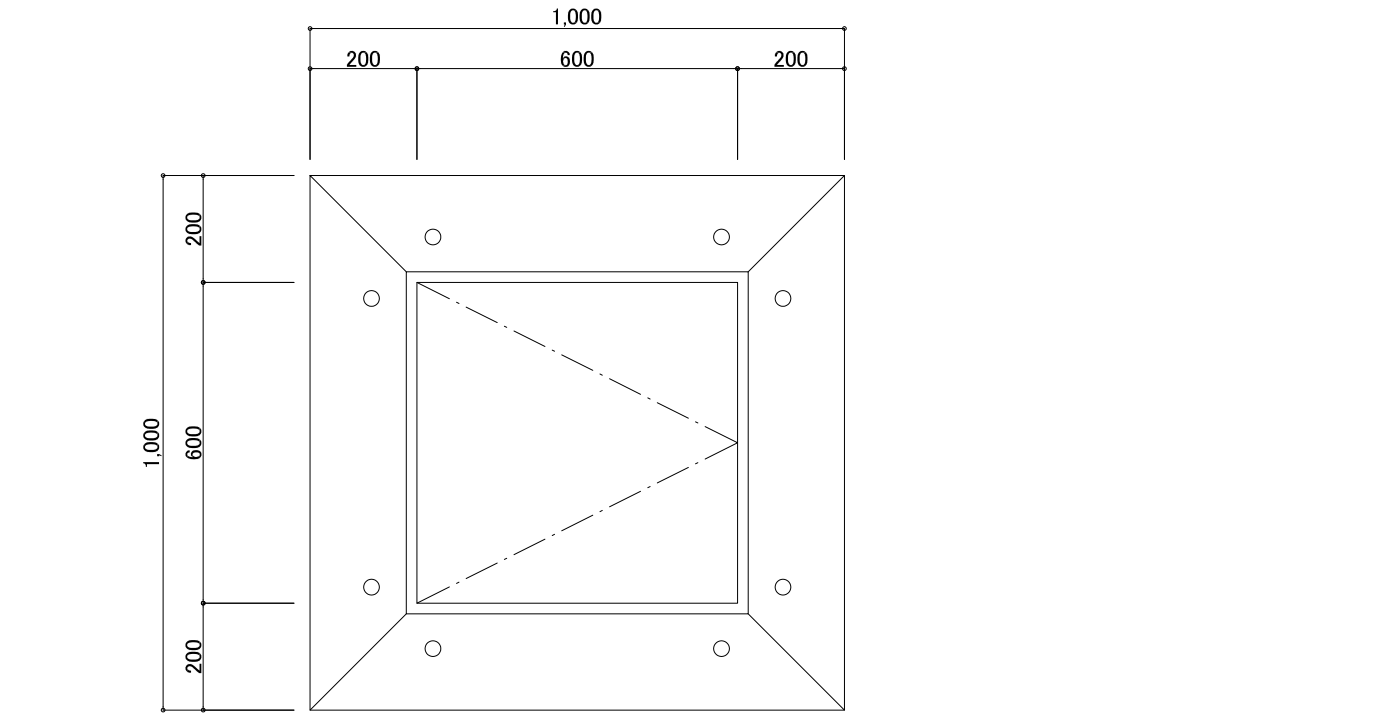
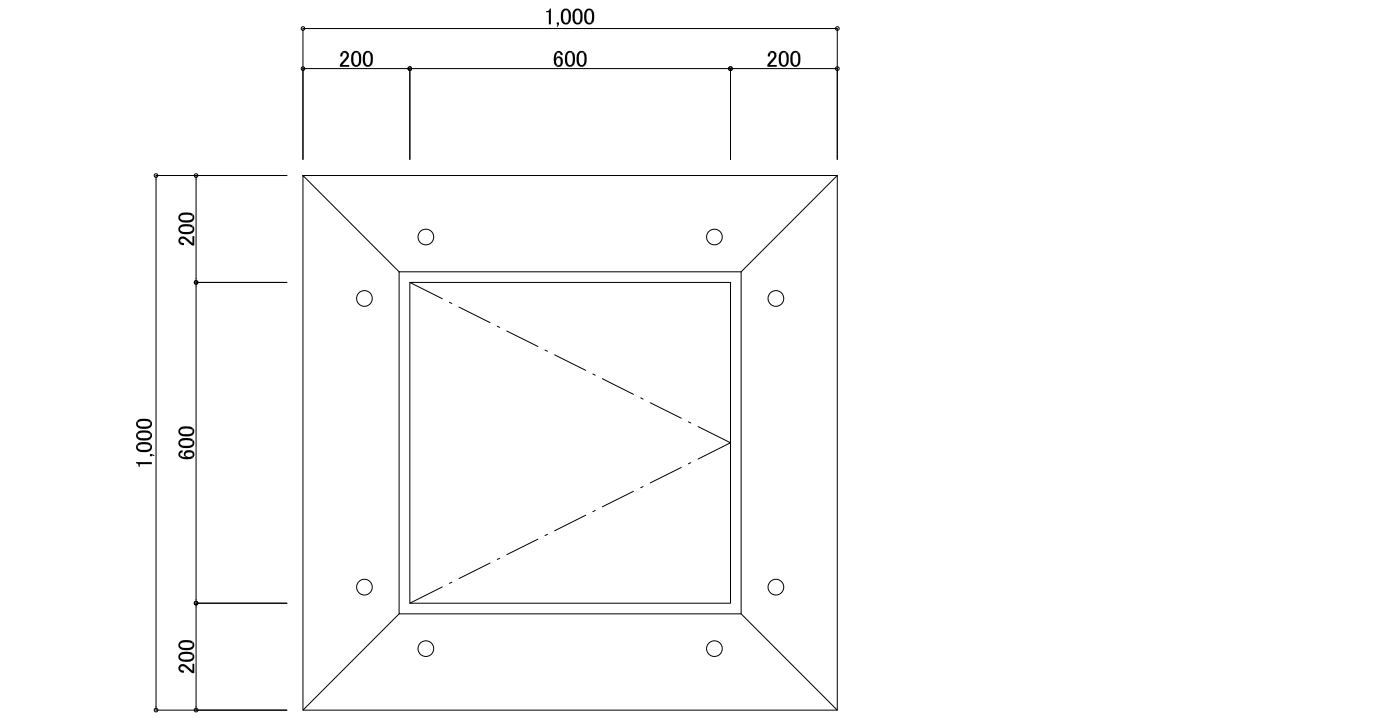
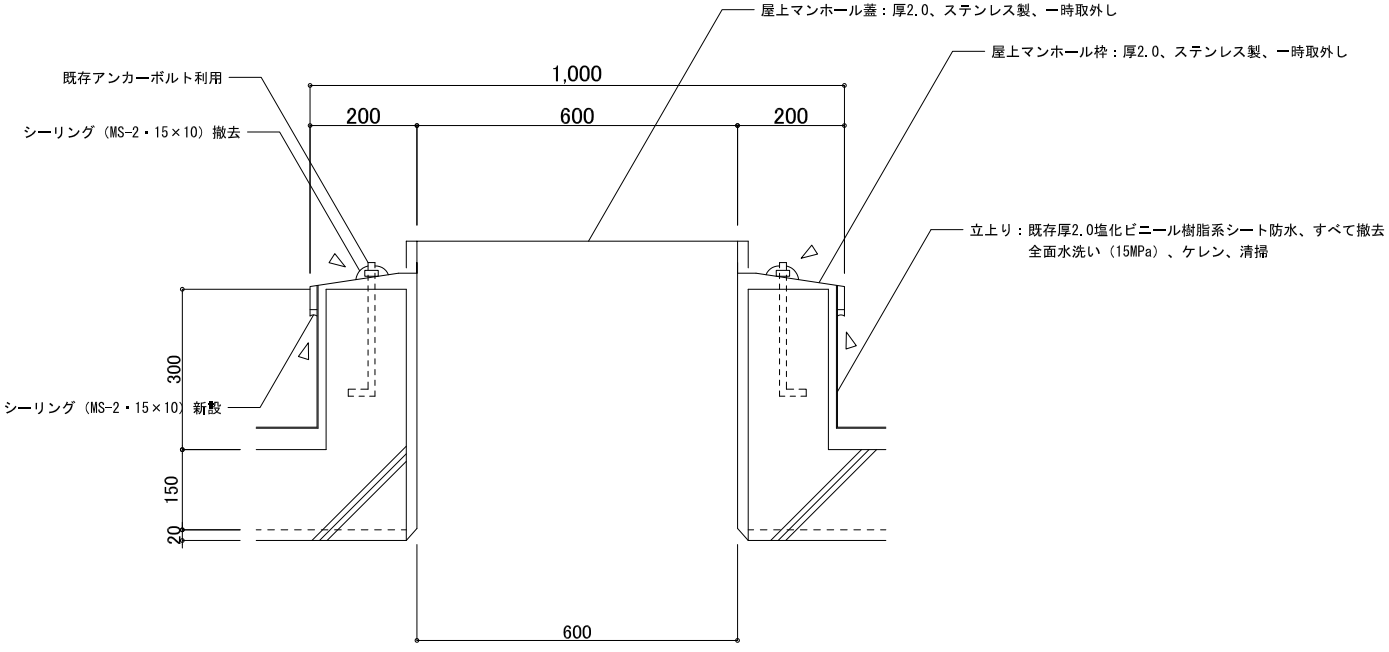
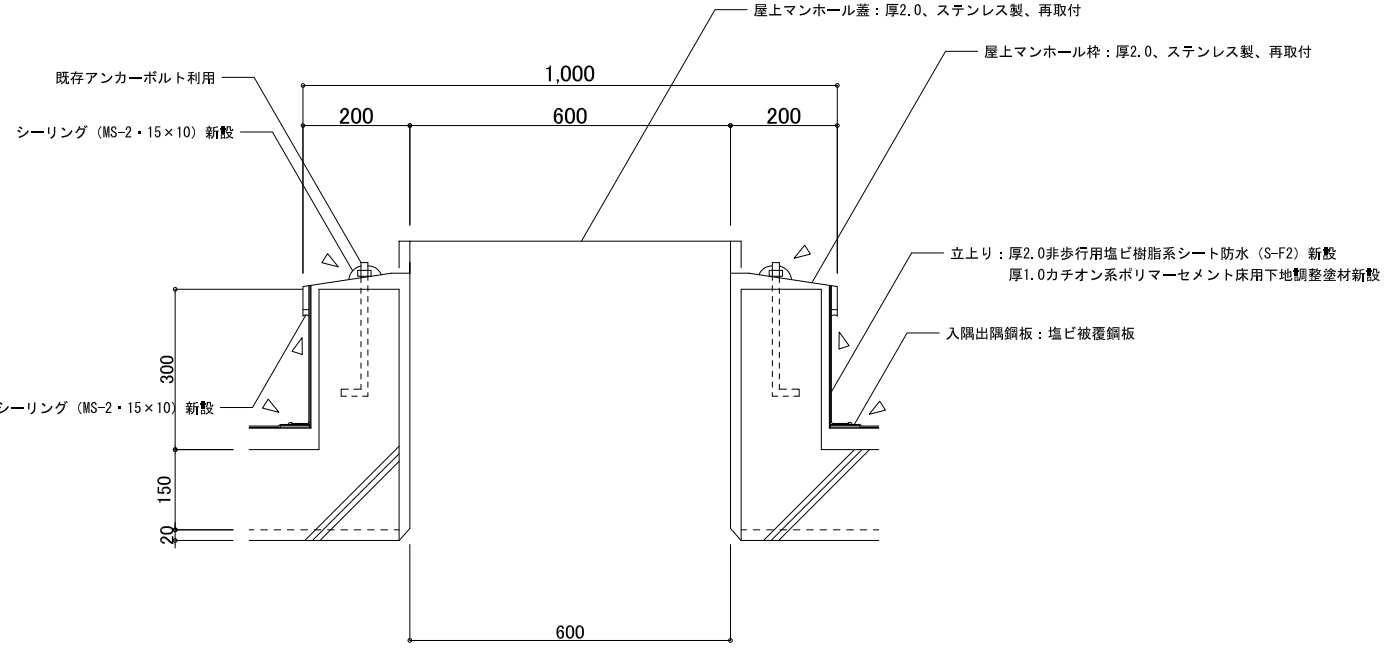
シーリング（MS-2・10×10）新設

軒天：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌）仕上

特記事項	 1級建築士事務所 山崎企画設計 事務所登録番号 栃木県知事登録 第A二2769号 管理建築士 所在地 山崎良知 一級建築士 第241318号 栃木県宇都宮市鶴生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742	設計者	工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	登録番号 25011	図面番号 A 32			
		図名 1・2号棟 部分詳細図 4	日付 2025/12/12					
		縮尺 A2：1/10 A3：1/15						

鹿沼市

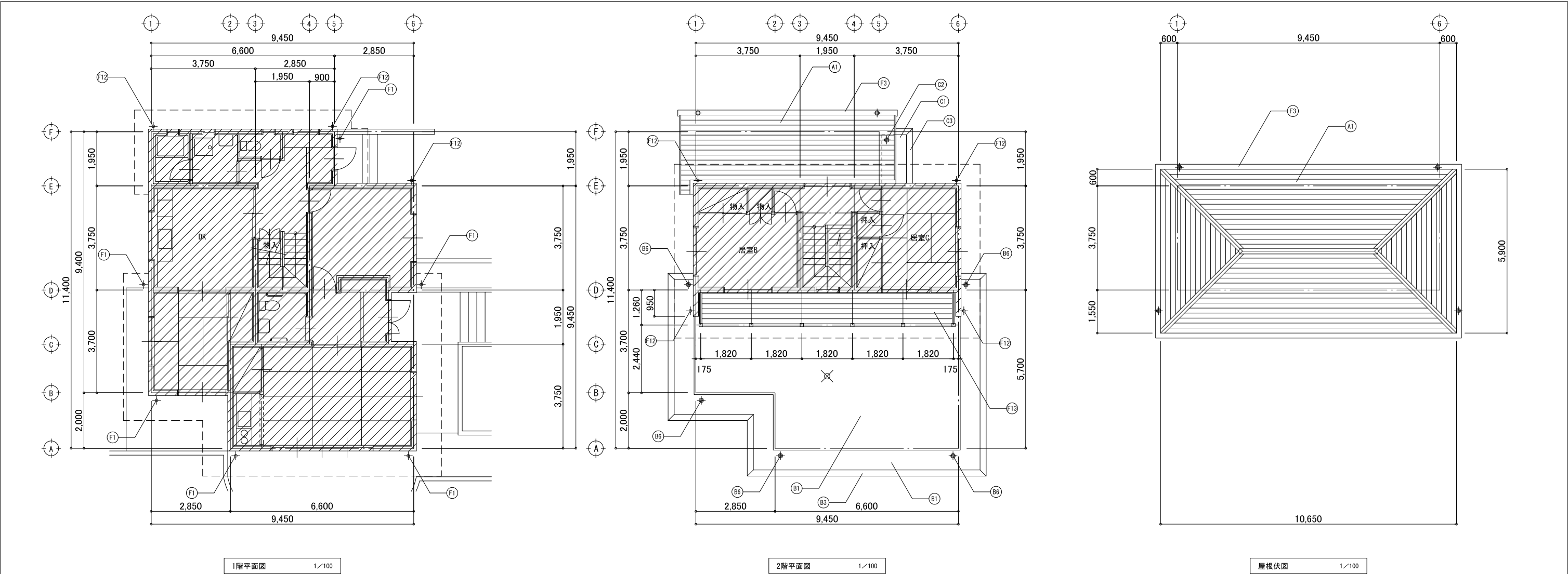


屋上マンホール 詳細図（平面詳細図・断面詳細図）（改修前）					屋上マンホール 詳細図（平面詳細図・断面詳細図）（改修後）				
									
									
特記事項					（改修後）				
					（改修後）				
1級建築士事務所 山崎企画設計 事務所登録番号 栃木県知事登録 第A二2769号					（改修後）				
管理建築士 所在地 山崎良知 一級建築士 第241318号 栃木県宇都宮市鶴生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742					（改修後）				
設計者					（改修後）				
工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）					（改修後）				
図名 1・2号棟 部分詳細図 6					（改修後）				
登録番号 25011					（改修後）				
日付 2025/12/12					（改修後）				
縮尺 A2：1/10 A3：1/15					（改修後）				
図面番号 A 34					（改修後）				
鹿沼市					（改修後）				

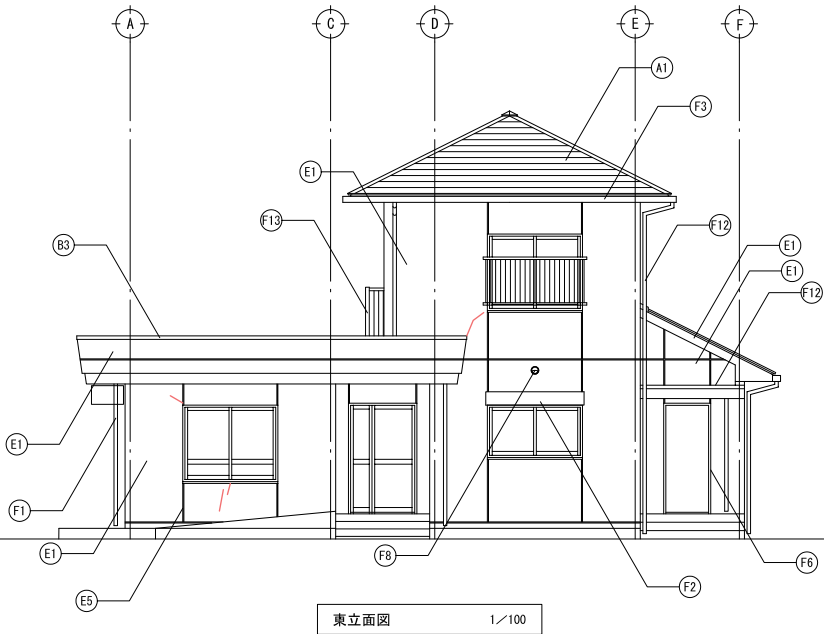
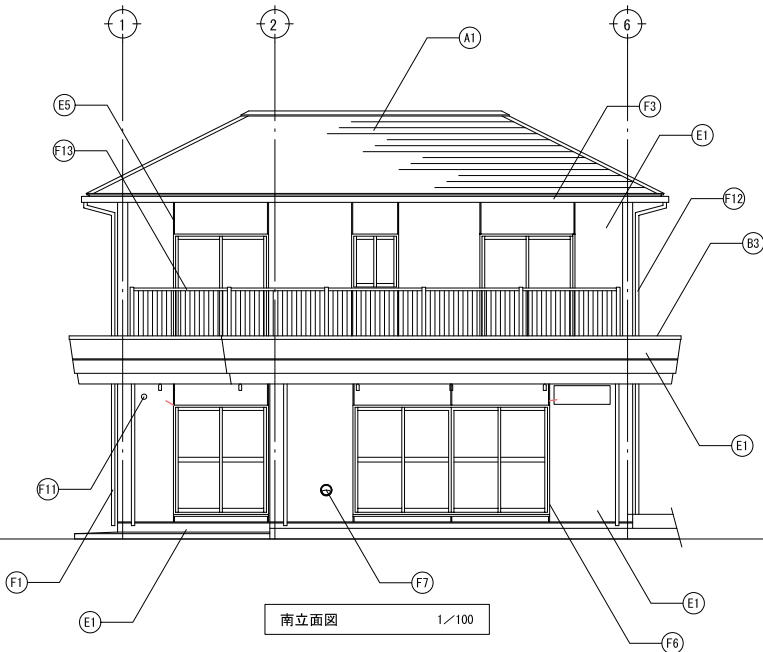
外 部 仕 上 表								
位 置	項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考		
屋 上	勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維進入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維進入パーライトモルタル下地			
	屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気筒新設（記号： ) 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設		
		(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設 -----		
		(B3)	バラベツト笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	バラベツト笠木：アルミ、再取付 -----			
		(B4)	外壁立上り水切り：アルミ、すべて撤去 -----	(B4)	外壁立上り水切り：アルミ、すべて新設 -----	シーリング、撤去新設 -----		
		(B6)	ドレイン：鋳鉄製、75φ、たて引き用、すべて撤去 -----	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（75φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設 -----			
		底防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設	
	(C2)		フロアードレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	(C2)	フロアードレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノントール系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り -----			
	(C3)		バラベツト笠木：アルミ、一時取外し -----	(C3)	バラベツト笠木：アルミ、再取付 -----			
	外 壁	外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象	
(E2)			軒天：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器8L型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま 空調室外機、既存のまま ルームクーラー取付用インサート、既存のまま		
(E5)			打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング撤去（PU-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング新設（MS-2・15×10） -----			
(E6)			軒天（ボード部）：既存VP塗装、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：厚5.0フレキシブルボード（一部有孔ボード）目スカシ張り -----	(E6)	軒天（ボード部）：既存ボードの上、EP-G塗装（B種） 既存のまま：厚5.0フレキシブルボード（一部有孔ボード）目スカシ張り -----	既存のまま：アルミ自在型物干金物		
			-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----			
			-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----			
			-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----			
			-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----			

その他			その他	(F1)	縦樋（屋上防水）：75φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	縦樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
				(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----	
				(F3)	軒樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、W=150（既製システム軒樋塗装品）撤去、取付金物、撤去 -----	(F3)	軒樋（勾配屋根）：カラー硬質塩ビ、W=150 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
				(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）、廻りシーリング：撤去 -----	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）廻り、シーリング：新設 -----	
		(F7)		台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----	
	(F8)	天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト		(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----		
	(F11)	クーラー用貫通口カバー：100φ用、破損部のみ撤去 -----		(F11)	クーラー用貫通口カバー：樹脂製、100φ用、パッキン付き、新設 -----			
	(F12)	縦樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、75φ（既製システム樋塗装品）撤去、取付金物、撤去 -----		(F12)	縦樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----			
	(F13)	バルコニー：アルミ、既製品、撤去 -----		(F13)	バルコニー：新設無し -----			

特記事項		 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号  1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号	山崎企画設計 栃木県知事登録 第A二2769号	管理建築士 所 在 地 山 崎 良 知 一級建築士 第241318号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742	設 計 者		工 事 名 称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）		登録番号 25011		図面番号 A 35	
							図 名 LSA住宅 仕上表		日付 2025/12/12			
									縮尺 A2： A3： A			

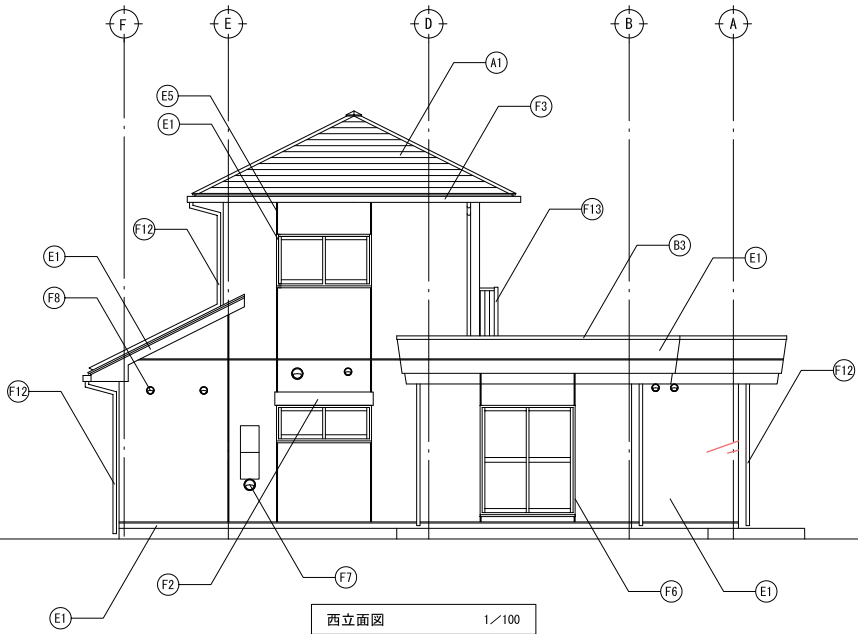
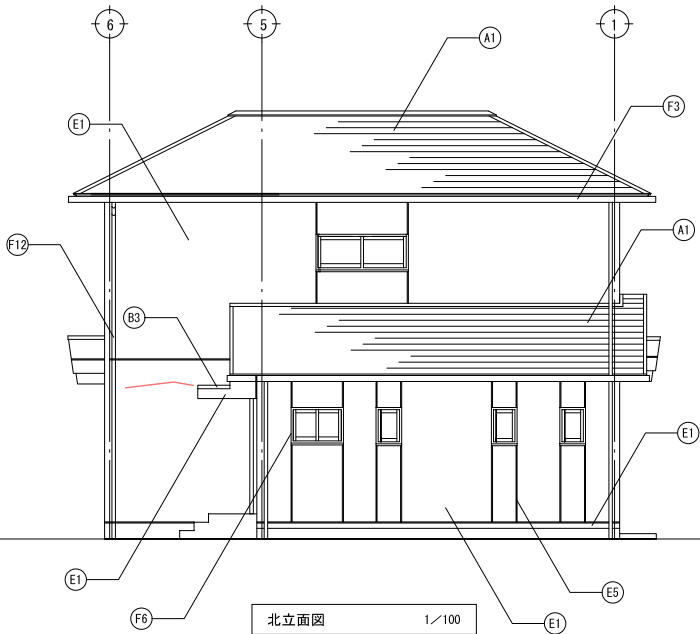


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂鋼板段葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂鋼板段葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	
屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気筒新設（記号： ⊗ ） 入隔出隅及びシート防水切替部銅板新設
	(B3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付	
	(B6)	ドレイン：鋳鉄製、75φ、たて引き用、すべて撤去	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（75φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設	
庇防水	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン塗膜防水、剥がれ部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：防水下地モルタル塗り	(C1)	平場・立上り：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）重ね塗り、全面 撤去部、ポリマーセメントモルタル塗り（平滑）、既存のまま：防水下地モルタル塗り	既存のまま：床埋込式避難ハシゴ、周囲シーリング（MS-2・15×10）：撤去、新設 シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	(C2)	フロアードレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、撤去無し、既存塗膜除去（RB種） 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃	(C2)	フロアードレイン：鋳鉄製、100φ、たて引き用、変性エポキシ樹脂塗料（ノントール系・厚塗り性・高防食性・耐水性）塗り	
	(C3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し	(C3)	パラベット笠木：アルミ、再取付	
その他	(F1)	縦樋（屋上防水）：75φ SGP管（メッキ処理の上 SGP塗装）撤去、取付金物 撤去	(F1)	縦樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	(F3)	軒樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、W=150（既製システム軒樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去	(F3)	軒樋（勾配屋根）：カラー硬質塩ビ、W=150 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	(F12)	縦樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、75φ（既製システム樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去	(F12)	縦樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	(F13)	バルコニー：アルミ、既製品、撤去	(F13)	バルコニー：新設無し	

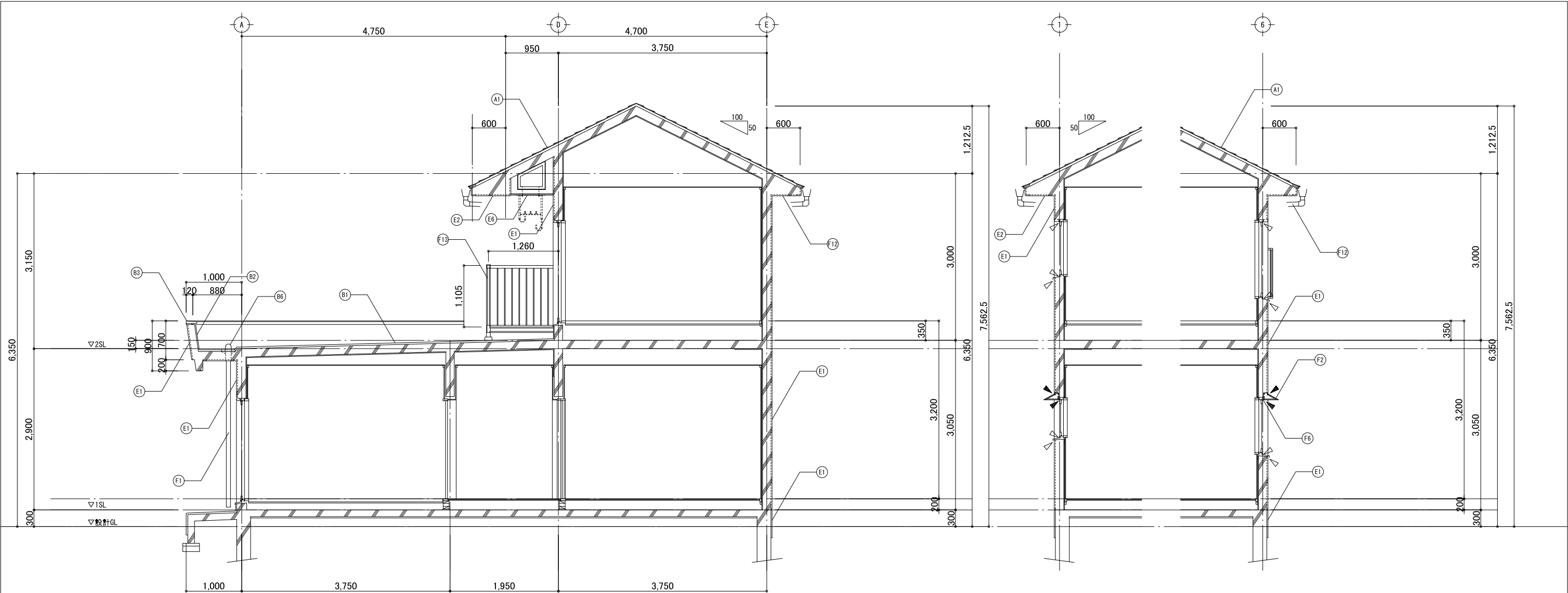


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	
屋上防水	(B3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付 -----	
底防水	(C3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(C3)	パラベット笠木：アルミ、再取付 -----	
外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング新設（PU-2・15×10） -----	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
		-----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： —
		-----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □
		-----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	記号： □
		-----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	記号： □ 20×20： ○

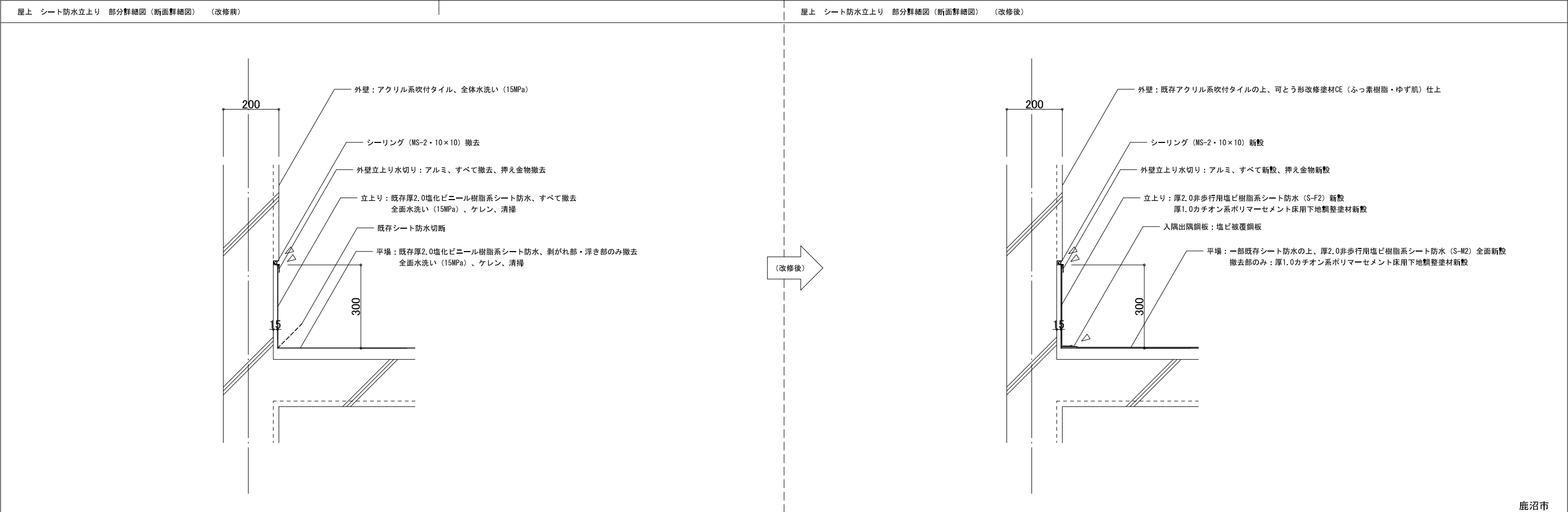
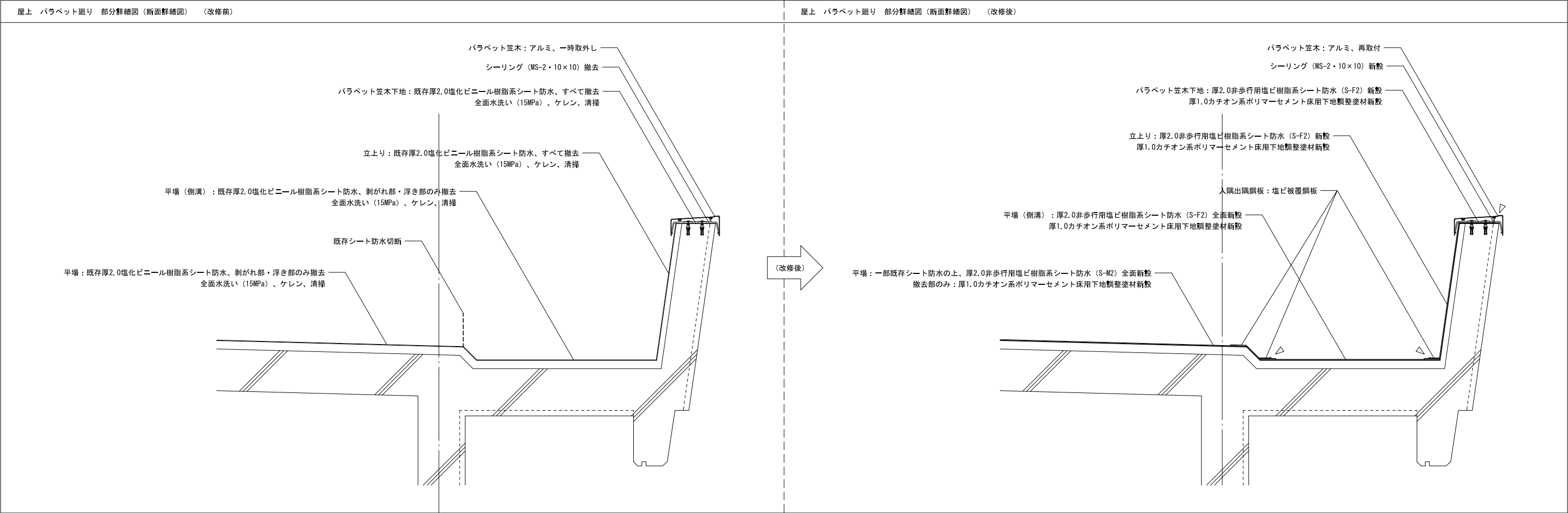
その他	(F1)	壁樋（屋上防水）：75φ SGP管（メッキ処理の上 SGP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	壁樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----	
	(F3)	軒樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、W=150（既製システム軒樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去 -----	(F3)	軒樋（勾配屋根）：カラー硬質塩ビ、W=150 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）、廻りシーリング：撤去 -----	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）廻り、シーリング：新設 -----	
	(F7)	台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト -----	(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト -----	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----
	(F8)	天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト -----	(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト -----	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----
	(F11)	クーラー用貫通口カバー：100φ用、破損部のみ撤去 -----	(F11)	クーラー用貫通口カバー：樹脂製、100φ用、パッキン付き、新設 -----	
	(F12)	壁樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、75φ（既製システム樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去 -----	(F12)	壁樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
	(F13)	バルコニー：アルミ、既製品、撤去 -----	(F13)	バルコニー：新設無し -----	

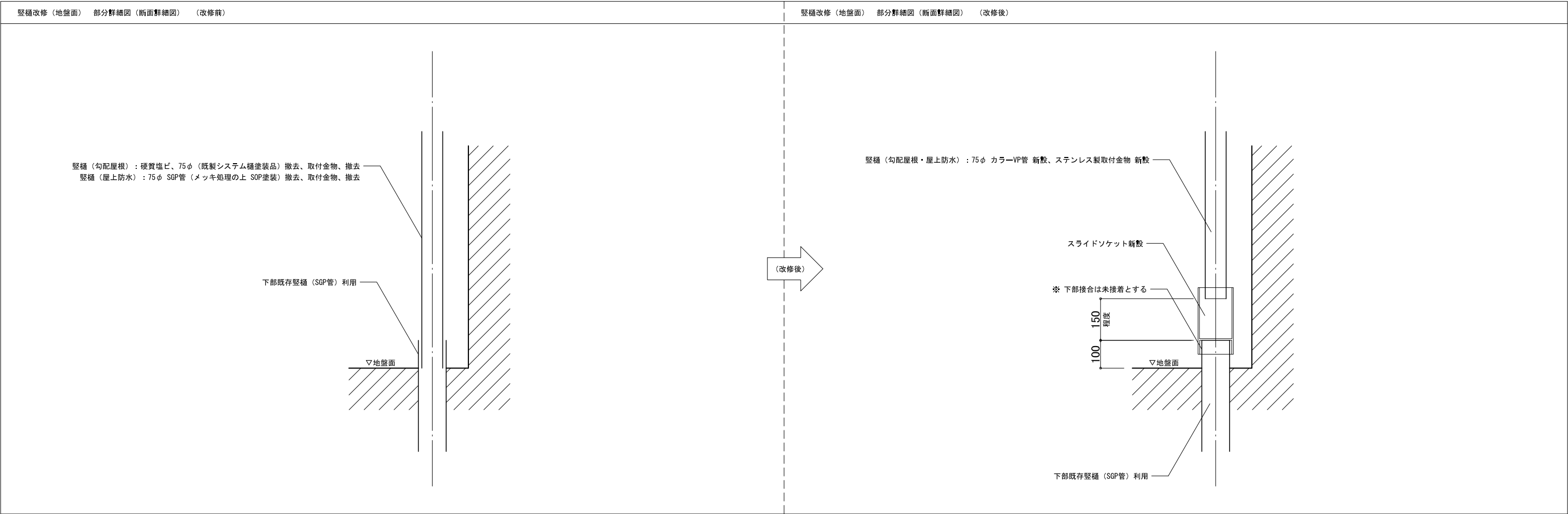


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	
屋上防水	(B3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付	
底防水	(C3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し	(C3)	パラベット笠木：アルミ、再取付	
外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10）	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地：シーリング新設（PU-2・15×10）	玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
			(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： —
			(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号：
			(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用）	記号： ---
			(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用）	記号： □ 20×20： ○
その他	(F1)	壁樋（屋上防水）：75φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去	(F1)	壁樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）
	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種）	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装の上、DP塗装	
	(F3)	軒樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、W=150（既製システム軒樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去	(F3)	軒樋（勾配屋根）：カラー硬質塩ビ、W=150 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）、廻りシーリング：撤去	(F6)	玄関扉・PS扉・窓（まで、MS-2・10×10）・窓上庇（MS-2・15×10）廻り、シーリング：新設	
	(F7)	台所換気扇丸形フード：150φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F7)	台所換気扇深形フード：150φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	(F8)	天井埋込型換気扇（便所・UB）丸形フード：100φ用 撤去 既存のまま：換気扇、ダクト	(F8)	天井埋込型換気扇深形フード：100φ用 ステンレス製 粉体焼付塗装仕上げ 縦ガラリ 網5メッシュ 水切板付 新設 既存のまま：換気扇、ダクト	周囲シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設
	(F11)	クーラー用貫通口カバー：100φ用、破損部のみ撤去	(F11)	クーラー用貫通口カバー：樹脂製、100φ用、パッキン付き、新設	
	(F12)	壁樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、75φ（既製システム樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去	(F12)	壁樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	(F13)	バルコニー：アルミ、既製品、撤去	(F13)	バルコニー：新設無し	

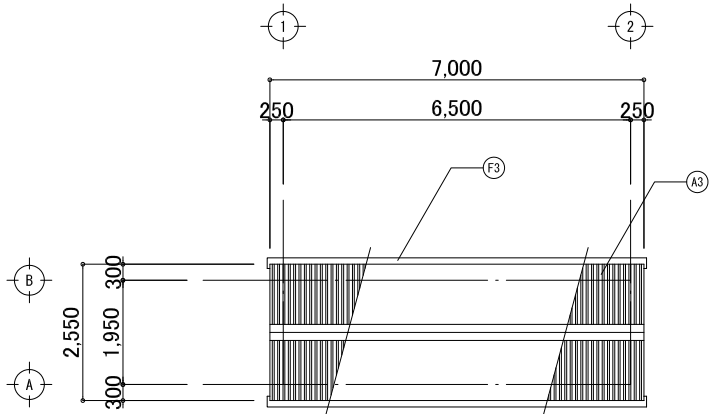


項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺き（棟包み・軒先唐草・雨押え等含む）、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	(A1)	屋根：既存厚0.4フッ素樹脂銅板葺きの上、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 既存のまま：アスファルトルーフィング22kg、厚40特殊繊維入パーライトモルタル下地	既存のまま：軒樋 -----
屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気簾新設（配号： × ） 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設
	(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設 -----
	(B3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付 -----	
	(B6)	ドレイン：鋳鉄製、75φ、たて引き用、すべて撤去 -----	(B6)	ドレイン：塩ビ製、たて引き改修用（75φ用）、アルミ製ストレーナー、すべて新設 -----	
外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地 -----	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地 -----	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象 玄関扉（スチール製、ポリ塩化ビニル金属積層板）、既存のまま 給湯器BL型、既存のまま、最上階天井換気口：既存のまま
	(E2)	軒天：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	空調室外機、既存のまま ルームクーラー取付用インサート、既存のまま
	(E6)	軒天（ボード部）：既存VP塗装、既存塗膜除去（RB種） 既存のまま：厚5.0フレキシブルボード（一部有孔ボード）目スカン張り	(E6)	軒天（ボード部）：既存ボードの上、EP-G塗装（B種） 既存のまま：厚5.0フレキシブルボード（一部有孔ボード）目スカン張り	既存のまま：アルミ自在型干金物
その他	(F1)	堅樋（屋上防水）：75φ SGP管（メッキ処理の上 SOP塗装）撤去、取付金物 撤去 -----	(F1)	堅樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装、既存塗膜除去（RB種） -----	(F2)	窓上庇：既存厚1.6ボンデ銅板加工焼付塗装の上、DP塗装 -----	
	(F6)	玄関扉・窓（まで、MS-2・10×10）  ・窓上庇（MS-2・15×10）廻り  、シーリング：撤去 -----	(F6)	玄関扉・窓（まで、MS-2・10×10）  ・窓上庇（MS-2・15×10）廻り  、シーリング：新設 -----	
	(F12)	堅樋（勾配屋根）：硬質塩ビ、75φ（既製システム樋塗装品）、撤去、取付金物、撤去 -----	(F12)	堅樋（屋上防水）：75φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
	(F13)	バルコニー：アルミ、既製品、撤去 -----	(F13)	バルコニー：新設無し -----	

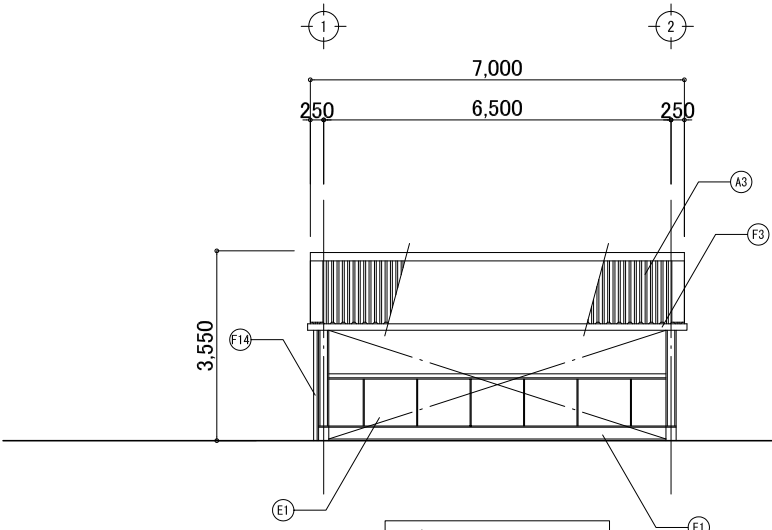




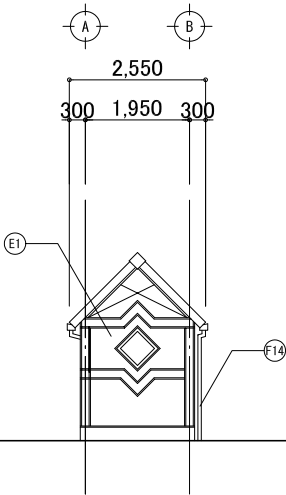
外 部 仕 上 表						
位 置	項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
屋 上	勾配屋根	Ⓐ3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板（棟包み・ケラバ含む）H=88の上、表面：既存塗膜除去（R8種） 裏面：ポリフォーム裏打ち張り 撤去、既存のまま：タイトフレーム	Ⓐ3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板の上、アクリルシリコン樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 裏面：ルーフデッキカラー鉄板現し ※ 塗装改修無し	既存のまま：軒樋 既存のまま：棟包み・ケラバ包み、取外し再取付け無し
外 壁	外壁・巾木 （ボード以外） ※既存吹付タイル部分 コンクリート打放し 部分、すべて対象	Ⓔ1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイル（コンクリート打放し含む）、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	Ⓔ1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
			-----	Ⓔ1	ひび割れ部補修：Uカットシーリング材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	
			-----	Ⓔ2	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
			-----	Ⓔ3	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
			-----	Ⓔ4	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	
その他	その他	Ⓕ3	軒樋：塩ビ角型、W=120、撤去、取付金物、撤去 -----	Ⓕ3	軒樋：カラー硬質塩ビ、W=120 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
		Ⓕ4	縦樋：65φ、VP管、取付金物、撤去 -----	Ⓕ4	縦樋：65φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
		Ⓕ5	梁・屋根下地：既存鉄部（防錆処理の上 OP塗装）の上、既存塗膜除去（R8種） -----	Ⓕ5	梁・屋根下地：既存鉄部の上、DP塗装 -----	



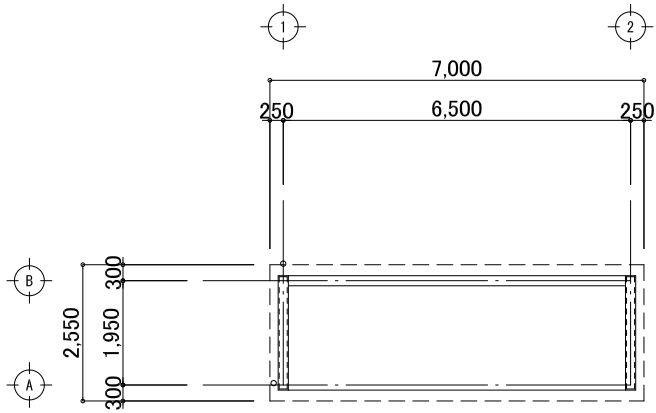
屋根伏図 1/100



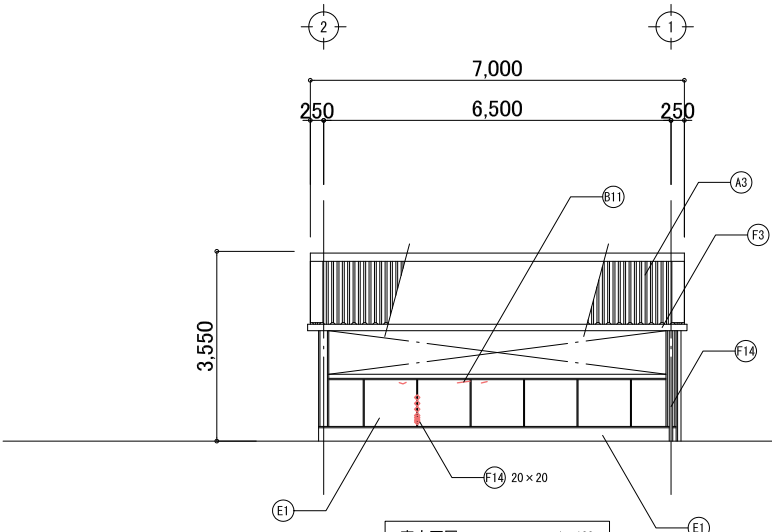
西立面図 1/100



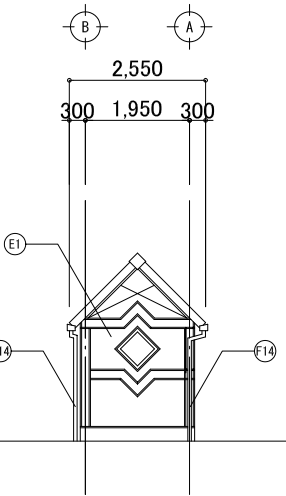
南立面図 1/100



平面図 1/100



東立面図 1/100



北立面図 1/100

項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	A3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板（桧包み・ケラバ包み含む）H=88の上、表面：既存塗膜除去（RB種） 裏面：ポリフォーム裏打ち張り 撤去、既存のまま：タイトフレーム	A3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板の上、アクリルシリコン樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 裏面：ルーフデッキカラー鉄板現し ※ 塗装改修無し	既存のまま：軒樋 既存のまま：桧包み・ケラバ包み、取外し再取付け無し
外壁・巾木 （ボード以外） ※既存吹付タイル部分 コンクリート打放し 部分、すべて対象	E1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイル（コンクリート打放し含む）、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	E1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
		-----	E11	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） 記号： —	
		-----	E12	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） 記号： —	
		-----	E13	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m ² 程度（水循環式無振動ドリル使用） 記号： —	
		-----	E14	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） 記号： □ 20×20： ○	
その他	F3	軒樋：塩ビ角型、W=120、撤去、取付金物、撤去	F3	軒樋：カラー硬質塩ビ、W=120 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	F14	竖樋：65φ、VP管、取付金物、撤去	F14	竖樋：65φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）

特記事項



1級建築士事務所
有限会社
事 務 所 登 録 番 号

山崎企画設計
栃木県知事登録 第 A二2769 号

管理建築士
所 在 地

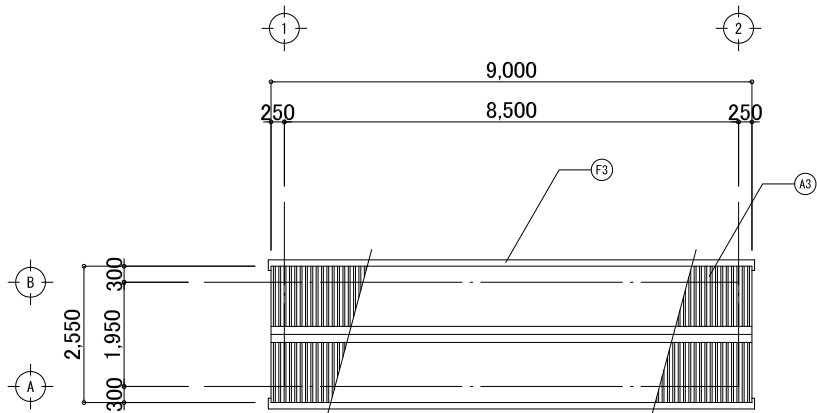
山 崎 良 知 一級建築士 第241318号
栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号
TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742

設 計 者

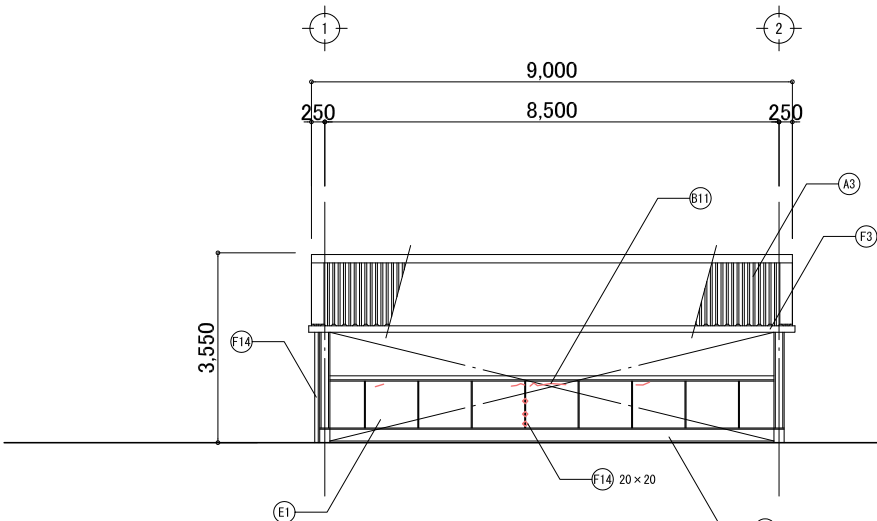
工 事 名 称	登 録 番 号
日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	25011
図 名	日付
1号棟自転車置場 平面図・屋根伏図・立面図	2025/12/12
	縮尺
	A2：1/100 A3：1/150

図面番号	A 43			

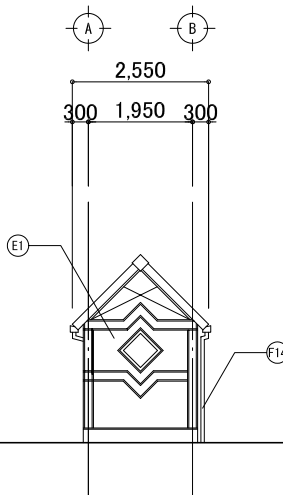
鹿沼市



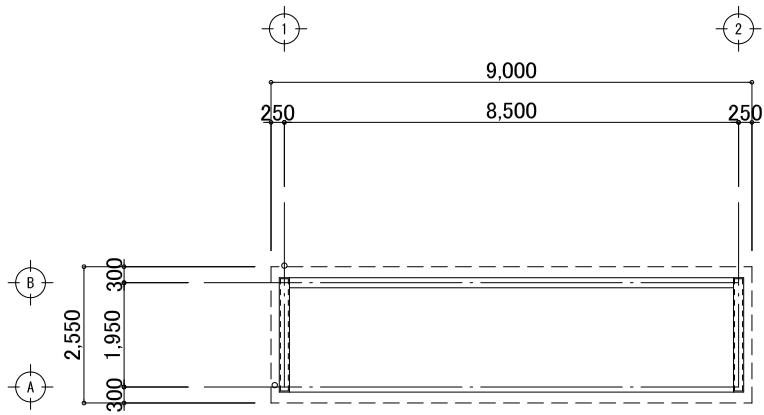
屋根伏図 1/100



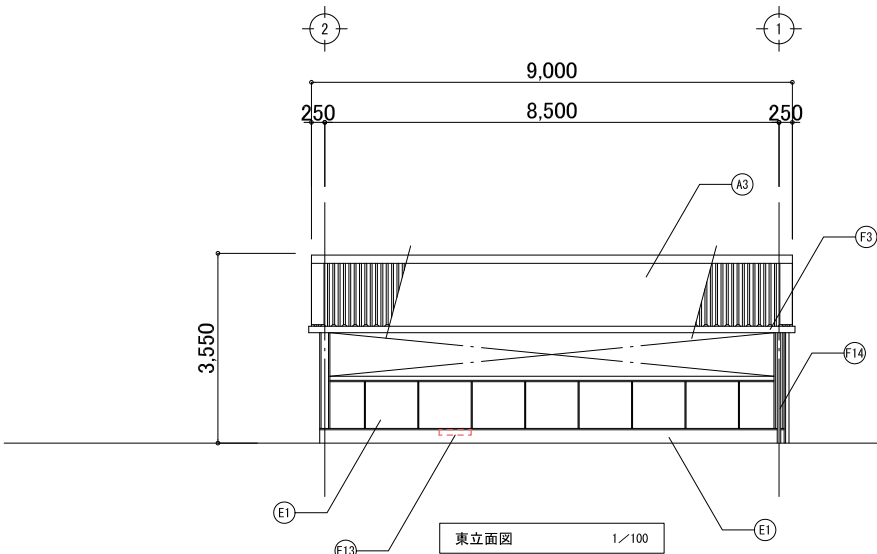
西立面図 1/100



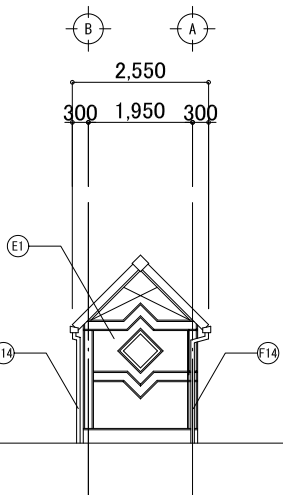
南立面図 1/100



平面図 1/100



東立面図 1/100



北立面図 1/100

項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	A3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板（桧包み・ケラバ包み含む）H=88の上、表面：既存塗膜除去（RB種） 裏面：ポリフォーム裏打ち張り 撤去、既存のまま：タイトフレーム	A3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板の上、アクリルシリコン樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 裏面：ルーフデッキカラー鉄板現し ※ 塗装改修無し	既存のまま：軒樋 既存のまま：桧包み・ケラバ包み、取外し再取付け無し
外壁・巾木 （ボード以外） ※既存吹付タイル部分 コンクリート打放し 部分、すべて対象	E1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイル（コンクリート打放し含む）、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	E1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
		-----	E11	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） 記号： ———	
		-----	E12	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） 記号： ———	
		-----	E13	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） 記号： ———	
		-----	E14	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） 記号： □ 20×20： ○	

その他	F3	軒樋：塩ビ角型、W=120、撤去、取付金物、撤去	F3	軒樋：カラー硬質塩ビ、W=120 新設、ステンレス製取付金物 新設	
	F14	竖樋：65φ、VP管、取付金物、撤去	F14	竖樋：65φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設	スライドソケット 新設（地盤面のみ）

鹿沼市

特記事項



1級建築士事務所
有限会社
事務所登録番号

山崎企画設計
栃木県知事登録 第A二2769号

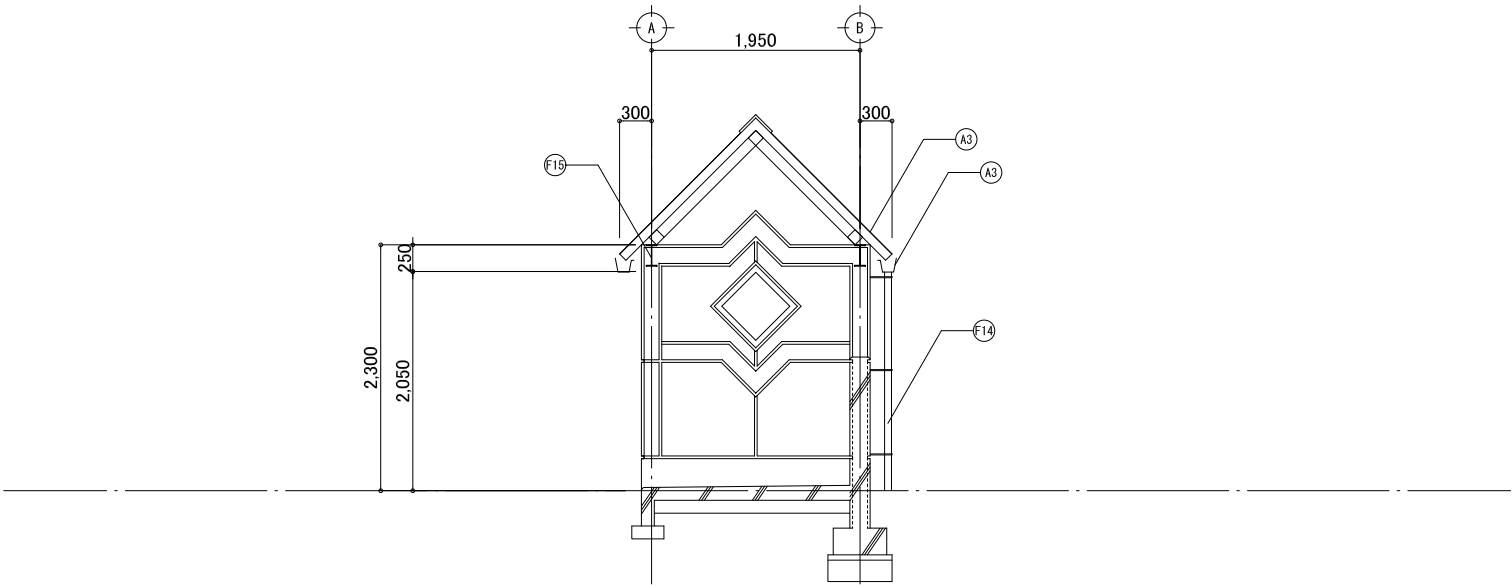
管理建築士
所在地

山崎良知 一級建築士 第241318号
栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号
TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742

設計者

工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	登録番号 25011
	図名 2号棟自転車置場 平面図・屋根伏図・立面図

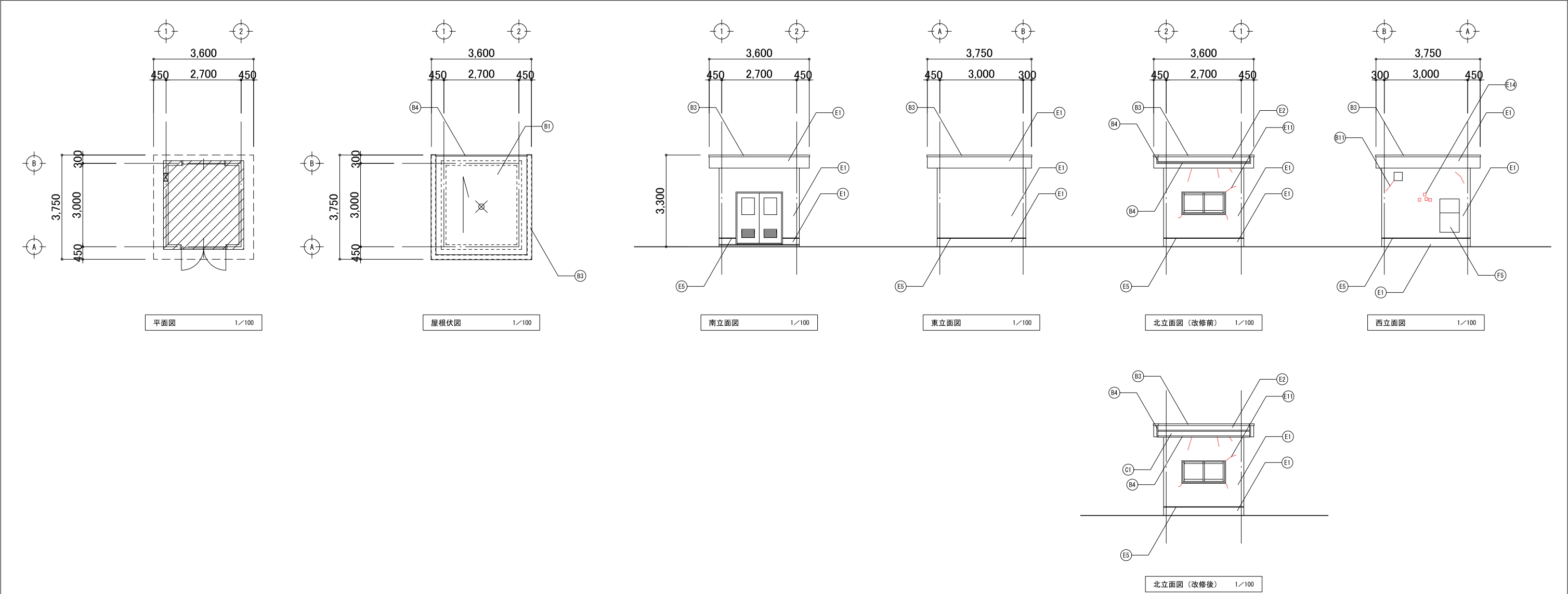
図面番号 A 44	日付 2025/12/12	縮尺 A2：1/100 A3：1/150				
--------------	------------------	----------------------------	--	--	--	--



項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
勾配屋根	Ⓐ3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板（棟包み・ケラバ包み含む）H=88の上、表面：既存塗膜除去（RB種） 裏面：ポリフォーム裏打ち張り 撤去、既存のまま：タイトフレーム	Ⓐ3	屋根：既存厚0.6ルーフデッキカラー鉄板の上、アクリルシリコン樹脂系屋根用遮熱塗料（高遮熱性・低汚染性・防かび性）塗替え 裏面：ルーフデッキカラー鉄板現し ※ 塗装改修無し	既存のまま：軒樋 既存のまま：棟包み・ケラバ包み、取外し再取付け無し
外壁・巾木 ※既存吹付タイル部分 コンクリート打放し 部分、すべて対象	Ⓔ1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイル（コンクリート打放し含む）、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	Ⓔ1	外壁・巾木・笠木：既存吹付タイルの上、可とう形改修塗材OE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打診による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
		-----	Ⓔ11	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	
		-----	Ⓔ12	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
		-----	Ⓔ13	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/m程度（水循環式無振動ドリル使用） -----	
		-----	Ⓔ14	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----	

その他	Ⓕ3	軒樋：塩ビ角型、W=120、撤去、取付金物、撤去 -----	Ⓕ3	軒樋：カラー硬質塩ビ、W=120 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	
	Ⓕ14	竖樋：65φ、VP管、取付金物、撤去 -----	Ⓕ14	竖樋：65φ カラーVP管 新設、ステンレス製取付金物 新設 -----	スライドソケット 新設（地盤面のみ） -----
	Ⓕ15	梁・屋根下地：既存鉄部（防錆処理の上 OP塗装）の上、既存塗膜除去（RB種） -----	Ⓕ15	梁・屋根下地：既存鉄部の上、DP塗装 -----	

外 部 仕 上 表									
位 置	項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考			
屋 上	屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気簾新設（記号： X ） 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設			
		(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：カチオン系ポリマーセメント床用下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設 -----			
		(B3)	バラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	バラベット笠木：アルミ、再取付 -----				
		(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて撤去 -----	(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて新設 -----	シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----			
	屋上水下防水	(C1)	----- -----	(C1)	屋上水下：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）新設 -----				
外 壁	外壁・巾木 軒天・天井 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象			
		(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地				
		(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング撤去（PU-2・15×10） -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング新設（MS-2・15×10） -----				
			----- ----- -----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----				
			----- ----- -----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----				
			----- ----- -----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） -----				
			----- ----- -----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） -----				
		その他	その他	(F5)	引込開閉器盤：既存スチール（防錆処理の上 S0P塗装）、既存塗膜除去（RB種） -----	(F5)	引込開閉器盤：既存スチール（防錆処理の上 S0P塗装）の上、DP塗装 -----	既存のまま：換気扇フード -----	
特記事項				VICS 1級建築士事務所 有限会社 事 務 所 登 録 番 号 山崎企画設計 栃木県知事登録 第 A二2769 号 管理建築士 所 在 地 山 崎 良 知 一級建築士 第 241318 号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742					
		設 計 者		工 事 名 称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）		登録番号 25011		図面番号 A 46	
				図 名 ポンプ室 仕上表		日付 2025/12/12			
						縮尺 A2： 〃 A3： 〃			



外 部 仕 上 表					
項 目	符号	改 修 前	符号	改 修 後	備 考
屋上防水	(B1)	平場：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、剥がれ部・浮き部のみ撤去 全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃、既存のまま：厚30～50防水下地モルタル塗り	(B1)	平場：一部既存シート防水の上、厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-M2・機械的固定工法・遮熱（高反射）・高耐久）全面新設 撤去部のみ：カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	絶縁用シート敷設、ステンレス脱気簾新設（記号： × ） 入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設
	(B2)	立上り：既存厚2.0塩化ビニール樹脂系シート防水、すべて撤去、全面水洗い（15MPa）、ケレン、清掃 既存のまま：厚20防水下地モルタル塗り	(B2)	立上り：厚2.0非歩行用塩ビ樹脂系シート防水（S-F2・接着工法・遮熱（高反射）・高耐久）、すべて新設 撤去部：カチオン系ポリマーセメント床下地調整塗材（仮防水機能・強付着性・耐溶剤性）新設	入隅出隅及びシート防水切替部銅板新設 -----
	(B3)	パラベット笠木：アルミ、一時取外し -----	(B3)	パラベット笠木：アルミ、再取付 -----	
	(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて撤去 -----	(B4)	外壁立上り水切り・コーナーアングル：アルミ、すべて新設 -----	シーリング（MS-2・10×10）：撤去、新設 -----
屋上水下防水	(C1)	----- -----	(C1)	屋上水下：厚3.0歩行用ウレタン系塗膜防水（X-2・環境対応型・遮熱工法）新設 -----	
外壁・巾木 軒天・天井 （ボード以外） 手摺り笠木・階段中央壁 ※既存吹付タイル部分 すべて対象	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E1)	外壁・巾木：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	外壁面の事前調査：目視・打撃による確認、マーキング 計測、図面記入、※既存吹付タイル部分すべて対象
	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイル、全体水洗い（15MPa） 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地	(E2)	軒天・天井：既存アクリル系吹付タイルの上、可とう形改修塗材CE（ふっ素樹脂・ゆず肌・低炭素対応型・超耐候性・超低汚染性・透湿性・防かび性）仕上 既存のまま：合板型枠コンクリート打放し（フカシ含む）下地、補修済下地	
	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング撤去（MS-2・15×10） ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	(E5)	打継ぎ目地・ひび割れ懸発目地：シーリング新設（PU-2・15×10） ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	
		----- -----	(E11)	ひび割れ部補修：Uカットシール材充填工法、可とう性エポキシ樹脂、10×10（HEPAフィルター付き集塵機使用） ----- -----	記号： —
		----- -----	(E12)	浮き部補修：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、16本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） ----- -----	記号：
		----- -----	(E13)	浮き部補修（狭幅部）：アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法、5本/㎡程度（水循環式無振動ドリル使用） ----- -----	記号：
		----- -----	(E14)	欠損部補修：脆弱部撤去、ポリマーセメントモルタル充填工法、厚25、100×100（HEPAフィルター付き集塵機使用） ----- -----	記号： □
		----- -----			
		----- -----			
		----- -----			
その他	(F5)	引込開閉器盤：既存スチール（防錆処理の上 S0P塗装）、既存塗膜除去（RB種） -----	(F5)	引込開閉器盤：既存スチール（防錆処理の上 S0P塗装）の上、DP塗装 -----	既存のまま：換気扇フード -----

屋上 バラベット廻り 部分詳細図（断面詳細図） （改修前）			屋上 バラベット廻り 部分詳細図（断面詳細図） （改修後）		
屋上水 下 シート防水 部分詳細図（断面詳細図） （改修前）			屋上水 下 シート防水 部分詳細図（断面詳細図・立面図） （改修後）		
特記事項			鹿沼市		
1級建築士事務所 有限会社 山崎企画設計 事務所登録番号 栃木県知事登録 第A二2769号			設 計 者 山 崎 良 知 一級建築士 第241318号 栃木県宇都宮市鶴生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742 工 事 名 称 日吉町南市営住宅外壁改修工事 （1期） 図 名 ポンプ室 部分詳細図 登録番号 25011 日付 2025/12/12 縮尺 A2：1/10 A3：1/15 図面番号 A 49		

外灯（ポール）塗装改修 部分詳細図

外灯ポール：既存スチール焼付塗装の上、既存塗膜除去（RB種）、DP塗装
上部100角、下部150角

4,500

待記事項

1級建築士事務所
有限会社

山崎企画設計

事務所登録番号

管理建築士
所在地

山崎良知 一級建築士 第241318号
栃木県宇都宮市鶴生2丁目8番17号
TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742

設計者

工事名称

日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）

図名

外構詳細図

登録番号

25011

日付

2025/12/12

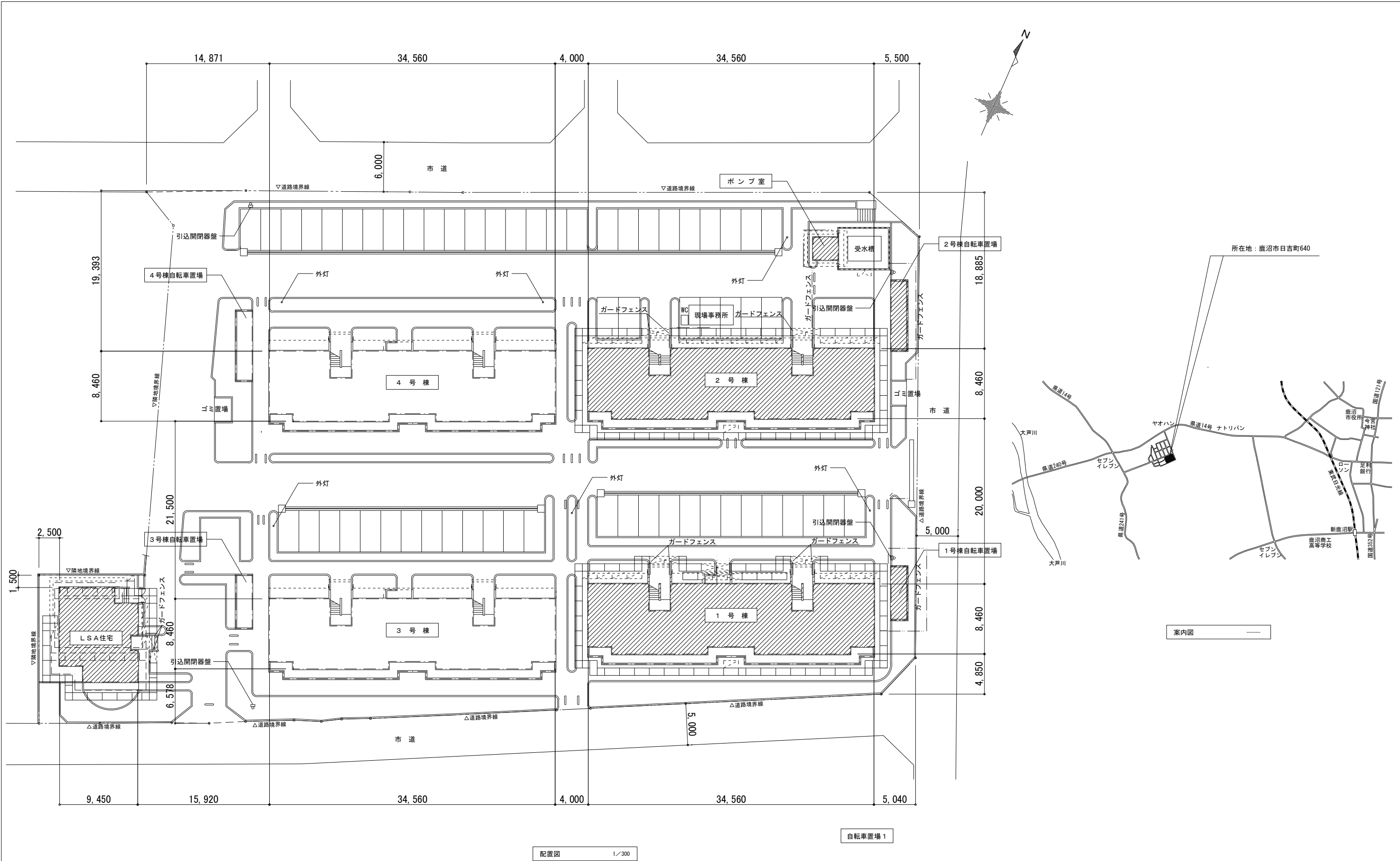
縮尺

A2 : 1/20
A3 : 1/30

図面番号

A 50

鹿沼市



特記事項



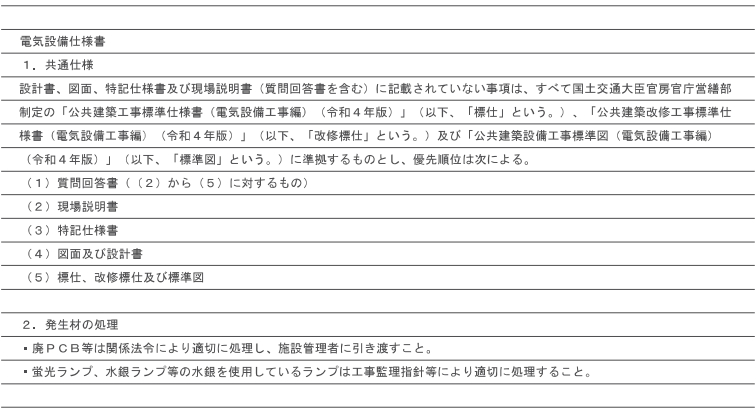
1級建築士事務所
山崎企画設計
事務所登録番号
栃木県知事登録 第 A-2789 号

管理建築士
所在地
山崎良知 一級建築士 第 241318 号
栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号
TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742

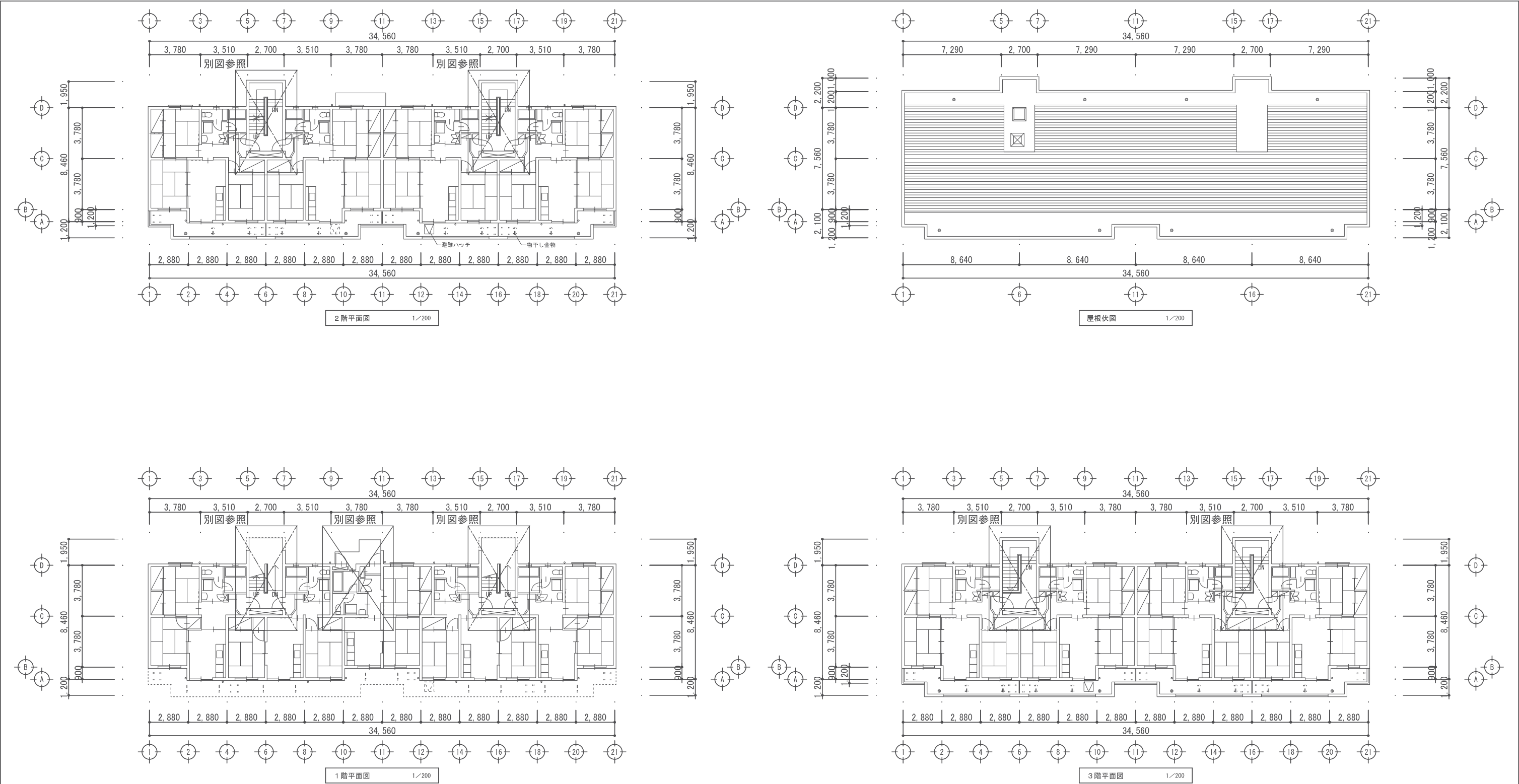
設計者

工事名称	日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）
図名	仮設配置図

登録番号	25011	図面番号	A 51
日付	2025/09/09		
縮尺	A2 : 1/300 A3 : 1/450		



國中凡例			
○撤去			
-----	VVF	2.0	2C 架空（メッセージ吊り） 撤去（再使用なし）
自転車置場への架空配線撤去（外灯電源部より撤去） メッセージワイヤーはそのまま			
○改修			
-----	VVF	2.0	3C 架空（メッセージ吊り） メッセージワイヤーは既存使用
自転車置場への架空配線（外灯電源部より分岐とする）			
㊦	防雨入線カバー		
外灯ボールの自転車置場への配線取り出し口に防雨入線カバーを取付とする。 （既存取り出し口のパイプは切断とする）			
㊧	外灯 灯具及び電源部のみ取替〈D〉 既存外灯ボールはそのまま使用するものとする。 （建築工事にて再塗装を行う）		
外灯の接地工事は既存接地線に接続とする。			



待記事項			鹿沼市				
			設計者	工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	登録番号 25011	図面番号 E-02	
				図名 1号棟 平面図	日付 2025/12/12		
					縮尺 A2：1/200 A3：N・S		

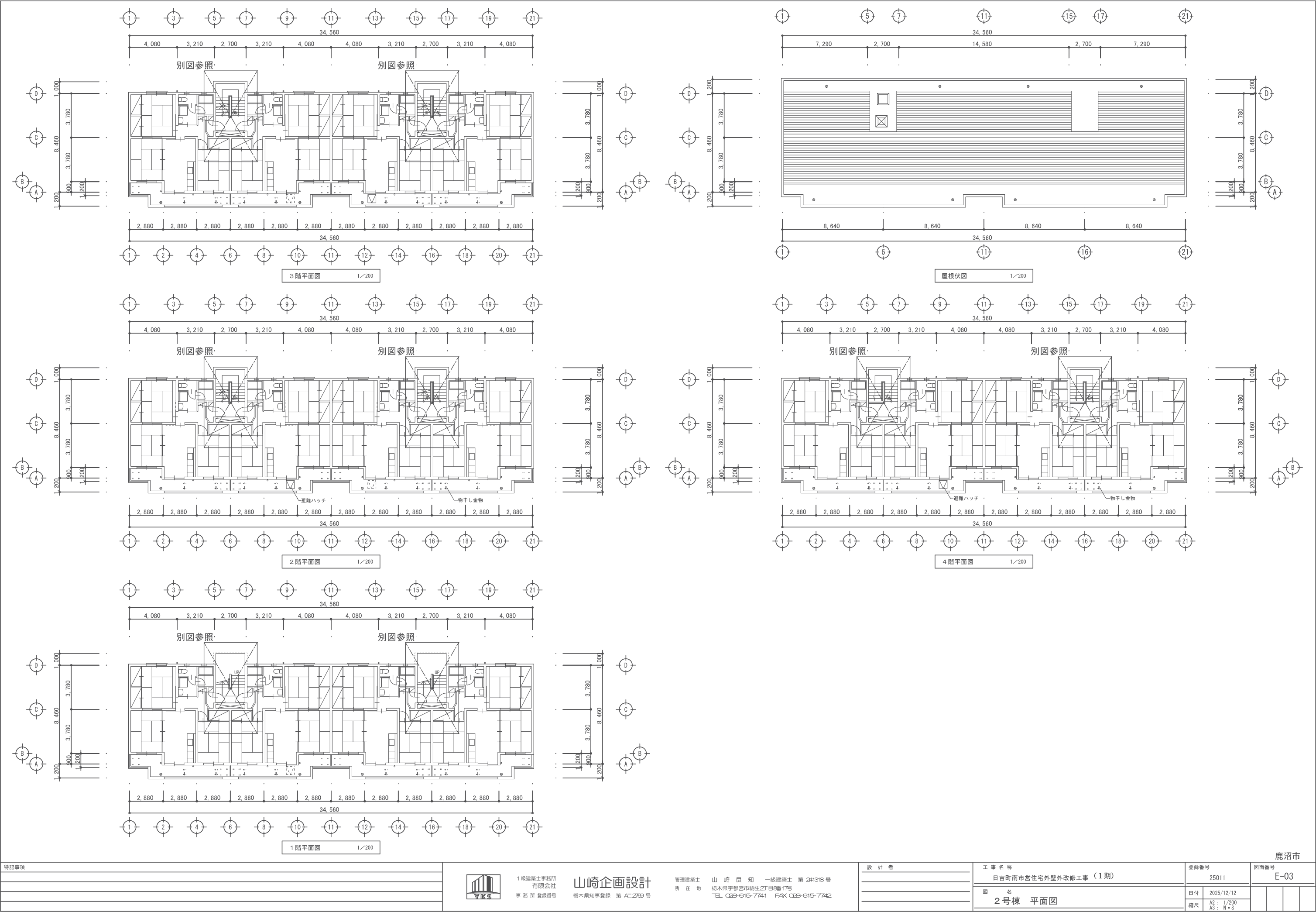
	1級建築士事務所 有限会社 事務所登録番号	山崎企画設計 栃木県知事登録 第 AC-2763 号	管理建築士 所在地	山崎良知 一級建築士 第 241318 号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742
--	-----------------------------	-------------------------------	--------------	---



1級建築士事務所
有限会社
事務所登録番号

山崎企画設計
栃木県知事登録 第 AC2769 号

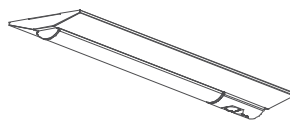
管理建築士
所在地
山崎良知 一級建築士 第 241318 号
栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号
TEL 033-615-7741 FAX 033-615-7742

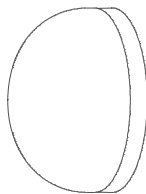


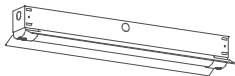
特記事項

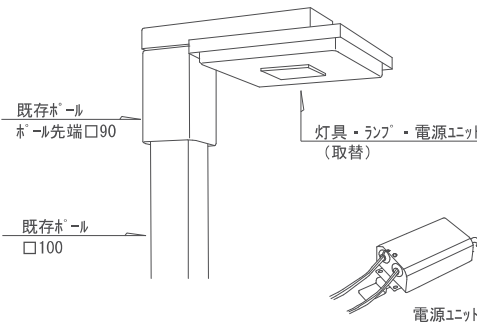
WKS 1級建築士事務所 山崎企画設計 事務所登録番号 栃木県知事登録 第 AC-2789 号	管理建築士 所在地 山崎良知 一級建築士 第 241318 号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 03-615-7741 FAX 03-615-7742	設計者	工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 図名 2号棟 平面図	登録番号 25011	図面番号 E-03
				日付 2025/12/12	縮尺 A2 : 1/200 A3 : N・S

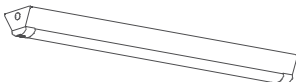
照明器具姿図

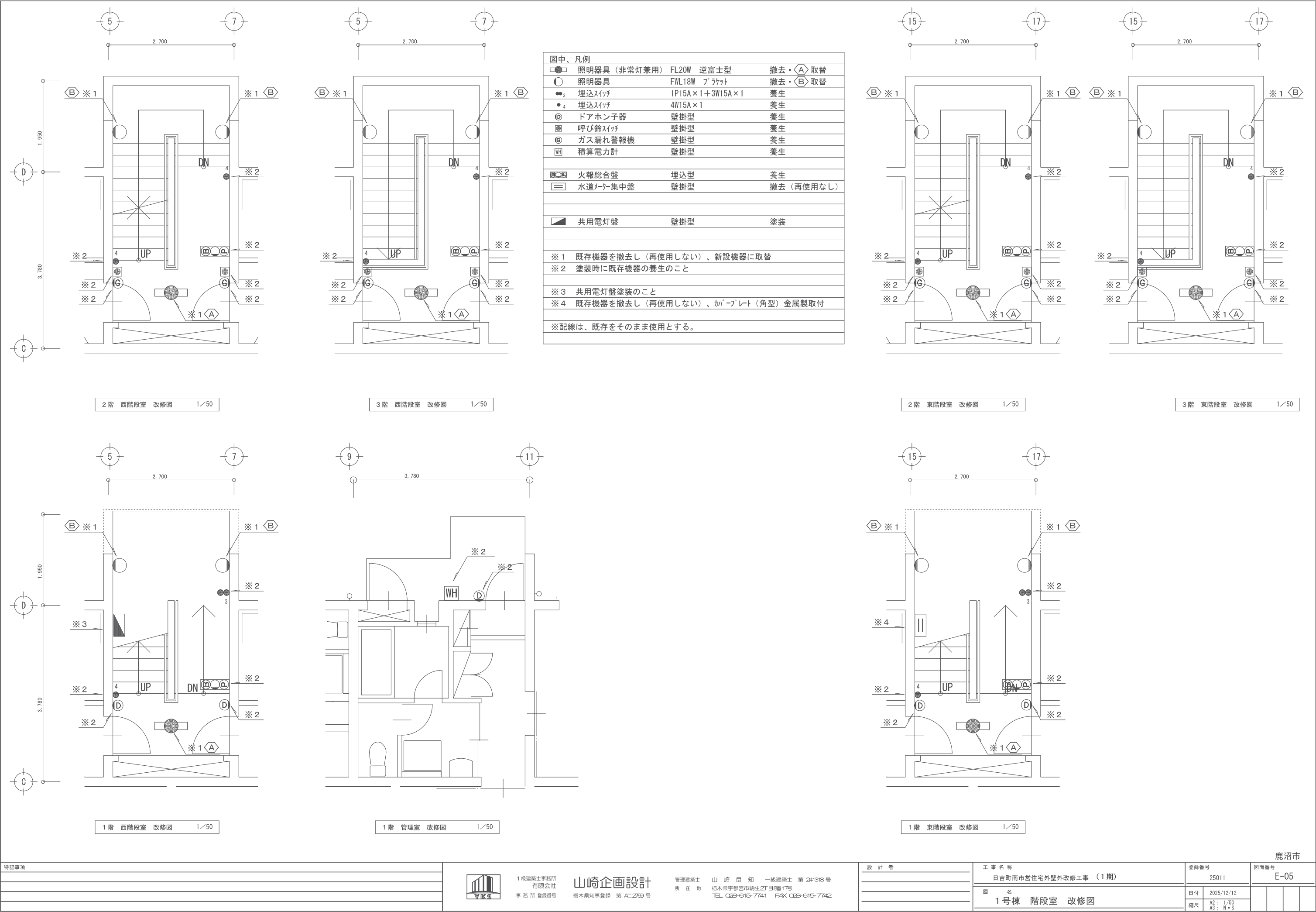
A	光源種類	非常照明 LED20形 7.6W	
	参考品番	LEKTSW223084N-LS9 防湿・防雨型 相当品	
	器具形式	非常照明（直付型） 電池内蔵型（ニッケル水素）	
	器具電圧	ホルトフリー リモコン自己点検機能付	
		800lm	W=230
	評定番号	LALF-026	
	型式認定番号	3AE-1056	
			
	器具取付高さ(m)		2.1 2.4 2.6 3.0 3.5 4.0 5.0
	単体配置(m)	21x	6.5 6.7 6.8 6.8 5.8 4.8 -

B	光源種類	LEDラケットライト（20形） 8.9W	
	参考品番	LEDG85902（K）N 相当品	
	器具形式	ラケットライト 防湿・防水型	
	器具電圧	AC100V 天井・壁（縦・横）取付可能	
		1,020lm	径Φ236×高134
		ランプ：LDF9NHGX/C20/12/2	
			

C	光源種類	LEDペンライト（20形） 11.9W	
	参考品番	LEKTW215164N-LS9 相当品	
	器具形式	反射笠付型 防湿・防水型	
	器具電圧	ホルトフリー	
		1,580lm	5,000K
			

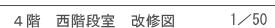
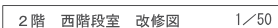
D	光源種類	LEDポール灯（水銀灯100W相当） 21.0W	
	参考品番	XYG2621N LE9 相当品	
	器具形式	LED街路灯 防湿・防水型	
	器具電圧	ホルトフリー 落下防止ワイヤー付	
		1,500lm	5,000K
		外灯ポールは既存を利用（建築工事にて塗装）	
			

E	光源種類	LEDペンライト（40形） 13.5W	
	参考品番	LEKTW412204N-LS9 相当品	
	器具形式	直付型 防湿・防水型	
	器具電圧	ホルトフリー	
		2,150lm	5,000K
			

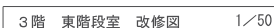
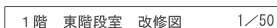
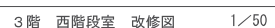
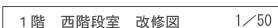
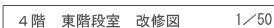


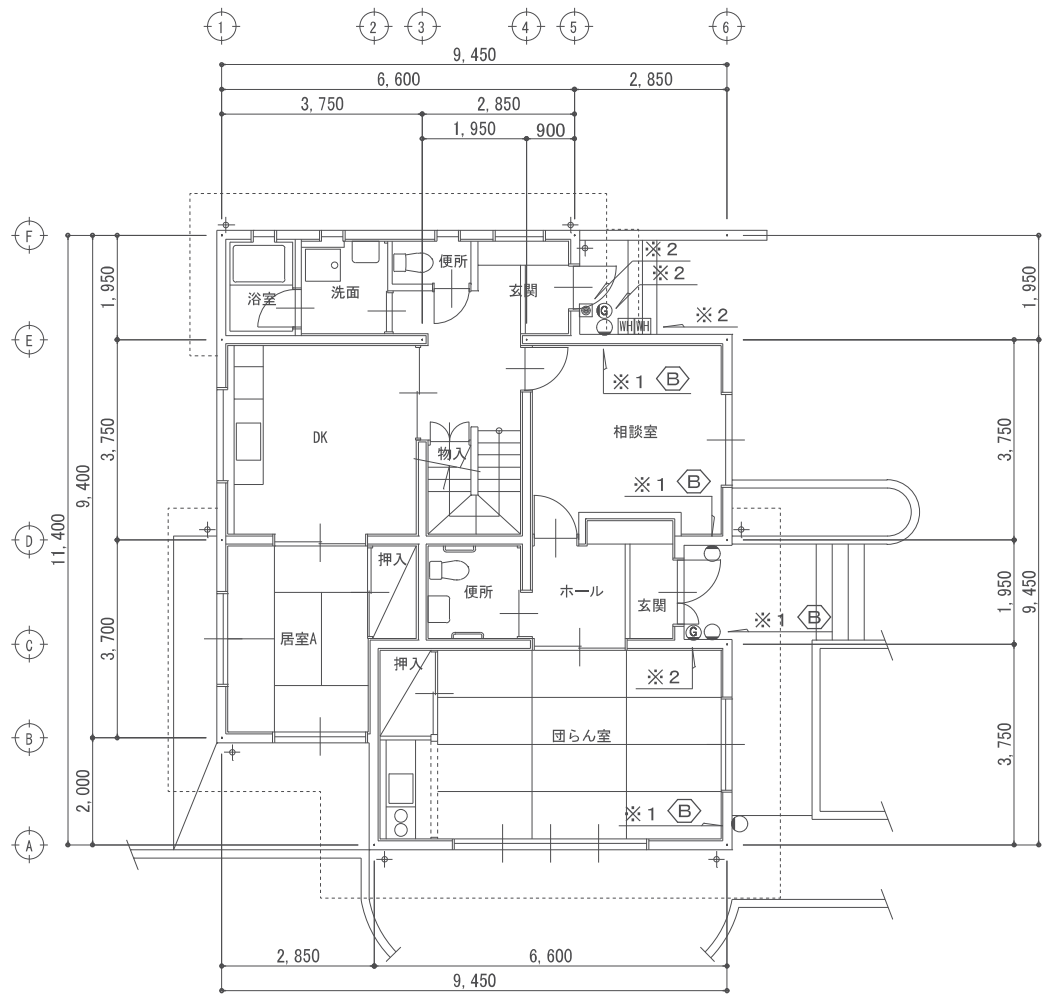
特記事項

	1級建築士事務所 有限会社 事務所登録番号	山崎企画設計 栃木県知事登録 第 AC2769 号	管理建築士 所在地	山崎 良知 一級建築士 第 241318 号 栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号 TEL 033-615-7741 FAX 033-615-7742	設計者	工事名称 日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期） 図名 1号棟 階段室 改修図	登録番号 25011 日付 2025/12/12 縮尺 A2：1/50 A3：N・S	鹿沼市 図面番号 E-05
--	-----------------------------	-------------------------------------	--------------	--	-----	--	--	---------------------

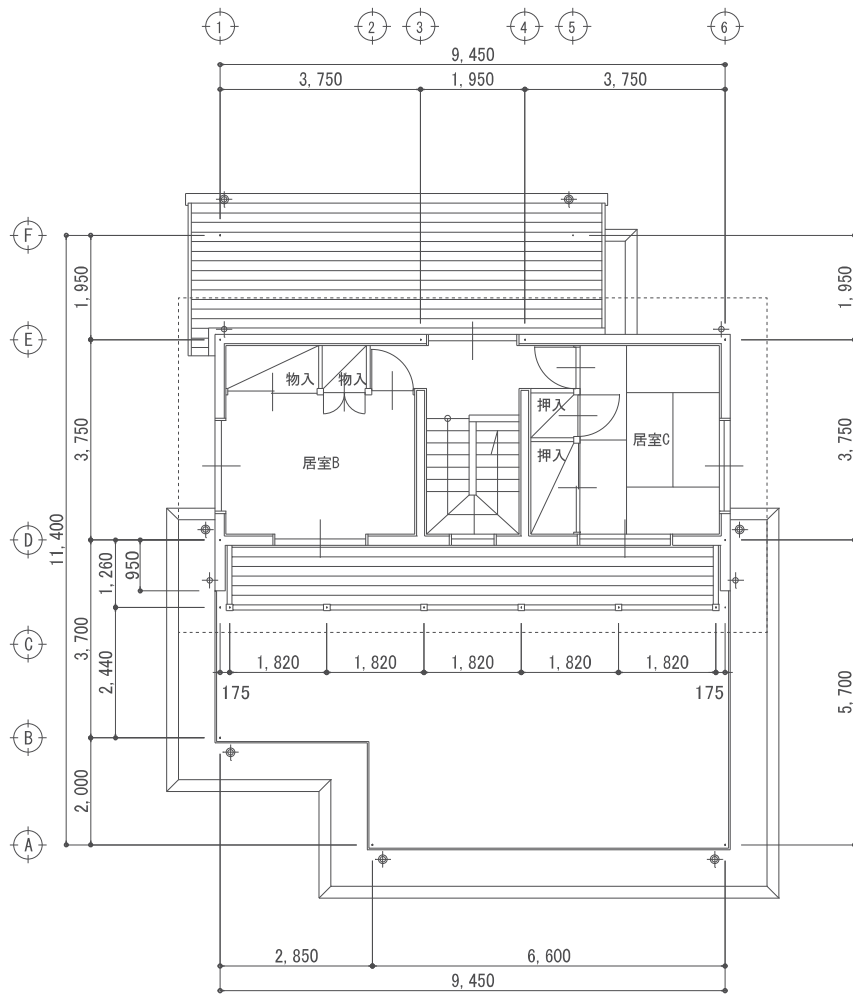


2階 東階段室 改修図 1/50





LSA住宅 1 階平面図 1/100



LSA住宅 2 階平面図 1/100

図中、凡例		
○	照明器具	FWL18W フラケット 撤去・〈B〉取替
㊦	呼び鈴スイッチ	壁掛型 養生
㊦	ガス漏れ警報機	壁掛型 養生
㊦	積算電力計	壁掛型 養生
※1 既存機器を撤去し（再使用しない）、新設機器に取替		
※2 塗装時に既存機器の養生のこと		
※配線は、既存をそのまま使用とする。		

特記事項



1級建築士事務所
株式会社
事務所登録番号

山崎企画設計
栃木県知事登録 第 AC2769 号

管理建築士
所在地

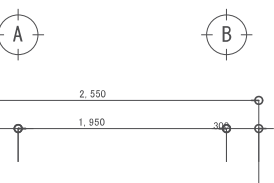
山崎良知 一級建築士 第 241318 号
栃木県宇都宮市駒生2丁目8番17号
TEL 028-615-7741 FAX 028-615-7742

設計者

工事名称	
日吉町南市営住宅外壁外改修工事（1期）	
図名	
L S A 住宅棟 改修図	

登録番号	25011
日付	2025/12/12
縮尺	A2 : 1/100 A3 : N・S

鹿沼市			
図面番号 E-07			



Technical drawing of a door assembly. The top part shows a plan view with dimensions: 2,550 (total width) and 1,850 (distance between vertical lines). The bottom part shows a side elevation of the door with a handle and lock mechanism. Labels include 'A' and 'B' for reference points, '以降別図参照' (Refer to separate drawing below), 'エントランスキャップ ※ 1' (Entrance Cap ※ 1), and 'C ※ 1' (Component C ※ 1).

	照明器具	FL40W 逆富士型	撤去・  取替
	照明器具	FL20W 逆富士型	撤去・  取替
	エントランスキャップ*		撤去・取替
○撤去			
-----	V V F	2.0	— 2 C
			V E (1 6)
○改修			
-----	E M — E E F	2.0	— 3 C
			G Z (2 2)
※1 既存機器を撤去し（再使用しない）、新設機器に取替 自転車置場照明の接地線は外灯の接地線に接続とする。			
柱）G Z 管は溶融亜鉛メッキ付着量 300g/m ² 以上を使用のこと。			